

別表一1

縮尺 1/250 図面図式

区分	線号	線の幅(太さ)			区分	種別	線色	図式	線号
線の種類	1号線	0.05mm			道路施設	側溝U字	黒		3
	2号線	0.10mm				側溝U字蓋	黒		3
	3号線	0.15mm				側溝L字	黒		3
	4号線	0.20mm			小物体	門	黒		8
	5号線	0.25mm				記念碑	黒		6
	6号線	0.30mm				高塔	黒		3
	8号線	0.40mm				石段	黒		6
	10号線	0.50mm				地下道入り口	黒		3
区分	種別	線色	図式	線号	公衆便所	黒	WC	3	
家屋	木造	黒		3	墓地	黒		3	
	同無壁舎	黒		3	井戸	黒		3	
	モルタル	黒		3	煙突	黒		3	
	コンクリート	黒		6	消火栓	黒		3	
	レンガ	黒		6	電気孔	黒		3	
	石造	黒		6	電話孔	黒		3	
	土蔵	黒		6	ガス孔	黒		3	
	タタキ	黒		3	上水孔	黒		3	
擁壁	ブロック(直)	黒		3	下水孔	黒		3	
	ブロック(傾)	黒		3	防護柵	黒		3	
	コンクリート(直)	黒		3	電力柱	黒		3	
	コンクリート(傾)	黒		3	電話柱	黒		3	
	石積(直)	黒		3	信号機	黒		3	
	石積(傾)	黒		3	火災報知機	黒		3	
構囲	簡易塀	黒		4	交通標識	黒		3	
	コンクリート塀	黒		6	バス停留所	黒		3	
	さく	黒		3					
	生垣	黒		3					
	鉄柵	黒		3					
	人工斜面	黒		3					

区分	種別	線色	図式	線号	区分	種別	線色	図式	線号
植生等	独立広葉樹	黒		2	基準点等	三角点	黒		3
	独立針葉樹	黒		2		東京都公共基準点及び公共基準点1級	黒		2
	畑	黒		2		2級基準点	黒		2・3
	水田	黒		2		水準点	黒		2
	桑畑	黒		2		3級基準点	黒		2
	茶畑	黒		2		4級基準点	黒		2
	果樹園	黒		2		補助基準点	黒		2
	その他樹木畑	黒		2		縦横線	黒		2
	荒地	黒		2		路線測量	中心点	黒	
	牧草地	黒		2	IP点		黒		3
	芝地	黒		2	中心線		黒		2
	園庭	黒		2	計画幅杭		黒		2
	駐車場	黒		2	〃		黒		2
	空き地	黒		2	〃		黒		2
	広葉樹	黒		2	〃		黒		2
	針葉樹	黒		2	計画幅員線		黒		4
	竹林	黒		2	用地境界点		黒		2
	植生界	黒		3	三斜線の底辺		指定色		2
	耕地界	黒		3	三斜線の高さ	指定色		2	
水部	湖沼	黒		3	公共用地境界線	指定色		3	
	流水方向	黒		3	筆界線	指定色		3	
境界	都道府県	黒		2・8	借地界等の線	青		3	
	区市町村界	黒		8	残地三斜線の底辺	黒		2	
	大字・町丁目界	黒		6	残地三斜線の高さ	黒		2	

注 1. 東京都公共測量標準図式参照

2. 道路台帳については、別に定める道路台帳一般図式及び凡例によること。

別表－2

## 図面の符号

区分	種 別	符 号	凡 例	備 考
地形測量等	2級基準点	C	C 1, C 2	
	3級基準点	A	A 1, A 2	
	4級基準点	B	B 1, B 2	
	補足基準点	出発基準点の枝番号	A 1-1 A 1-2	
	既知基準点	従前の符号及び番号		
	水準基標	基標番号	京 1, 芝 3	※水準基標測量成果表 (センター) より
	仮水準点	BM.	BM. 1 BM. 2	
中心線測量	中心点	NO. (何番目の点かを数字で付す)	NO. 1 NO. 2	
	中心線の交点 (I P点)	I P. (何番目の交点かを数字で付す)	I P. 1 I P. 2	
	中心線曲線部の起 点	B C. (何番目の曲線かを数字で付す)	B C. 1 B C. 2	
	” ” 終 点	E C. (” ” ”)	E C. 1 E C. 2	
	” ” 中 間 点	S P. (” ” ”)	S P. 1 S P. 2	
用地幅杭設置測量	幅員点 (幅杭) 右 側	RNO. (何番目の点かを数字で付す)	RNO. 1 RNO. 2	
	” (” ) 左 側	LNO. (” ” ”)	LNO. 1 LNO. 2	
	曲線部幅員点右側起点	RBC. (何番目の曲線かを数字で付す)	RBC. 1 RBC. 2	
	” ” 左 側 ”	LBC. (” ” ”)	LBC. 1 LBC. 2	
	” ” 右 側 終 点	REC. (” ” ”)	REC. 1 REC. 2	
	” ” 左 側 ”	LEC. (” ” ”)	LEC. 1 LEC. 2	
	” ” 右 側 折 点	R (何番目の曲線と何番目の折点かを付す)	R 1-1 R 1-2	
	” ” 左 側 ”	L (” ” ” ”)	L 1-1 L 1-2	
	隅 切 点 右 側	RC	RC 1 RC 2	
	” 左 側	LC	LC 1 LC 2	
用地測量	公 私 境 界 点	K	K 1, K 2	
	民 々 ”	M	M 1, M 2	
	借 地 権 等 ”	S	S 1, S 2	
	計算上の境界点右 側	RP	RP 1 RP 2	
	” ” 左 側	LP	LP 1 LP 2	
	” ”	P	P 1, P 2	

別表－3

## 測量杭標示法（その1）

（単位：mm）

区分	標識の名称	標識頭部の 着色の色別	標識の種別	
			原則とするもの	指示によるもの
基準点測量	3級基準点	黄色	鉄筋コンクリート杭 (120×120×900 又は120×120×600)	鉄筋コンクリート杭の長さ
				木杭 (90×90×900)
	金属鋳 (しんちゅう製) (φ75×80)			
4級基準点	黄色	プラスチック杭 (70×70×600)	鉄筋コンクリート杭 (120×120×900 又は120×120×600)	
			金属鋳 (φ15×50~100)	
補助基準点	黄色	プラスチック杭 (45×45×600)	金属鋳 (φ15×50~100)	
水準測量	仮水準点	赤色	金属鋳 (φ38×33)	金属鋳 (φ14~20×60~61)
中心点測量	I P 点	赤色	木杭 (90×90×900)	金属鋳 (φ15×50~100)
	E C , B C 点	赤色	木杭 (90×90×900)	金属鋳 (φ15×50~100)
	上記以外のNo点	赤色	木杭 (60×60×600)	金属鋳 (φ15×50~100)
用地幅杭 設置測量	幅杭	橙色	木杭 (60×60×600)	金属鋳 (φ15×50~100)
用地測量	公共用地境界点	赤色	プラスチック杭 (45×45×450)	金属鋳 (φ15×50~100)
	民有地(民・民)境界点	白色		
	借地権等境界点	青色		

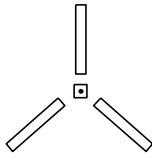
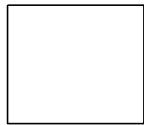
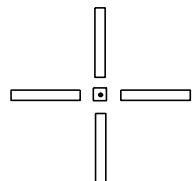
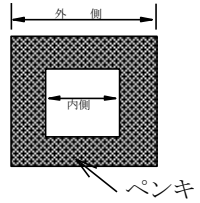

- (注) 1 木杭で標識を設置する場合は、頭部に傘釘(φ13×38)を設置すること。  
 2 プラスチック杭を設置する場合は、頭部の平らなものを使用し釘打ちをすること。  
 3 標識とその埋設構造の参考例を別図－1に示す。

(次ページにつづく)

別表－3 続き

測量杭標示法（その2）

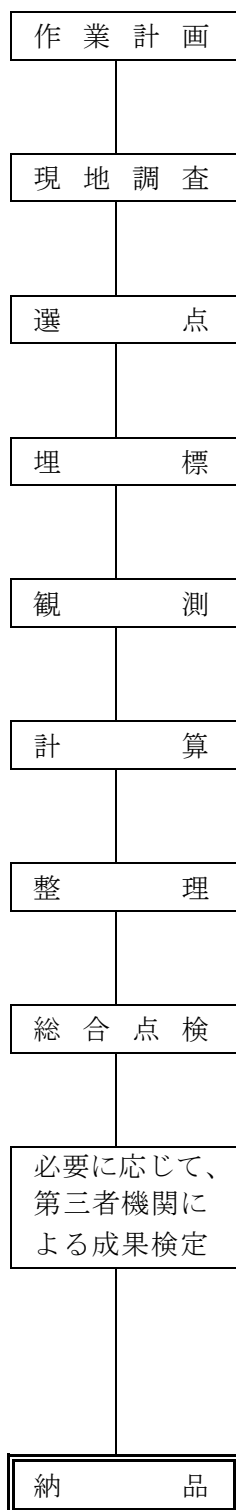
（単位：mm）

区分	標識の名称	標識頭部の 着色の色別	標識の種別	
			原則とするもの	指示によるもの
空中写真 測量	対空標識	原則 白色  状況 黄色 黒色	<p>A型</p>  <p>B型</p>  <p>C型</p>  <p>D型</p>  <p>E型(樹上)</p> 	

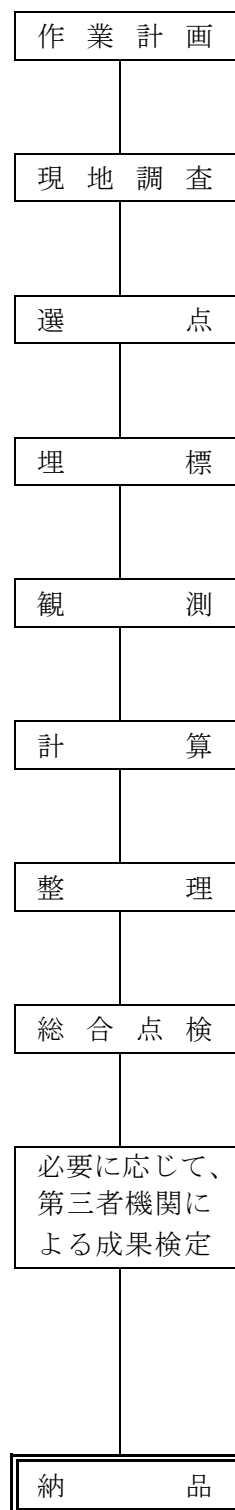
（注）4 対空標識の材質は、耐水性ベニア板又は化学合成板とする。建物の屋上等に設置する場合は、ペンキで直接表示することも可とする。

別表－４ 各種測量の標準作業工程

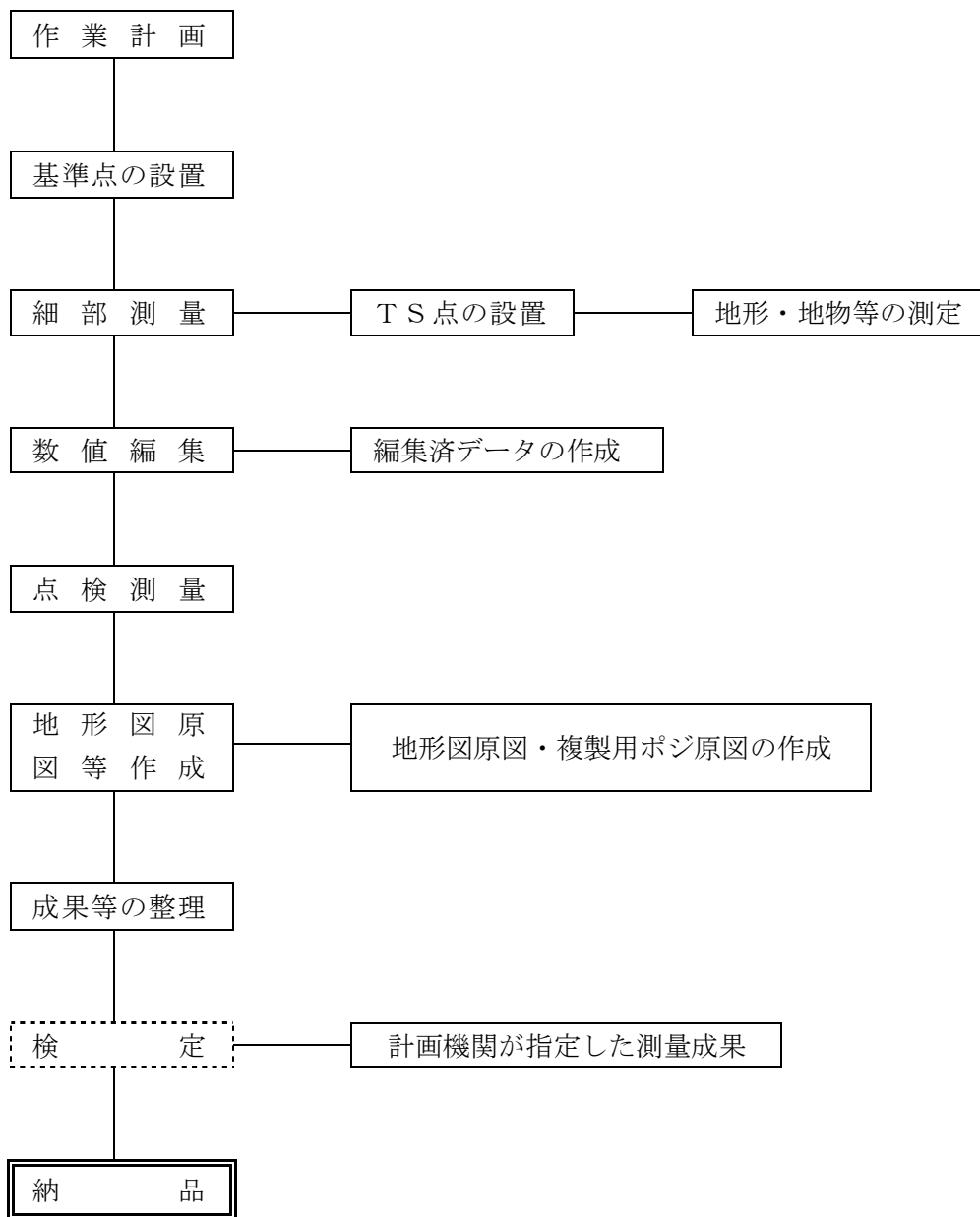
(1) 基準点測量作業工程図



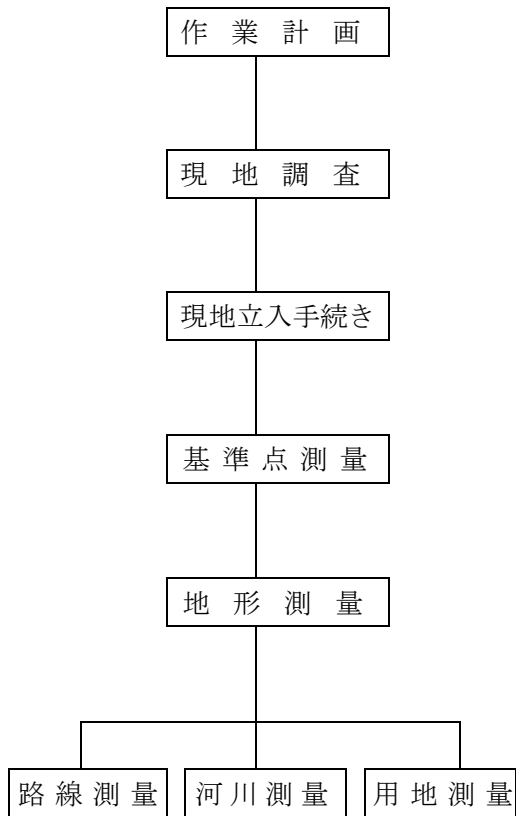
(2) 水準測量作業工程図



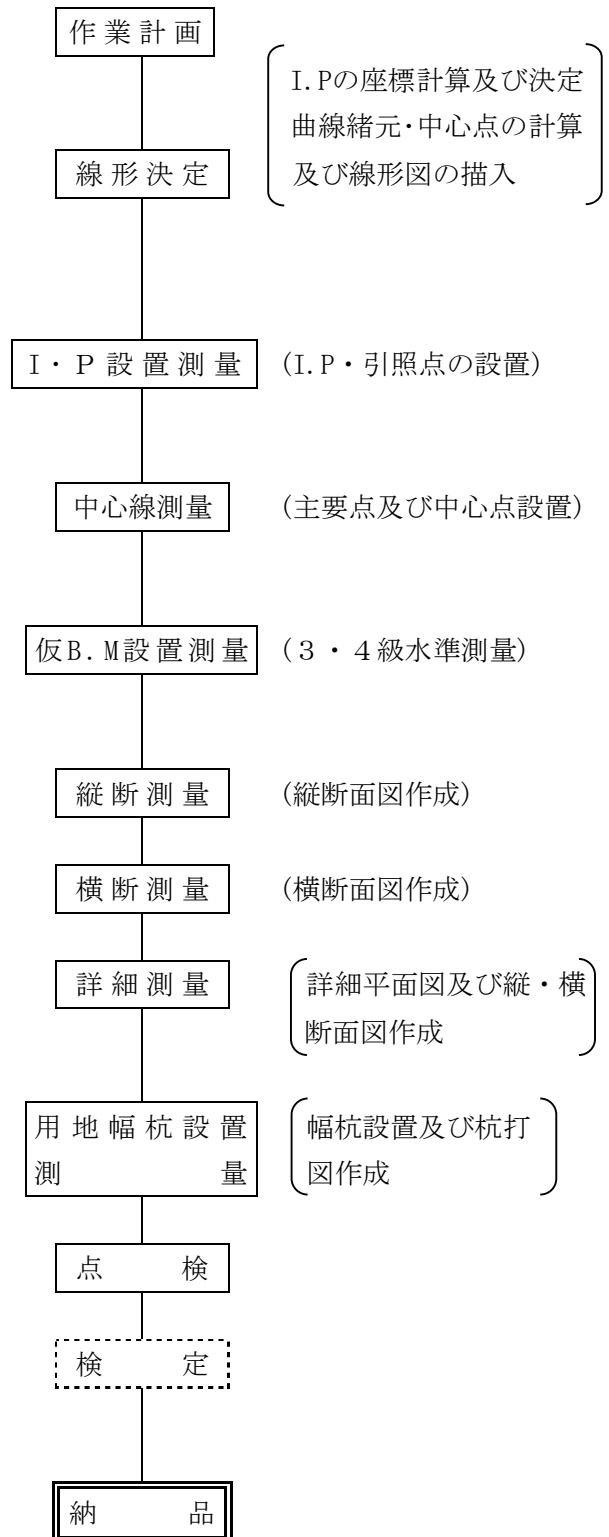
(3) 現地測量（地形測量）作業工程図



(4) 応用測量作業工程図

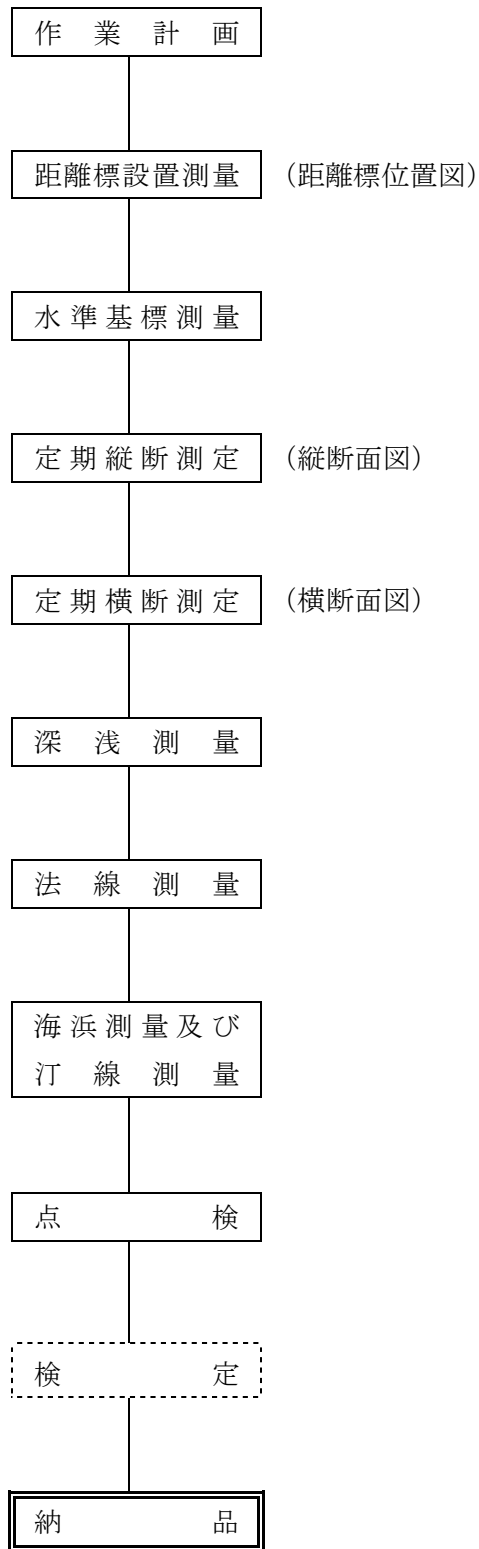


(5) 路線測量作業工程図

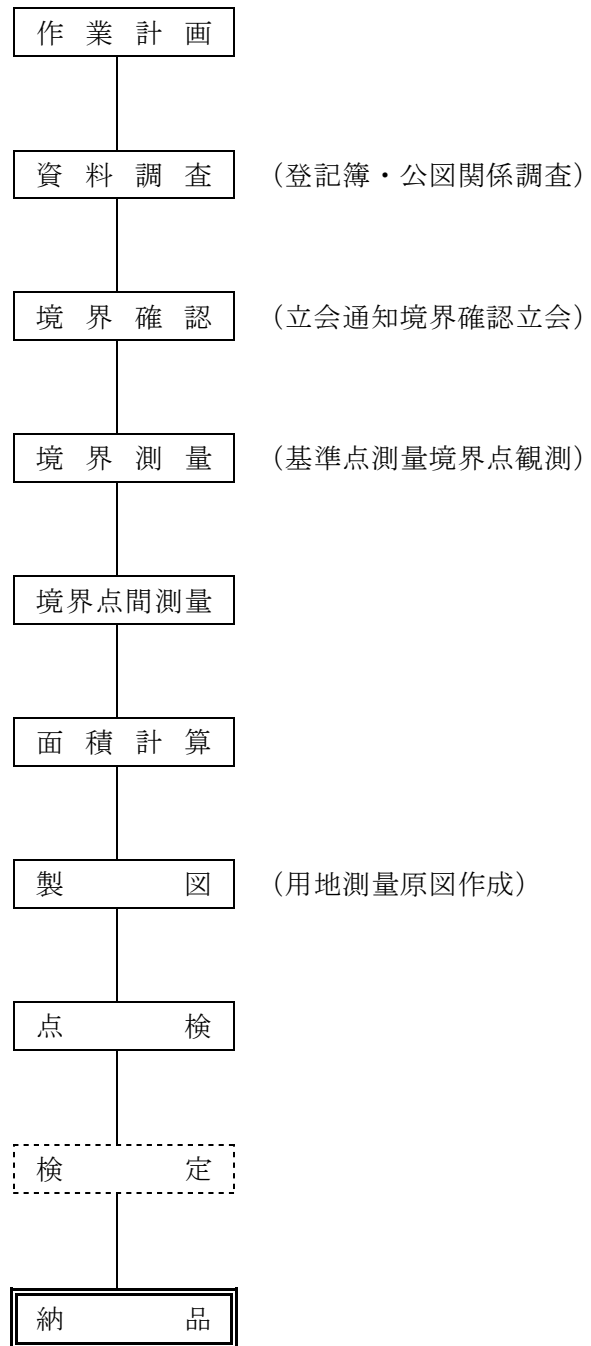




(6) 河川測量作業工程図

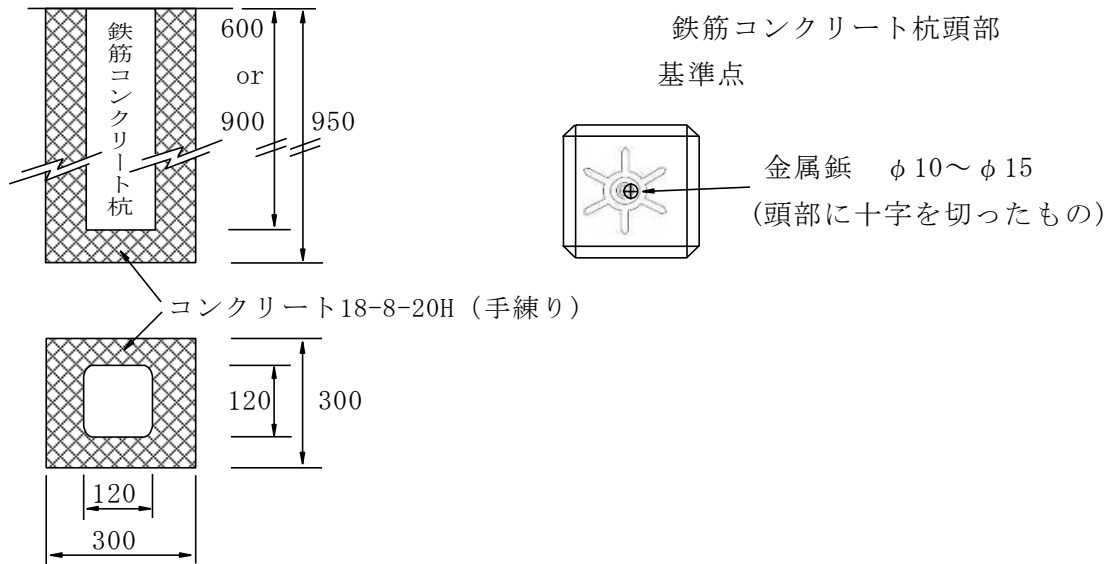


(7) 用地測量作業工程図



別図－1

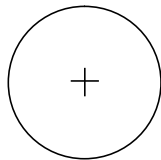
(1) 鉄筋コンクリート杭 (120×120×900) 又は120×120×600)



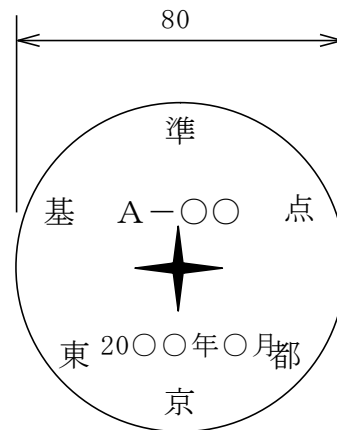
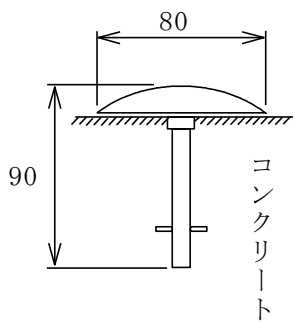
(2) 金属標

① 基準点 (φ80×90)

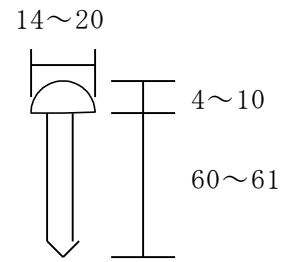
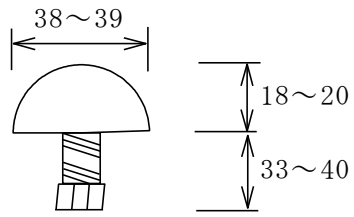
(平面図)



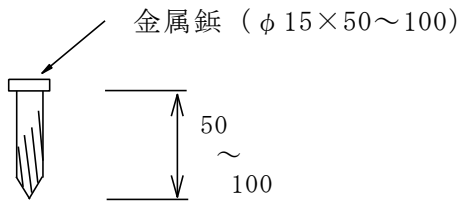
(断面図)



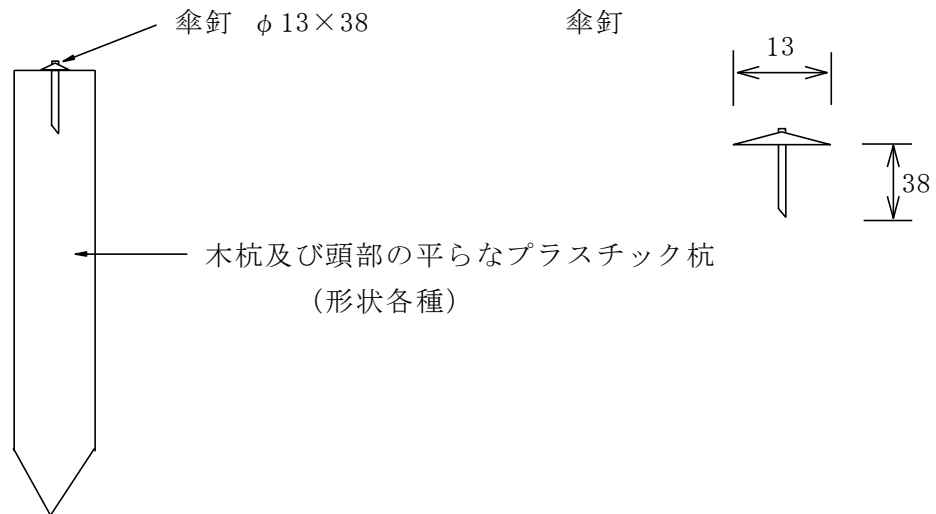
② 仮水準点 (φ 38~39×33~40)  
 (参考図) (又は14~20×60~61)



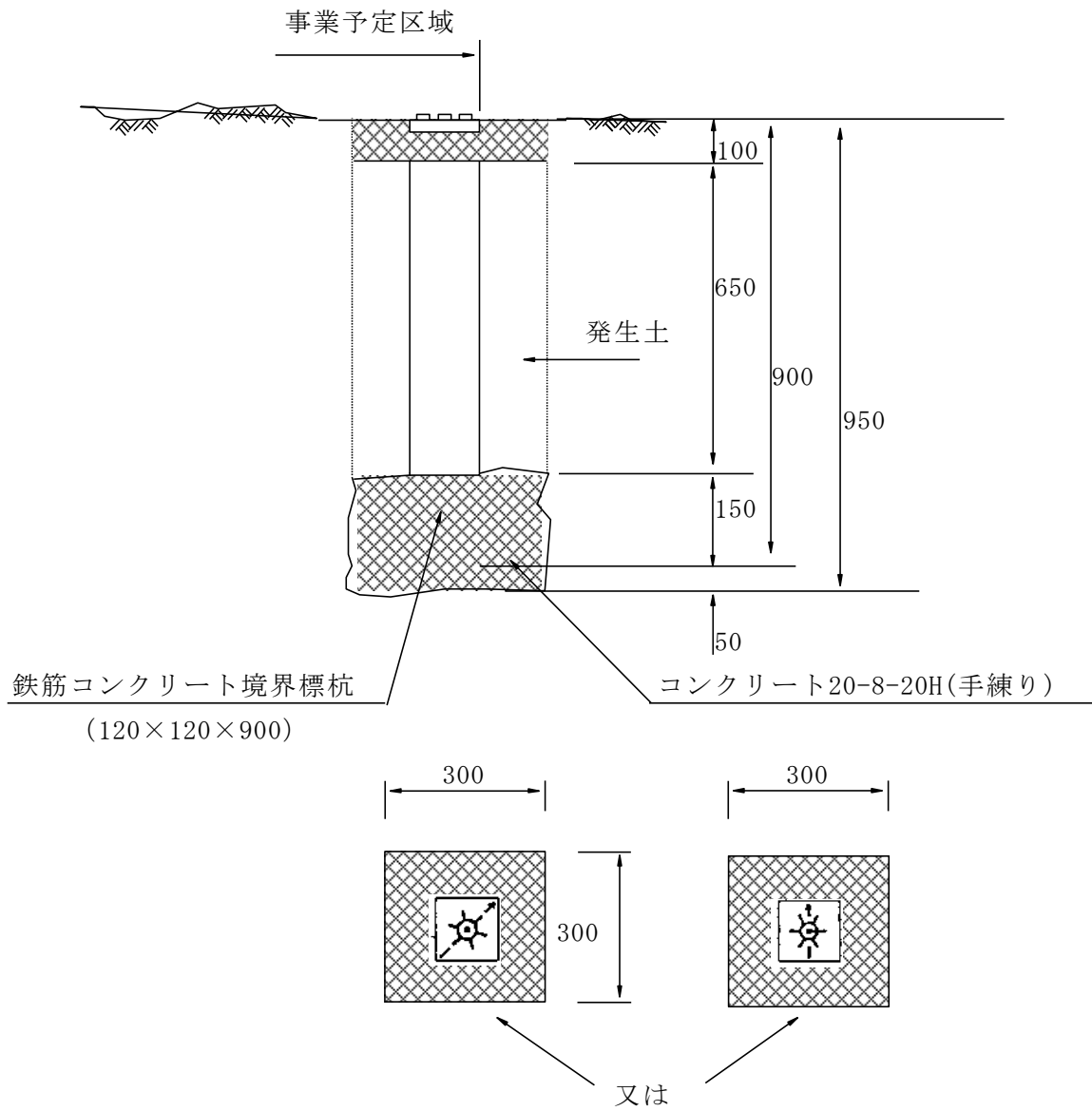
③ その他 (φ 15×50~100)



(3) 木杭及びプラスチック杭 (各種)

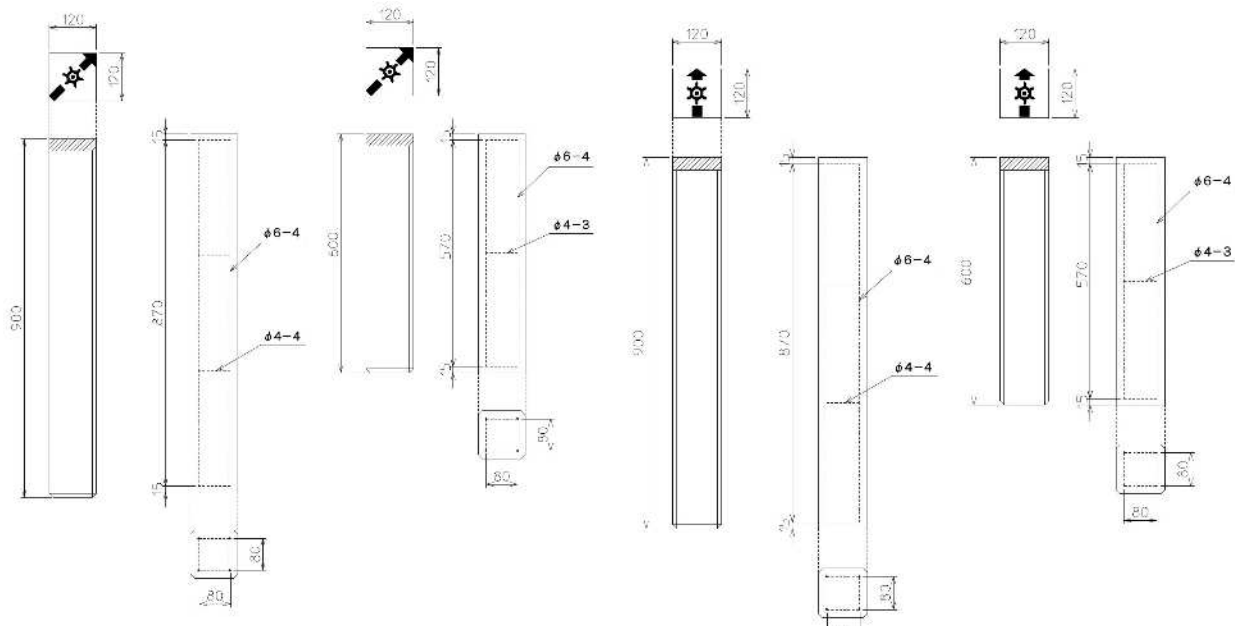


(4) 管理境界標杭設置図（土中）及び境界標（各種）



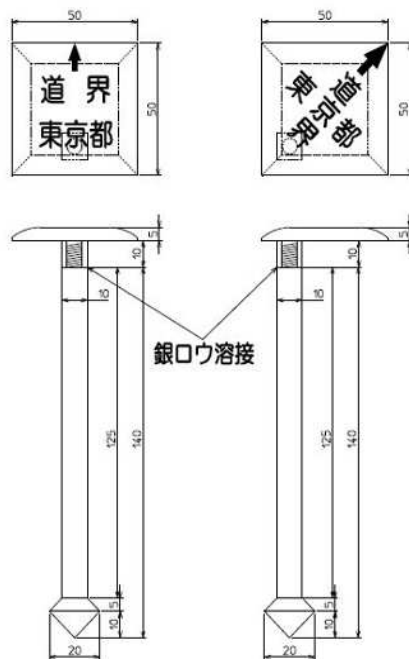
【道路】

① 東京都境界標

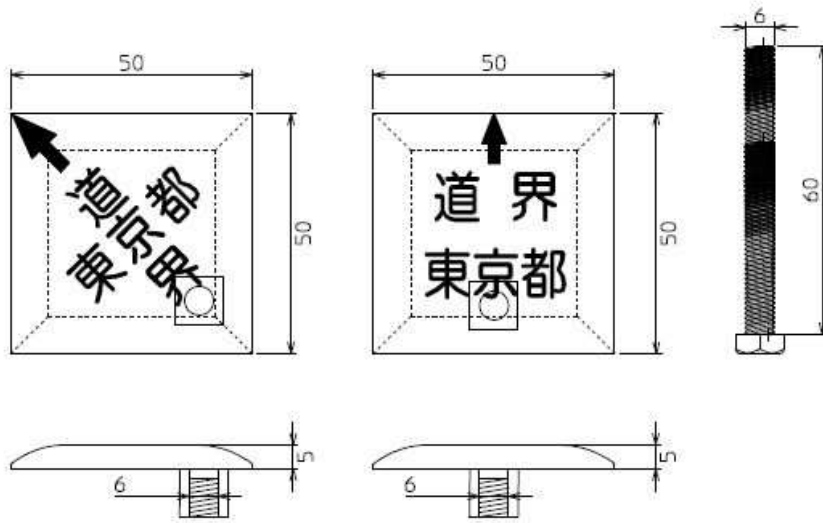


※ 土中の場合は 120×120×900 を使用し、頭部が固定できる場合は 120×120×600 を使用する。

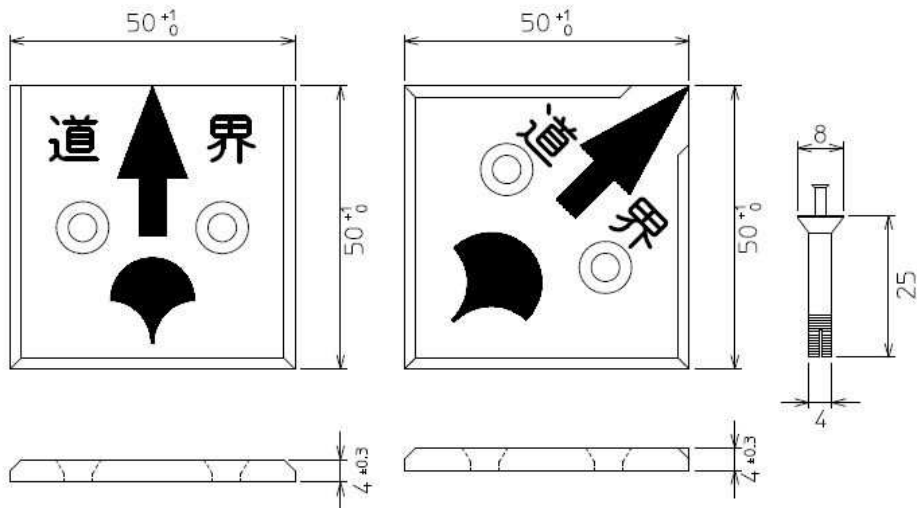
② 東京都道路境界鉾(バリアフリー鉾) バリアフリー鉾用ボルト 6×10×148



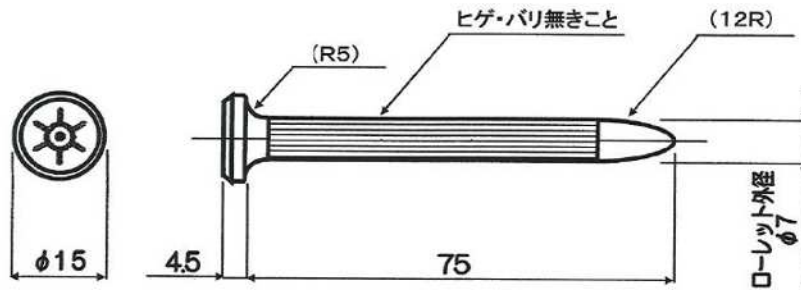
- ③ 東京都道路境界鉾(バリアフリー鉾) 六角ボルト M6×60mm  
(参 考)



- ④ アルミプレート  
(参 考)



- ⑤ 境界鉾(都庁マーク入り)  
(参 考)

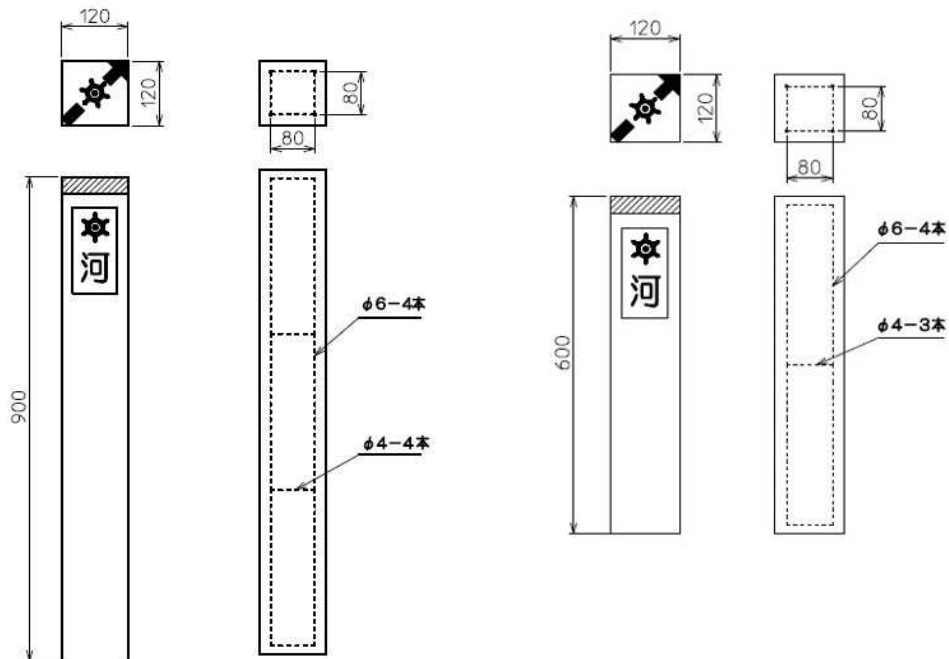


※材質 SWCH45K  
 ※表面処理 クロメート  
 ※マーク色 赤色  
 ※寸法単位 mm

※図面上に寸法のない文字サイズ、  
 形状は実際のものとは多少異なります  
 のでご了承下さい

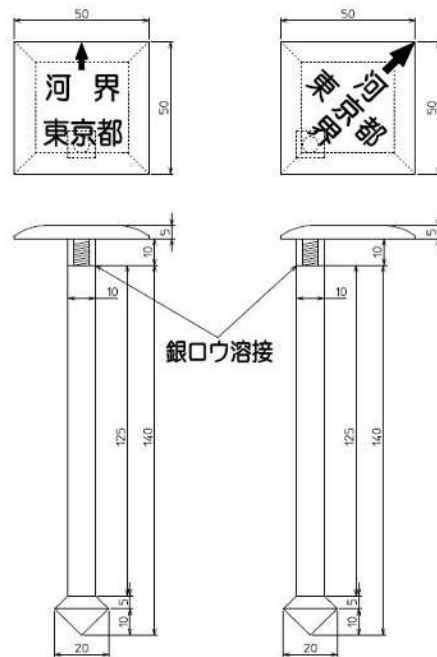
【河川】

- ① 東京都境界標

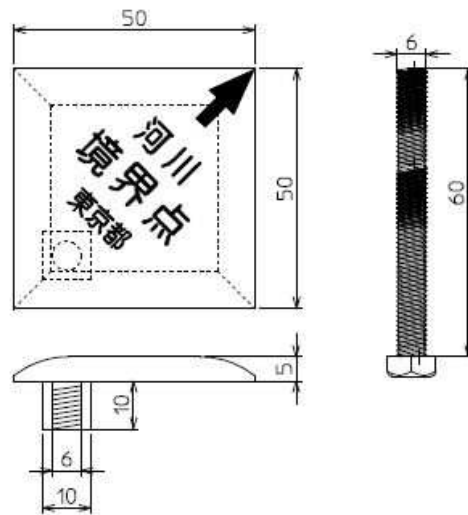


※ 土中の場合は 120×120×900 を使用し、頭部が固定できる場合は 120×120×600 を使用する。

- ② 東京都道路境界鋏(バリアフリー鋏) バリアフリー鋏用ボルト 6×10×148



- ③ 東京都道路境界鋏(バリアフリー鋏) 六角ボルト M6×60mm  
(参考)

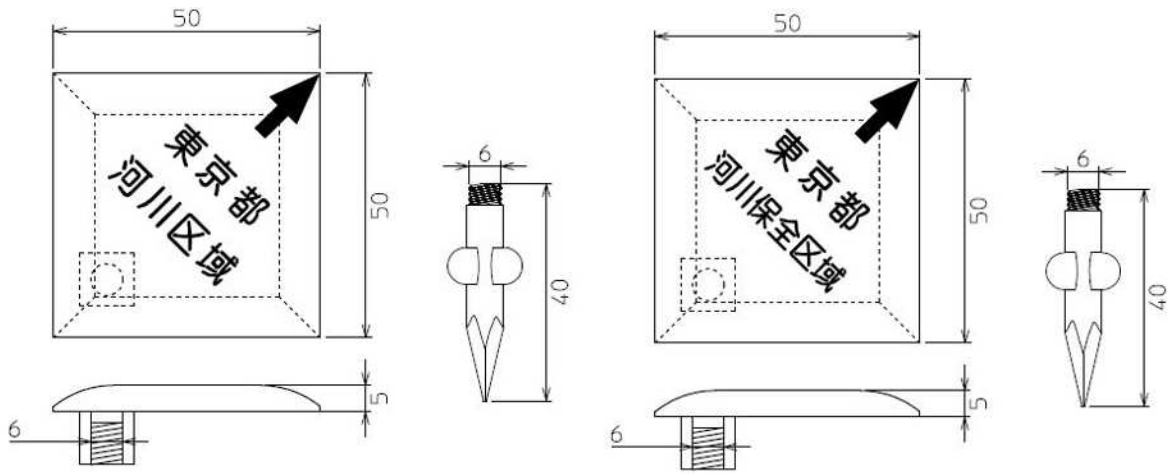




④ 東京都道路境界鋏(バリアフリー鋏) 河川区域、河川保全区域

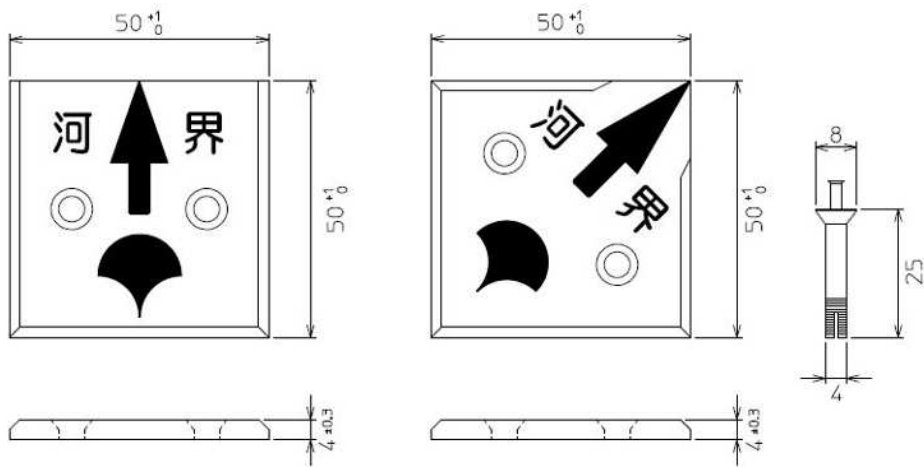
先とがりボルト M6×40mm

(参考)



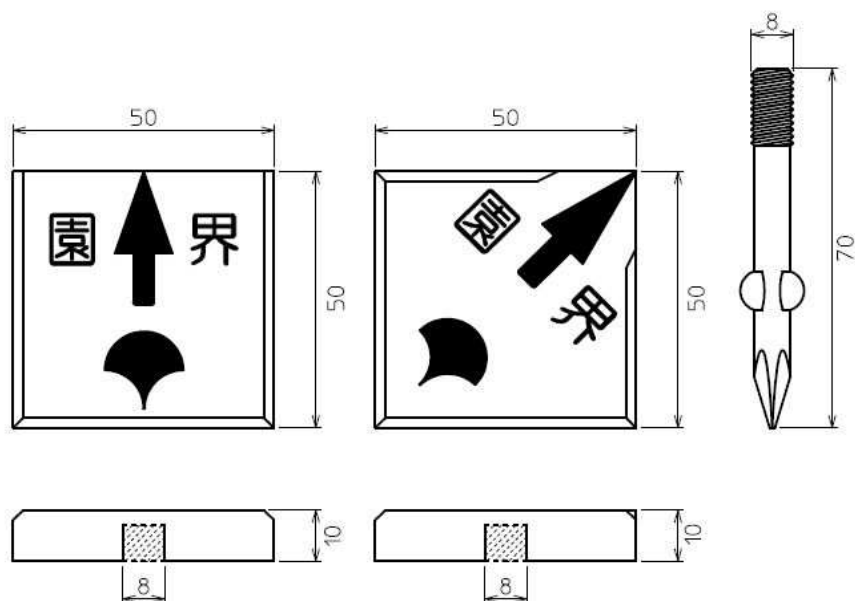
⑤ アルミプレート

(参考)

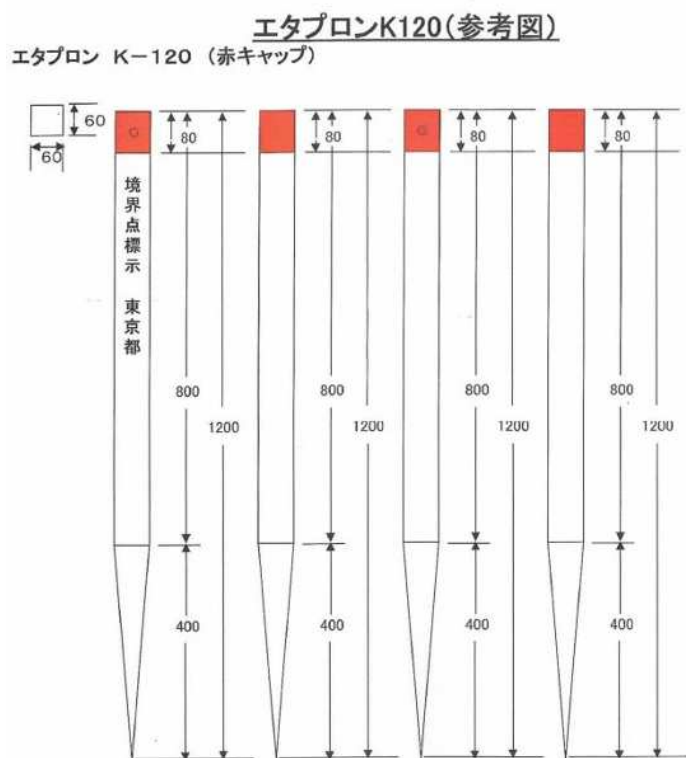


【公園】

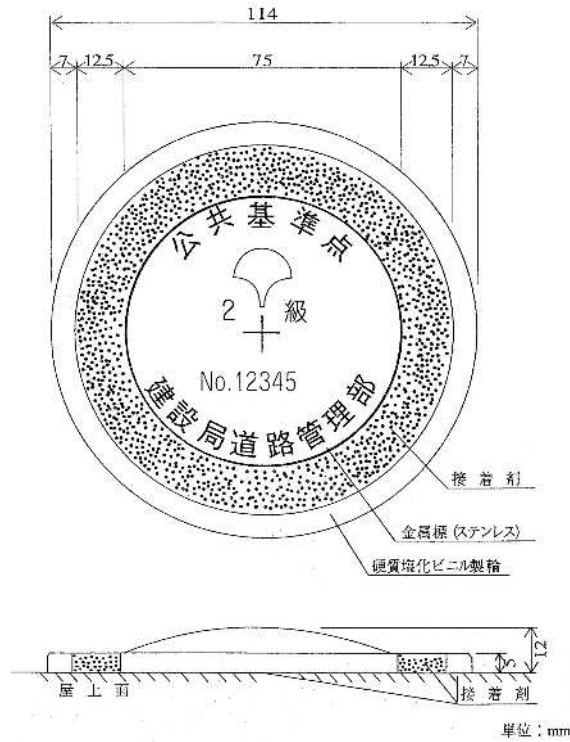
- ① アルミプレート  
(参考)



- ② エタブロンK120  
(参考)



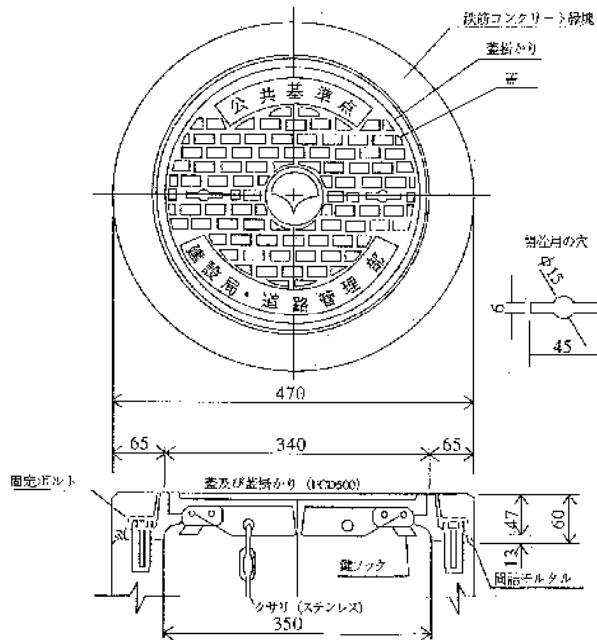
(5) 2級基準点標設置工 標準構造図  
(屋上埋設)



単位：mm

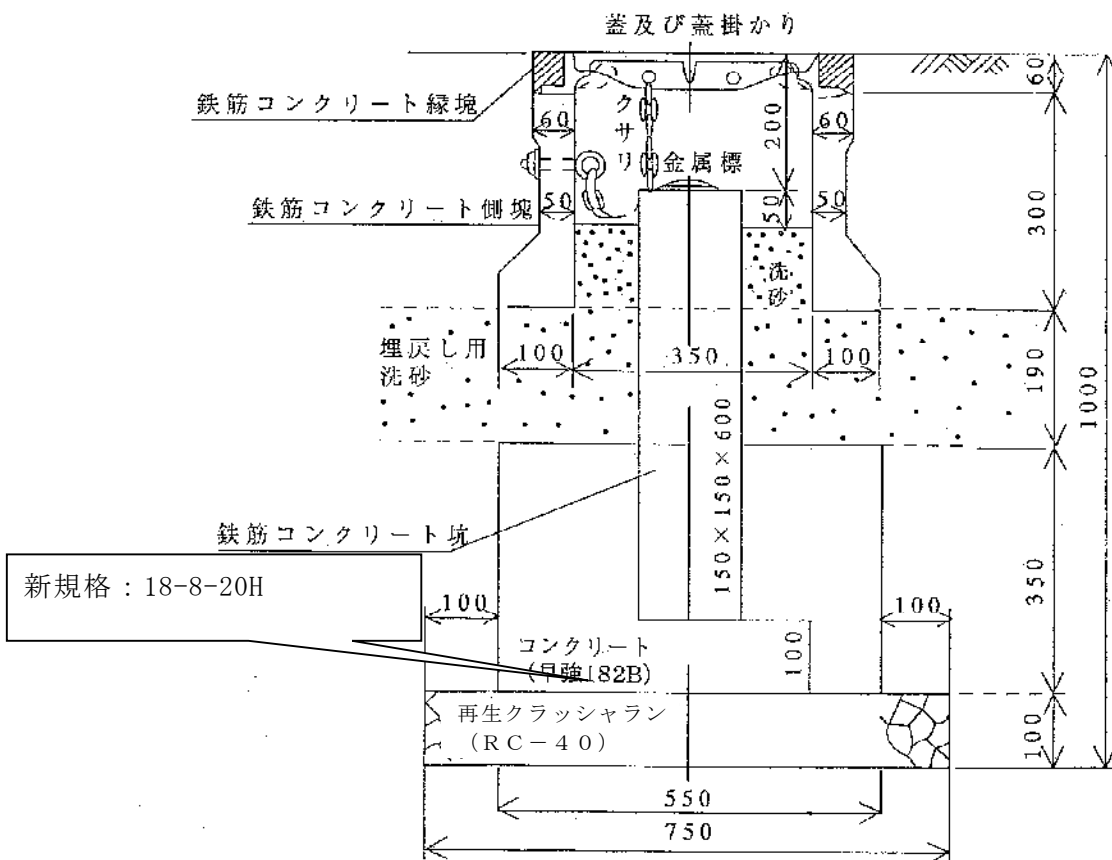
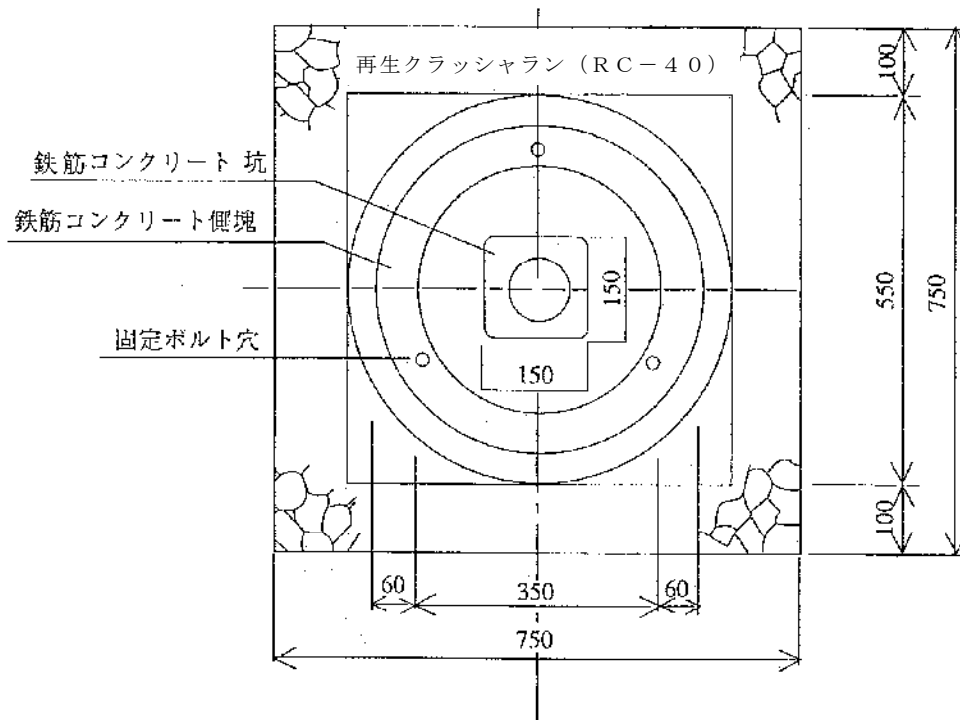
(6) 2、3級基準点標設置工 標準構造図  
(地下埋設)

① 蓋構造図



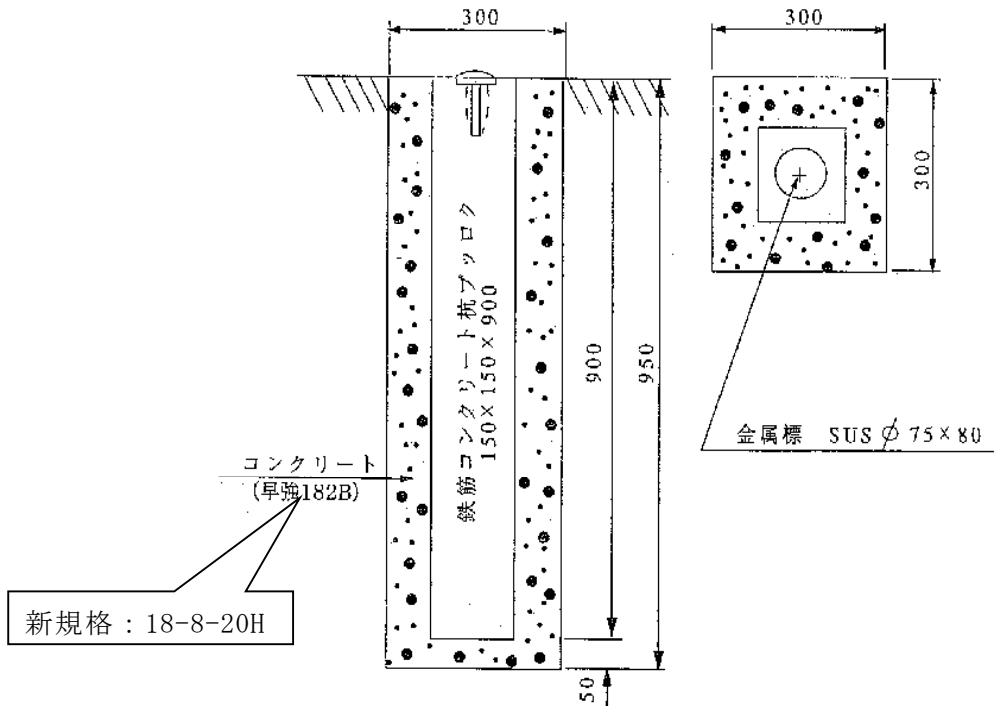
単位：mm

② 躯体構造図



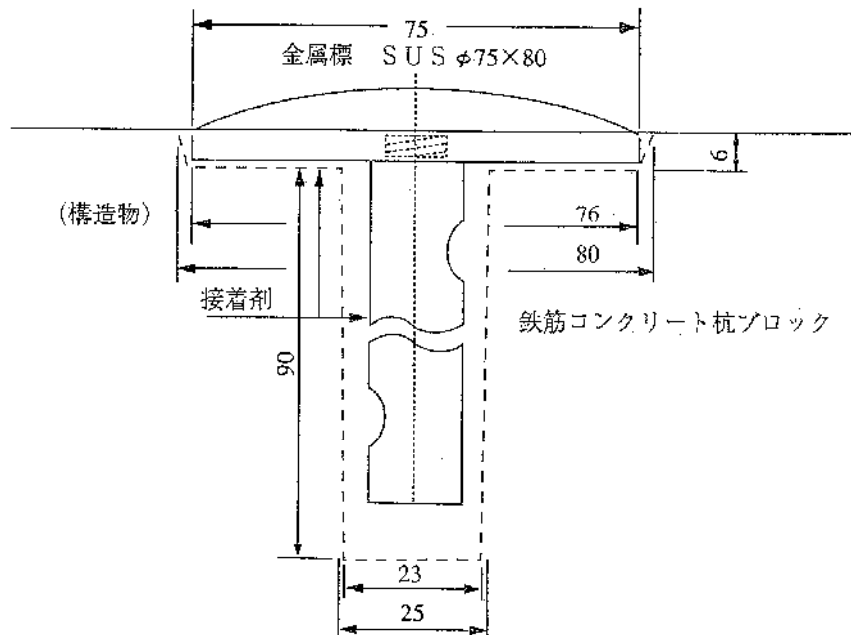
単位：mm

(7) 3級基準点標設置工 標準構造図  
(コンクリート杭埋設)



単位: mm

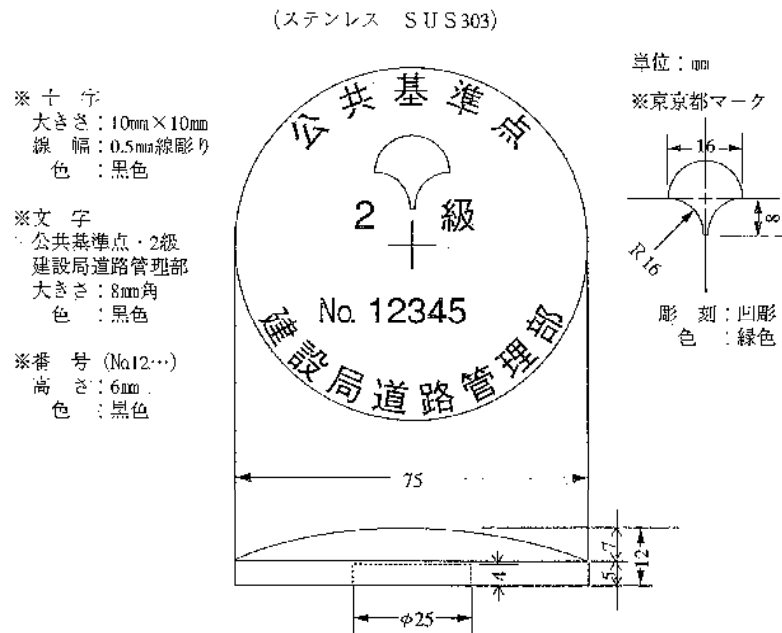
(8) 3級基準点標設置工 標準構造図  
(構造物上埋設)



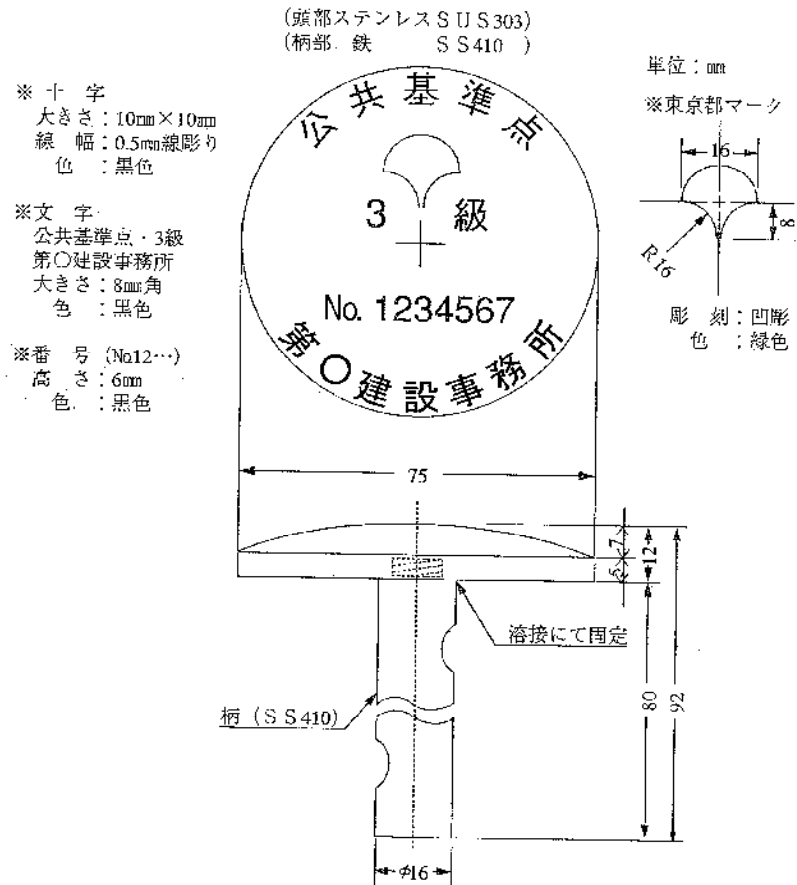
単位: mm

(9) 金属標 構造図

① 2級 (屋上点)

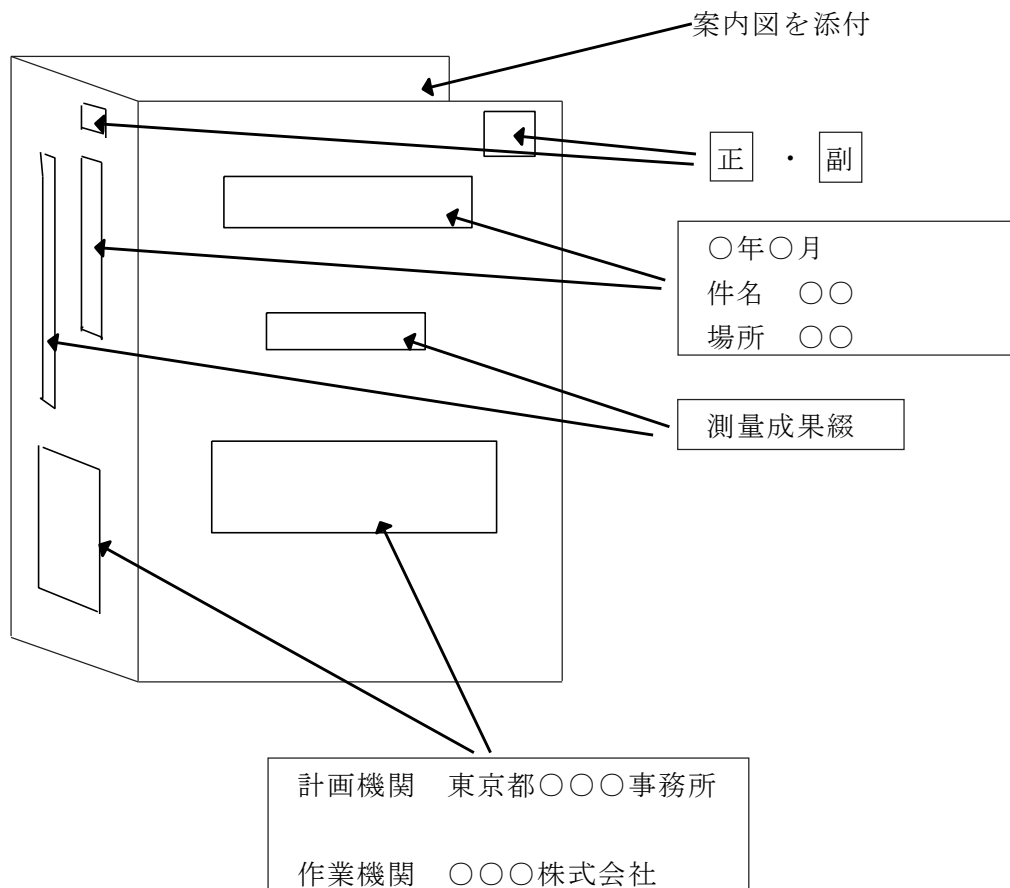


② 3級 (地上点)



別図－2

計算書等の製本の規格



- ※ 各記載内容の上に保護シールを貼ること。
- ※ 背表紙は縦書きとする。
- ※ 案内図は表紙の裏等に添付すること。

参考資料－ 1

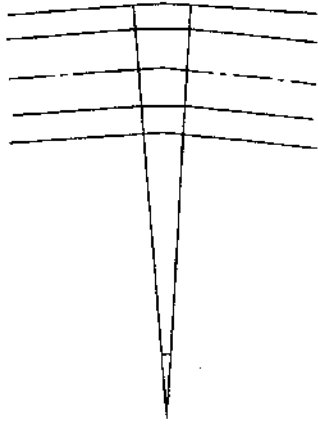
道路曲線部の境界線設定方法

(1) 交角  $0 \sim 3^\circ$  未満

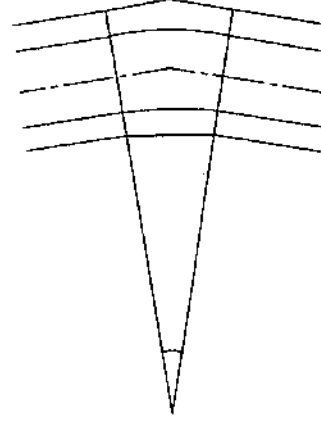
用地境界線はそのままとする。

(2) 交角  $3$  以上  $6^\circ$  未満

内側は  $BC$ 、 $EC$  を結ぶ直線を挿入する。



$0 \sim 3^\circ$

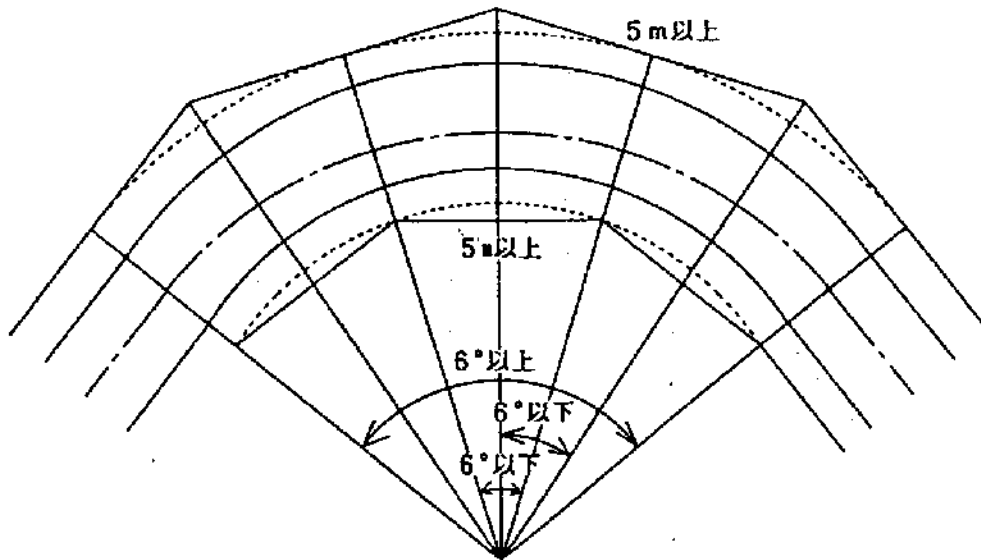


$3 \sim 6^\circ$

(3) 交角  $6^\circ$  以上

外側は外接する直線、内側は適当数に分割した曲線上の点を結ぶ個数の直線とする。

ただし、一つの直線が曲線中心となす角度は  $6^\circ$  以下とし、一辺の長さ  $5\text{ m}$  以上とするが、半径が小さく  $5\text{ m}$  に満たない場合は角度を適宜増大する。





## 道路曲線部の境界線設定法の説明

(1) 交角（0～3未満）の場合

用地境界線はそのままとする。

この場合、内側歩道の狭巾及び外側歩道の拡巾が、最も増大するのは3°の場合なので、これを示せば下表のとおりである。

中心半径	内側、外側、両歩道の狭巾及び拡巾					
	巾員歩道	11m	15m	18m	22m	25m
道路巾員の10倍の時	内側	3.6cm	4.9cm	5.9cm	7.2cm	8.1cm
	外側	4.0cm	5.4cm	6.5cm	7.9cm	9.0cm

(2) 交角（3以上～6未満）の場合

内側においてBC及びECの点を結ぶ直線を挿入し、外側はそのままとし、用地境界線とする。

この場合、内外側歩道の拡巾が最も増大するのは6°の場合なので、これを示せば下表のとおりである。

中心半径	内側、外側、両歩道の狭巾及び拡巾					
	巾員歩道	11m	15m	18m	22m	25m
道路巾員の10倍の時	内側	14.3cm	19.5cm	23.4cm	28.6cm	32.5cm
	外側	15.9cm	21.6cm	25.9cm	31.7cm	36.0cm

(3) 交角（6以上）の場合

内側、外側曲線の分割数は  $n = \frac{I}{6^\circ}$  をもって算出し、端数の生ずるときは  $(n + 1)$  をもって分割数とし、その分割点を結ぶ直線を用地境界線とする。

分割角度は  $\frac{I}{n}$  又は  $\frac{I}{n + 1}$  にて算出する。

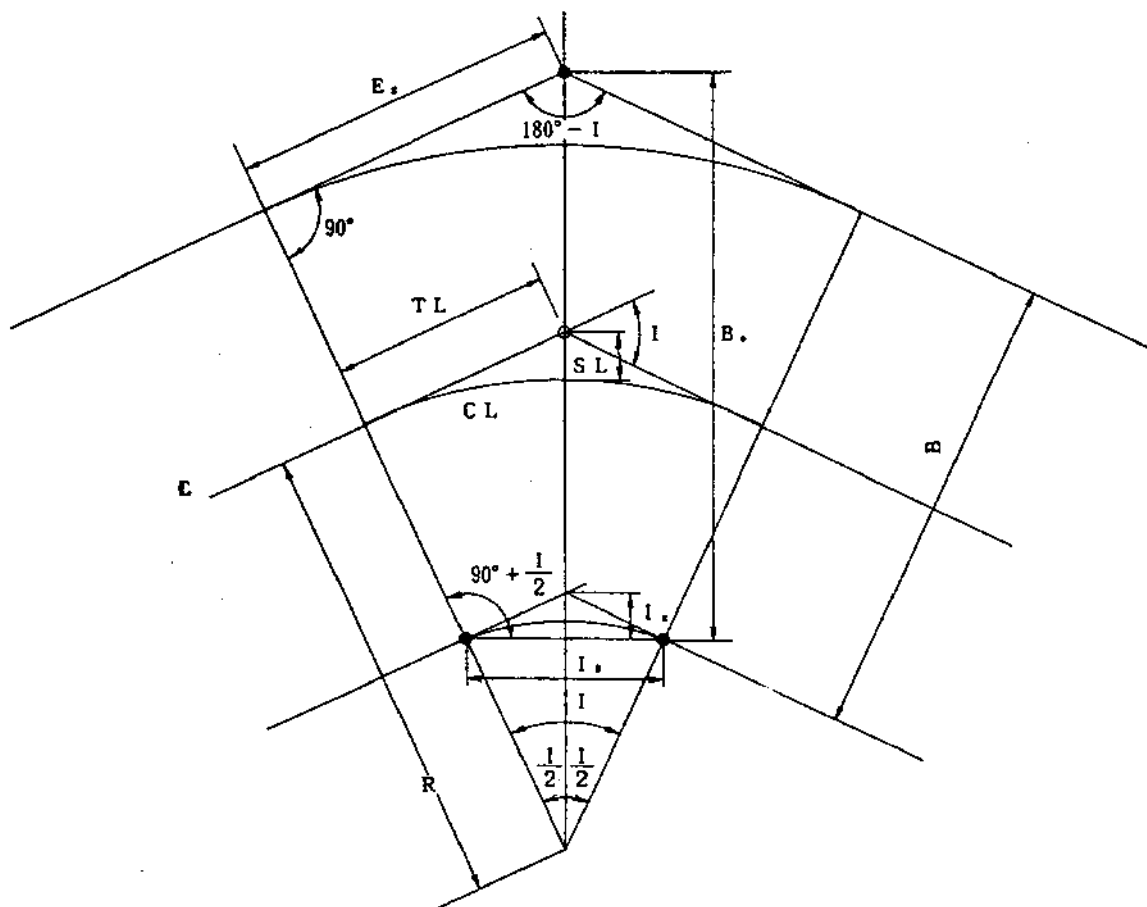
外側、外側曲線のBC、EC及び内側曲線の分割線との交点を切点とする外接直線を結び用地境界線とする。ゆえに(2)の連続と見なすことができ、内外側歩道の拡巾の最大となる場合は、前記(2)の表をそのまま適用することができる。

ただし1つの直線が曲線線中心となす角度は6°以下とし、一辺の長さ5.0m以上限度とする。

例外として半径が小さくて、一辺の長さが5.0mに満たない場合は、角度を適宜増大することができる。



(ロ) ( $3^\circ \sim 6^\circ$  未満) の場合



$$TL = R \cdot \tan(I/2)$$

$$CL = 2 \pi / 360^\circ \cdot R \cdot I^\circ$$

$$= I/P \cdot R \cdot I^\circ$$

$$SL = R \cdot \{\sec(I/2) - 1\}$$

$$\left[ \begin{array}{l} \text{ただし} \\ \rho = 180^\circ / \pi = 57.2958 \text{ (1 rad. の角度)} \\ \therefore 1/\rho = 0.0174533 \end{array} \right]$$

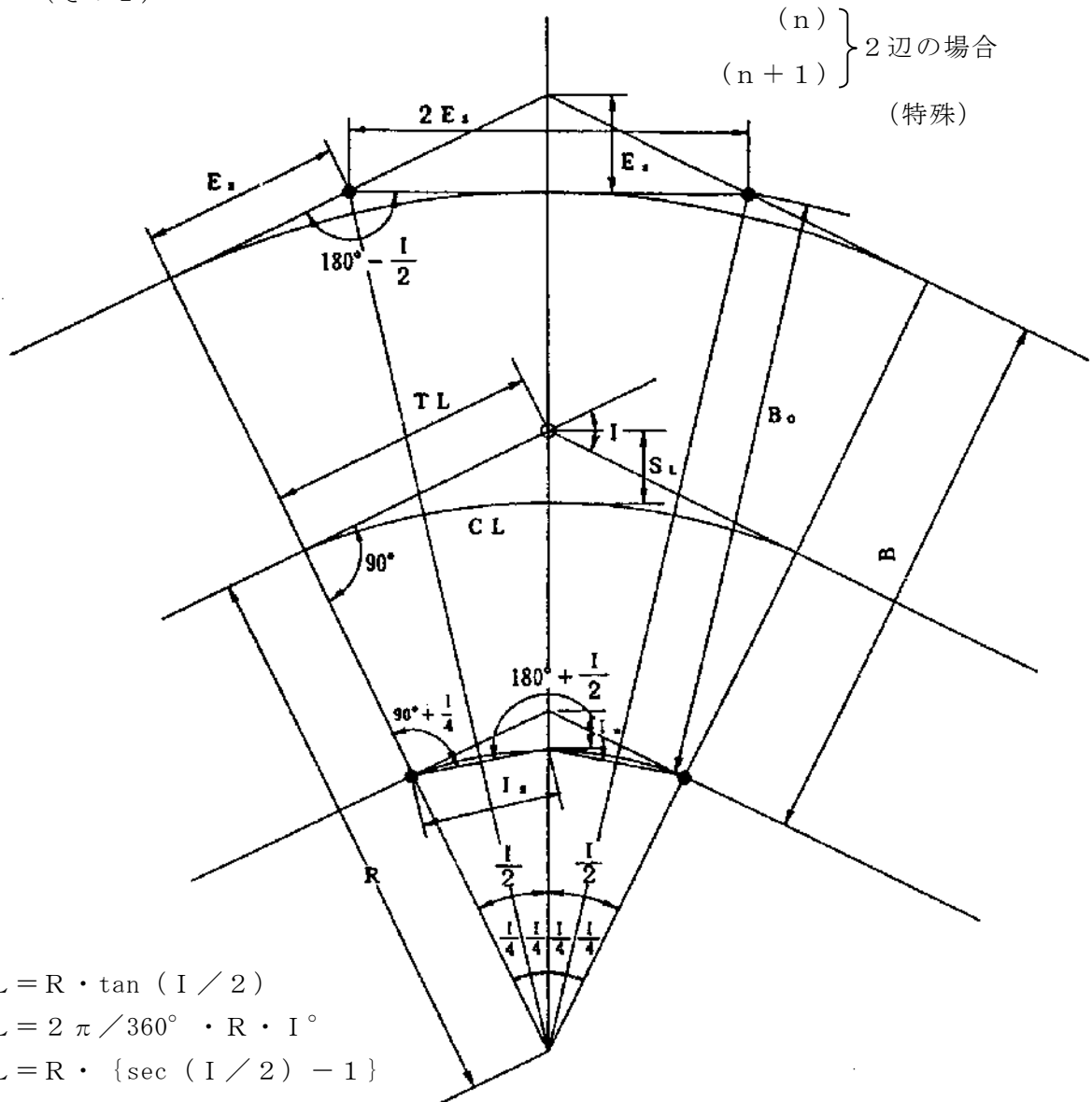
$$E_s = (R + B/2) \cdot \tan(I/2)$$

$$I_s = 2 \cdot (R - B/2) \cdot \sin(I/2)$$

$$I_x = (R - B/2) \cdot \{\sec(I/2) - \cos(I/2)\}$$

$$B_o = (R + B/2) \sec(I/2) - (R - B/2) \cos(I/2)$$

(ハ) ( $6^\circ$  以上) の場合  
(その1)



$$TL = R \cdot \tan(I/2)$$

$$CL = 2\pi/360^\circ \cdot R \cdot I^\circ$$

$$SL = R \cdot \{\sec(I/2) - 1\}$$

$$L_x = (R - B/2) \cdot \{\sec(I/2) - 1\}$$

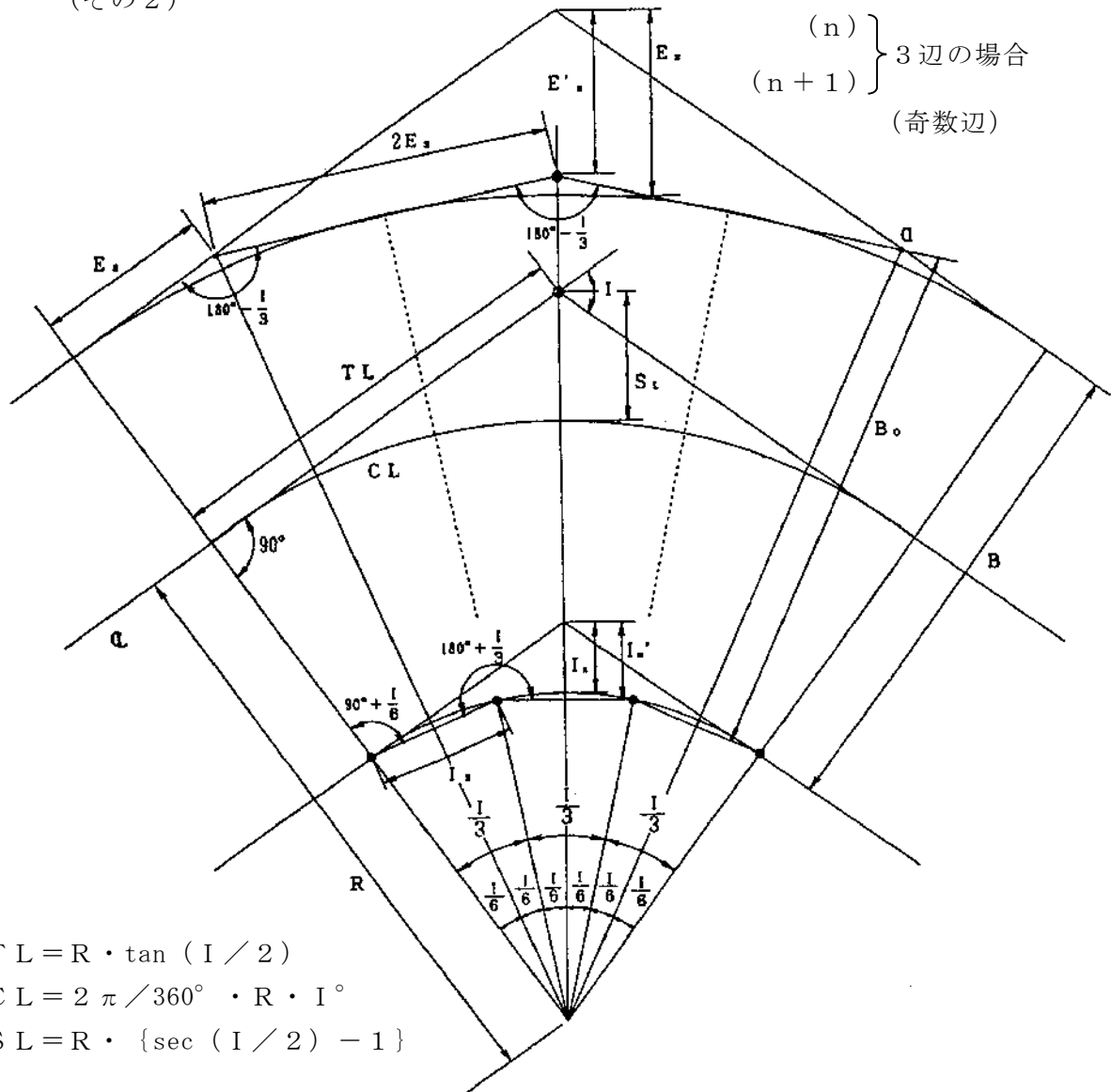
$$I_s = 2 \cdot (R - B/2) \cdot \sin(I/4)$$

$$E_s = (R + B/2) \cdot \tan(I/4)$$

$$E_x = (R + B/2) \cdot \{\sec(I/2) - 1\}$$

$$B_0 = (R + B/2) \cdot \sec(I/4) - (R - B/2) \cdot \cos(I/4)$$

(ハ) ( $6^\circ$  以上) の場合  
(その 2)



$$TL = R \cdot \tan (I / 2)$$

$$CL = 2 \pi / 360^\circ \cdot R \cdot I^\circ$$

$$SL = R \cdot \{ \sec (I / 2) - 1 \}$$

$$I_x = (R - B / 2) \cdot \{ \sec (I / 2) - 1 \}$$

$$I_x' = (R - B / 2) \cdot \{ \sec (I / 2) - \cos (I / 6) \}$$

$$I_s = 2 \cdot (R - B / 2) \cdot \sin (I / 6)$$

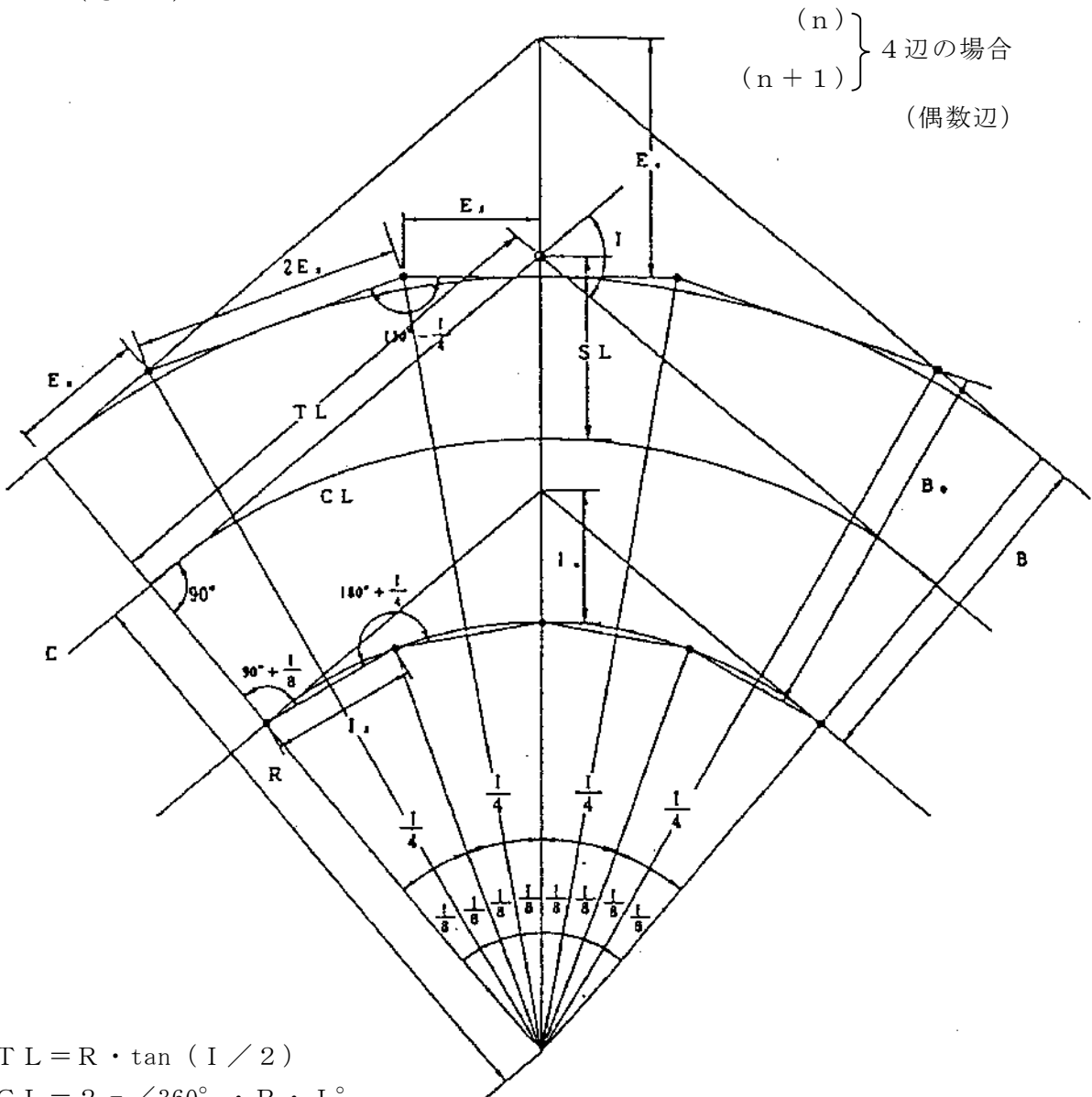
$$E_s = (R + B / 2) \cdot \tan (I / 6)$$

$$E_x = (R + B / 2) \cdot \{ \sec (I / 2) - 1 \}$$

$$E_x' = (R + B / 2) \cdot \{ \sec (I / 2) - \sec (I / 6) \}$$

$$B_o = (R + B / 2) \cdot \sec (I / 6) - (R - B / 2) \cdot \cos (I / 6)$$

(ハ) (6° 以上) の場合  
(その3)



$$TL = R \cdot \tan(I/2)$$

$$CL = 2\pi/360^\circ \cdot R \cdot I^\circ$$

$$SL = R \cdot \{\sec(I/2) - 1\}$$

$$I_s = 2 \cdot (R - B/2) \cdot \sin(I/8)$$

$$I_x = (R - B/2) \cdot \{\sec(I/2) - 1\}$$

$$E_s = (R + B/2) \cdot \tan(I/8)$$

$$E_x = (R + B/2) \cdot \{\sec(I/2) - 1\}$$

$$B_s = (R + B/2) \cdot \sec(I/8) - (R - B/2) \cdot \cos(I/8)$$

参考資料－ 2

クロソイド区間の境界線設定法

中心線長  $L$  (クロソイド曲線長) を  $n$  分割 ( $n$  は偶数辺) し、各中間点 (KC5-1-1~KC5-1-16) の座標及び接線角  $\tau = L^2/2A^2$  ( $\tau 5-1-1 \sim \tau 5-1-16$ ) を求め、偶数点より接線角  $\tau$  の直角に  $1/2$  道路幅員を取り、内側点 (KR5-1-2, KR5-1-4, ……KR5-1-14, KR5-1-16) 及び外側点 (KL5-1-2, KL5-1-4, ……KL5-1-14, KL5-1-16) の各点を算出する。

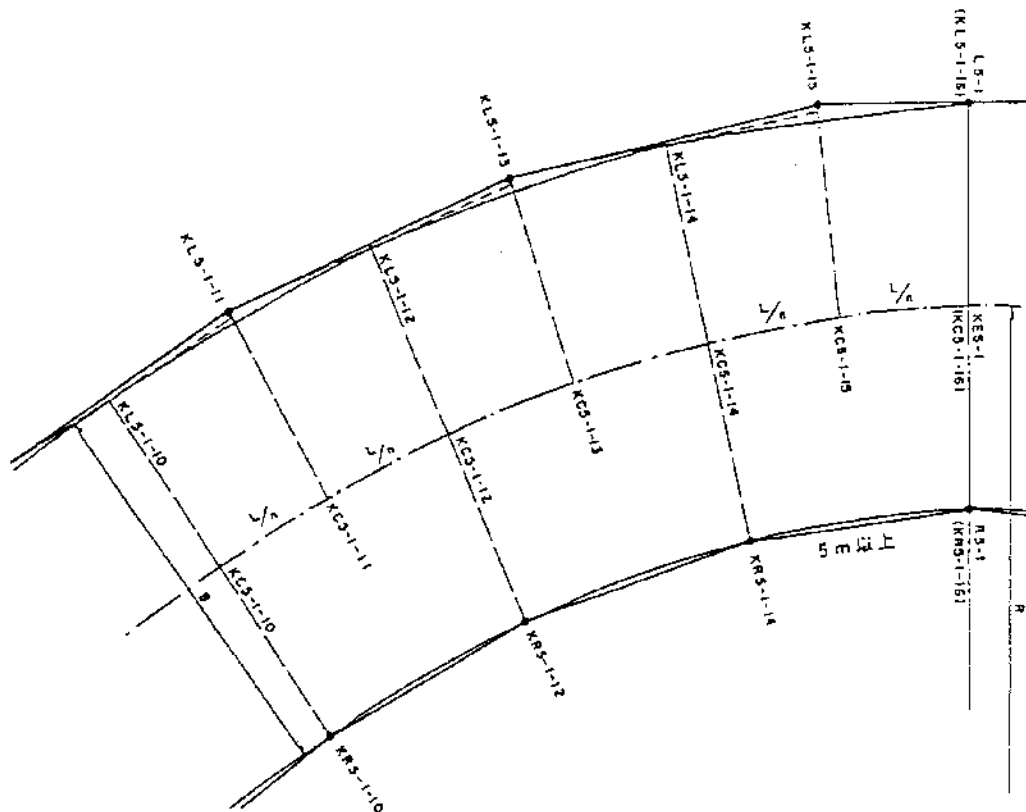
内側曲線は上記で求めた内側点 (KR5-1-2, KR5-1-4, ……KR5-1-14, KR5-1-16) を結ぶ直線を用地境界線とする。

外側曲線は中間点の奇数点 (KC5-1-15) からその点の接線角 ( $\tau 5-1-15$ ) の直角方向と外側点で曲率  $1/R$  が大きい方の点 (KL5-1-16) よりその点の接線角 ( $\tau 5-1-16$ ) との 2 点 2 方向で交点 (KL5-1-15) を求める。

次も奇数点 (KC5-1-13) からその点の接線角 ( $\tau 5-1-13$ ) の直角方向と外側点で曲率が大きい方の点 (KL5-1-14) よりその点の接線角 ( $\tau 5-1-14$ ) との 2 点 2 方向で交点 (KL5-1-15) を求める。

以下同様に (KL5-1-11, KL5-1-9 ……KL5-1-3, KL5-1-1) を求め、各点を結ぶ直線を用地境界線とする。

ただし用地境界区間で一辺の長さが最短となるのは内側で曲率が大きい箇所であるので、この区間 (KR5-1-14~KR5-1-16) を 5 m 以上になるように、 $n$  ( $n$  は偶数辺) を決める。



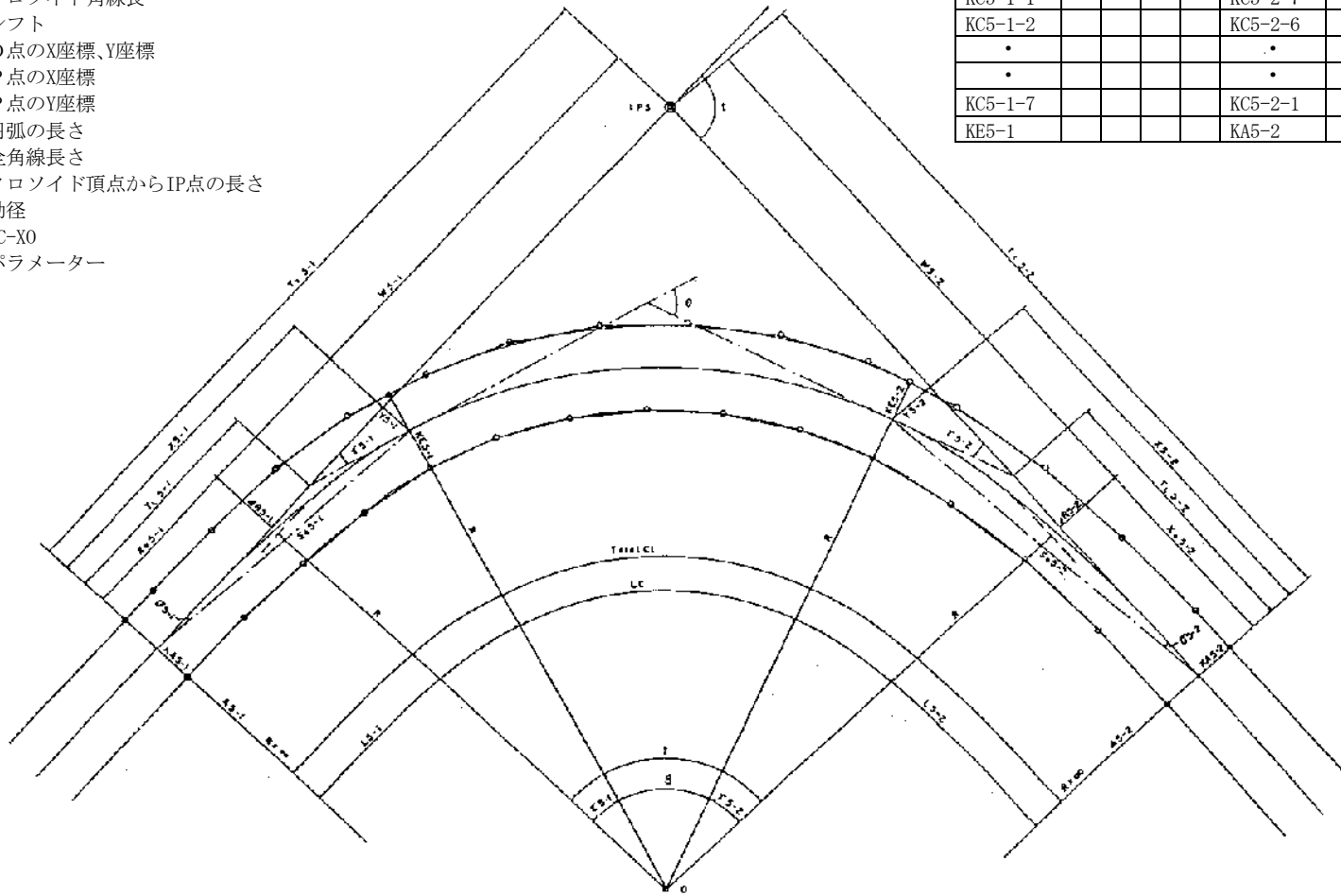
クロソイド要素

IPNo.	5	
KNo.	5-1	5-2
I		
R		
L		
ΔR		
X <sub>o</sub>		
X		
Y		
LC		
CL		
Tc		
So		
W		
A		

曲線番号  
 クロソイド番号  
 クロソイド主接線の交角  
 半角線の半径  
 クロソイド角線長  
 シフト  
 O点のX座標、Y座標  
 P点のX座標  
 P点のY座標  
 円弧の長さ  
 全角線長さ  
 クロソイド頂点からIP点の長さ  
 動径  
 TC-X0  
 パラメーター

内外線算出要素

KNo.	5-1				KNo.	5-2			
	L	X	Y	τ		L	X	Y	τ
KA5-1					KE5-2				
KC5-1-1					KC5-2-7				
KC5-1-2					KC5-2-6				
•					•				
•					•				
KC5-1-7					KC5-2-1				
KE5-1					KA5-2				







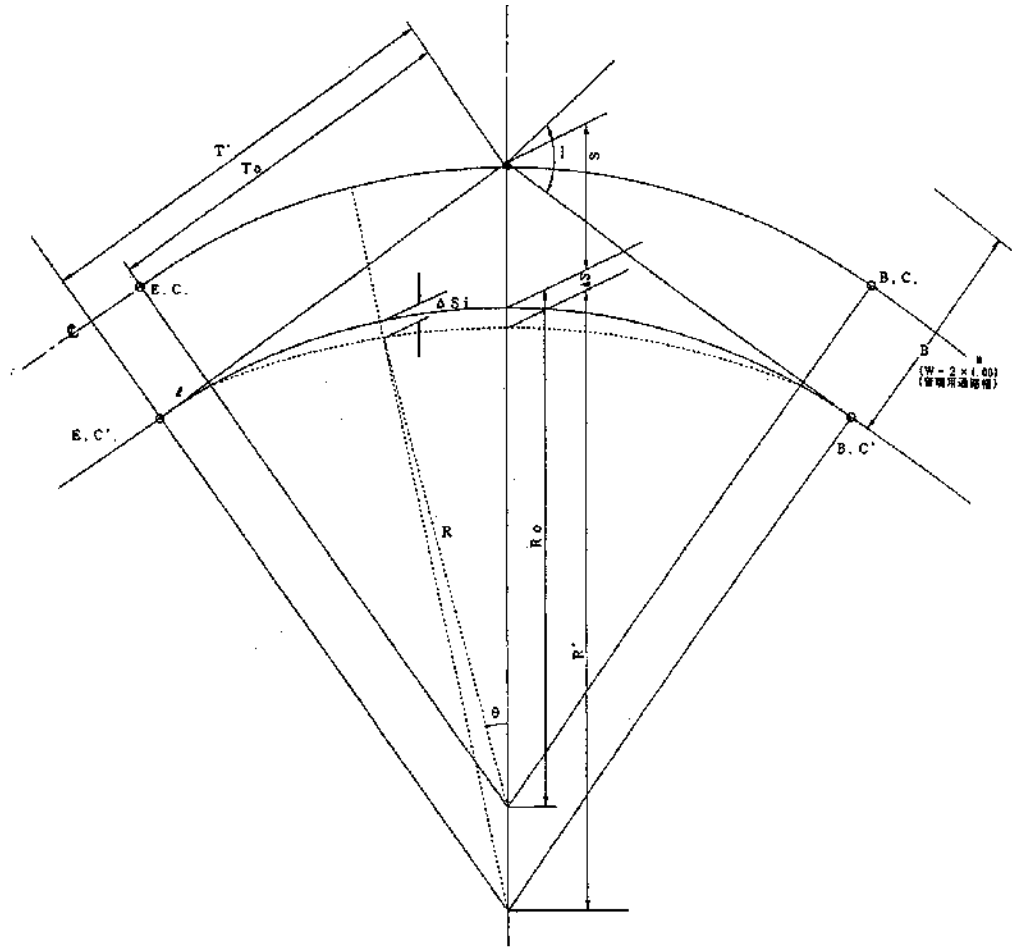
参考資料- 3

河川曲線部の境界線設定法

河川曲線部の内側法線 (内側拡幅)

河川名 \_\_\_\_\_

IP-



中心線 (R)	河道内曲線 (Ro)
I. A = _____	I. A = _____
R = _____	R (Ro) = _____
T. L = _____	T. L (To) = _____
C. L = _____	C. L = _____
S. L = _____	S. L (S) = _____
B = _____	

$$\Delta S = I / 1000 \times B =$$

$$T' = (S + \Delta S) / S \times T_0 =$$

$$R' = T' \tan(90^\circ - I/2) =$$

$$\Delta S i = R_0 + (R' - R_0 + \Delta S) \cos \theta - \sqrt{R'^2 - (R' - R_0 + \Delta S)^2 \sin^2 \theta} =$$

ここに

- I : 交角 (度)
- $T_0$  : 拡幅前における内カーブ T. L (m)
- $T'$  : 拡幅後における内カーブ T. L (m)
- $R_0$  : 拡幅前における内カーブ半径 (m)
- $R'$  : 拡幅後における内カーブ半径 (m)
- B : 流路幅員 [高水法線間距離] (m)
- S : 拡幅前における内カーブ S. L (m)
- $\Delta S$  : 拡幅量 (m)
- W : 河川計画幅 (m)
- $\Delta S i$  : 任意の地点 ( $\theta$  の場合に) おける拡幅量 (m)



曲線分割計算書

河川名

( IP- )

I. A = \_\_\_\_\_

R = \_\_\_\_\_

C. L = \_\_\_\_\_

T. L = \_\_\_\_\_

S. L = \_\_\_\_\_

n = \_\_\_\_\_

(nは偶数とする)

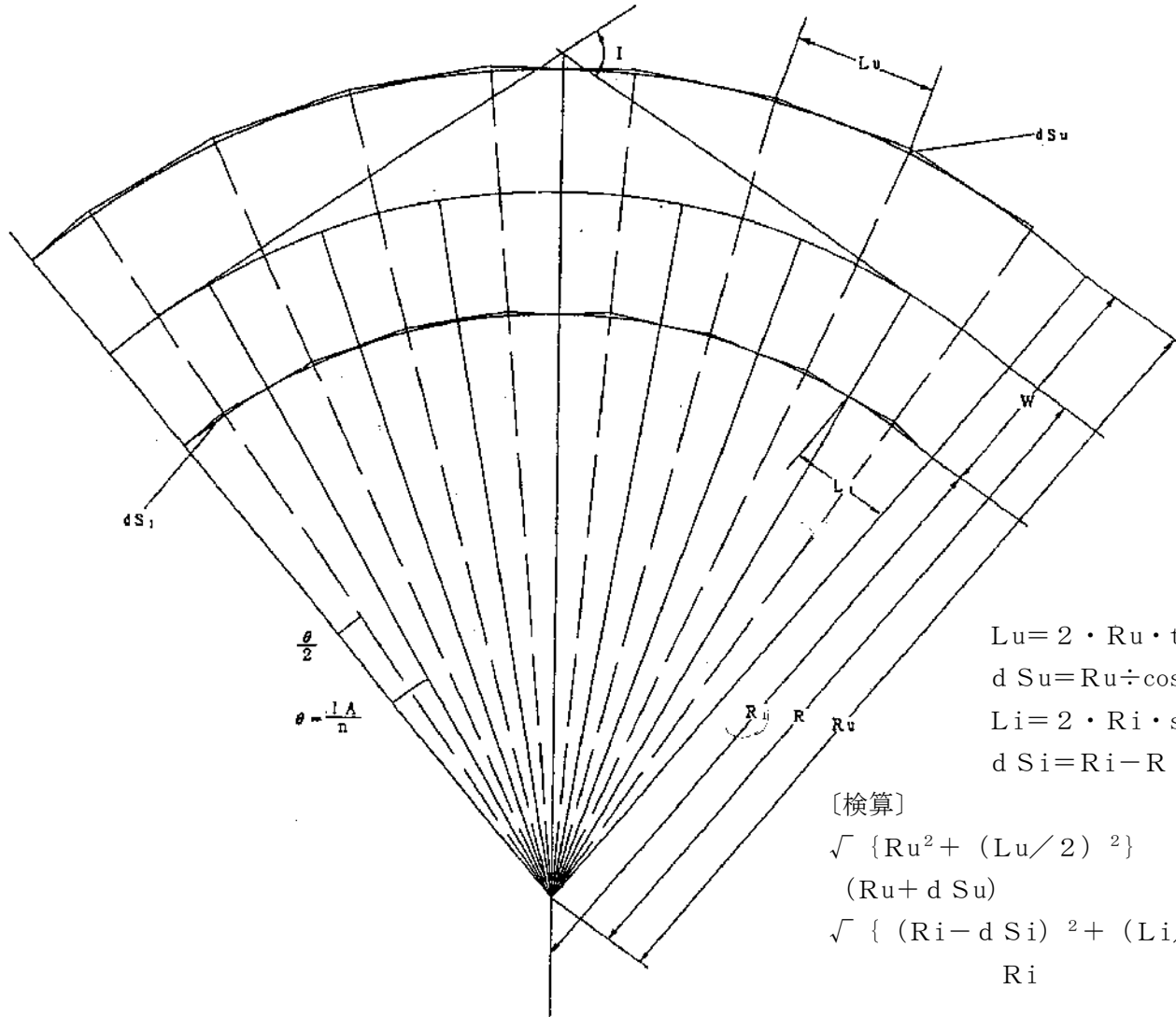
$\theta = I \cdot A / n =$  \_\_\_\_\_

$\theta / 2 =$  \_\_\_\_\_

$R_i = R' - 4.0m =$  \_\_\_\_\_

(4.0mは管理用通路幅を示す)

$R_u = R + W / 2 =$  \_\_\_\_\_



$Lu = 2 \cdot Ru \cdot \tan(\theta / 2) =$  \_\_\_\_\_

$dSu = Ru \div \cos(\theta / 2) - Ru =$  \_\_\_\_\_

$Li = 2 \cdot Ri \cdot \sin(\theta / 2) =$  \_\_\_\_\_

$dSi = Ri - Ri \cdot \cos(\theta / 2) =$  \_\_\_\_\_

[検算]

$\sqrt{\{Ru^2 + (Lu / 2)^2\}} =$  \_\_\_\_\_ } 外側

$(Ru + dSu) =$  \_\_\_\_\_ } 内側

$\sqrt{\{(Ri - dSi)^2 + (Li / 2)^2\}} =$  \_\_\_\_\_

$Ri =$  \_\_\_\_\_

関係資料一覧表

種 別	資 料 名	保 管 場 所
<p>(道路関係)</p> <p>1. 告示関係</p> <p>東京都告示 S. 18. 8. 21 ～現在</p> <p>東京府告示 T. 9. 4. 1. ～S. 18. 6. 19</p> <p>東京市告示 T. 9. 4. 1 ～S. 18. 6. 29</p>	<p>(1) 告示原議（路線認定、区域決定、変更、供用開始、供用廃止等） 告示略図、丈量図、面積計算書、地図（公図）写し、土地調書、平面図、構造図、権原関係書、その他 認定改廃路線図、告示索引図、告示綴、旧町村引継路線図（赤図・青図） （昭和7年10月1日、昭和11年10月1日東京市に編入した町村の路線図） 換地位置決定図、地籍地図、管理協定原議、その他 （注） 昭和7年8月25日、東京市告示第313号道路台帳平面図のとおり区域決定 （東京市旧15区）</p>	<p>建・道路管理部路政課 東京都公文書館 建設事務所管理課（副）</p> <p>建・道路管理部路政課</p>
<p>2. 道路台帳関係</p>	<p>(1) 道路台帳平面図 （A）旧道路法時代に調製された道路台帳平面図 （イ）府県道（縮尺1/1200 T. 11～S. 17）東京府全域、区域線記入済み、一部成果あり。 （ロ）旧市域（縮尺1/600 T. 11～S. 17）旧東京市の全域（旧15区）、区域線記入済み （注）麴町、神田（千代田区）、京橋、日本橋（中央区）、芝、赤坂、麻布（港区）、四谷、牛込（新宿区）、本郷、小石川（文京区）、浅草、下谷（台東区）、本所（墨田区） 深川（江東区） （ハ）新市域（縮尺1/500 S. 9～S. 17） 旧市域以外の20区、現況図のみ</p>	

種 別	資 料 名	保 管 場 所
	<p>(注)淀橋(新宿区)、向島(墨田区)、城東(江東区)、品川荏原(品川区)、目黒(目黒区)、大森、蒲田(大田区)、世田谷(世田谷区)、渋谷(渋谷区)、中野(中野区)、杉並(杉並区)、豊島(豊島区)、王子、滝野川(北区)、荒川(荒川区)、板橋(板橋区、練馬区)、足立(足立区)、葛飾(葛飾区)、江戸川(江戸川区)</p> <p>(B)新道路法施行後に調製された道路台帳平面図、附属調書 知事管理道路を全域について調製、補正中 縮尺1/500区域線記入中、S. 31～</p> <p>(2)地下埋設物台帳平面図、附属調書 (A)旧道路法時代に調製された地下埋設物台帳平面図 旧市域 縮尺1/250 S. 2～S. 17 新市域 縮尺1/500 S. 9～S. 17 (B)新道路法施行後に調製された地下埋設物台帳平面図 知事管理道路を全域について調製 縮尺1/500 S. 26～補正中</p> <p>(3)道路敷地構成図(調書を含む) 縮尺1/500 S. 49～調製中</p> <p>(4)道路区域の標示、証明図書</p>	<p>建設事務所管理課、各支庁</p> <p>建設事務所管理課、各支庁</p> <p>建設事務所管理課</p> <p>建設事務所管理課</p>
3. 街路、道路整備関係	買収原議ほか用地関係 丈量図、面積計算書、土地調書、地図(公図)写、測量成果、縦横断図、平面図、構造図、権原関係図書、占用物件表示図及び調書、その他	建・用地部用地課 建設事務所管理課 " 用地課 " 工事課 東京都公文書館

種 別	資 料 名	保 管 場 所
4. 日米行政協定道路	日米行政協定により改修した道路の資料 丈量図、面積計算書、土地調書、地図 (公図) 写、平面図、構造図、権原関係 調書	管轄事務所以外に区部建 設事務所に保管されてい る場合がある。
(河川関係) 1. 告示関係  2. 河川台帳関係  3. 河川改修関係	告示原議 案内図、位置図、実測現況平面図、 求積図、面積計算書、土地調書、 地図(公図)写、河川境界、確定図抄 本(境界図抄本)、その他 河川台帳(一部あり)  実測現況平面図、求積図、面積計算書、 土地調書、地図(公図)写、境界図(副)、 測量成果、縦横断図、構造図、占用物件 表示図及び調書、 その他	建・河川部管理課  建設事務所管理課 関東地整河川部水政課 (多摩川) 建設事務所管理課 〃 工事課 各区役所土木部 (委任河川)
(土地整理関係) 1. 土地区画整理関係 東京都、区市町村 公団、公社、 組合施行  2. 再開発関係  3. 耕地整理関係  4. 土地改良関係	広報関係 換地確定図、測量成果、面積計算書、 土地調書、地図(公図)写、平面図、 構造図、縦横断図、求積図、埋設物件 図書、上地認可図、 その他 丈量図、測量成果、面積計算書、土地 調書、地図(公図)写、買収原議他 用地関係、平面図、構造図、縦横断図、 埋設物件図書、その他 広報関係 確定図、測量成果、面積計算書、 土地調書、地図(公図)写、平面図、 構造図、求積図、埋設物件図書、 上地認可図、その他 上地認可図、平面図、その他	都市整備局 市街地整備事務所 その他各事業施行者 (組合施行の場合は当 時の組合長、役員など) 東京都公文書館 都市整備局 市街地整備事務所  東京都公文書館 事業施行者  東京都公文書館 事業施行者

種 別	資 料 名	保 管 場 所
(埋立関係) 1. 港湾局関係	埋立実測図、丈量図、しゅん功図 その他	東京都公文書館 財・財産運用部 港・臨海開発部
(財務局関係) 境界確定事務関係	境界確定協議の原議（確定・確認） 正本 境界確定協議の境界図 副本  土地測量の原議（用地買収関係） 正本  震災復興土地区画整理確定図(旧市15区)  戦災復興土地区画整理確定図（一部） マイラー  土地区画整理、耕地整理、土地改良事業 等の資料（確定資料）（一部） 一般査定図（縮尺1/600 旧市域と品 川 T.8～T.15） その他	東京都公文書館 建・総務部用度課 建設事務所管理課  東京都公文書館  建・総務部用度課 建設事務所管理課 建・総務部用度課 建設事務所管理課 都市整備局・市街地整備 部区画整理課 建・総務部用度課  建・総務部用度課 建設事務所管理課
(各局所管公有財産関係)  建設局所管公有財産境界 確定事務関係	土地の測量及び処分等の原議  財産台帳及び図書 公有財産規則により公有財産の管理 は、主管の局長が行っており、財産台 帳及び図書は各局の主管部課が保管し ている。 境界確定協議の原議 " 境界図	財・財産運用部  東京都公文書館 建・総務部用度課 建設事務所管理課
(不動産登記関係)	土地登記簿、建物登記簿 地図（公図） 土地所在図、地積測量図、旧地図 （旧公図）、旧土地台帳、閉鎖登記簿等	東京法務局出張所等
(固定資産関係)	課税台帳、非課税台帳 地図（公図） 各申告書	都税事務所 " 市役所、町村役場



種 別	資 料 名	保 管 場 所
(保存文書関係)	<p>主として明治時代から昭和20年頃までの道路、河川、公園、区画整理関係、寺社、その他の土地に関する文書が保存されている。</p> <p>(例)</p> <p>土地収用、土木雑件、土地道路敷、土地河岸地、土地公園、土地堤防土揚敷、土地市有地、土地地界、土地官有地、国有土地、例規告示、国有地籍、都市計画、土地公有水面、土木河川・・・</p> <p>なお、戦後についても、長期保存文書は、東京都公文書館に保管されることが多く、その内容については、公文書館又は各主管部所に問い合わせること。</p>	<p>東京都公文書館 (文書、索引) 建設事務所管理課 (索引)</p>



参考資料－５ 続き（Ａ４判）

<input type="checkbox"/> 謄 本 <input type="checkbox"/> 閱 覧 <input type="checkbox"/> 抄 本 <input type="checkbox"/> 地 図								
申 請 書								
不 動 産 の 表 示	種 別	都、市、 区	町、村、 大字	丁目字	地 番	家屋番号又 は所有者名	請求の 通 数	
	<input type="checkbox"/> 土地 <input type="checkbox"/> 建物							
	<input type="checkbox"/> 土地 <input type="checkbox"/> 建物							
	<input type="checkbox"/> 土地 <input type="checkbox"/> 建物							
	<input type="checkbox"/> 土地 <input type="checkbox"/> 建物							
	<input type="checkbox"/> 土地 <input type="checkbox"/> 建物							
	<input type="checkbox"/> 土地 <input type="checkbox"/> 建物							
	<input type="checkbox"/> 土地 <input type="checkbox"/> 建物							
	<input type="checkbox"/> 土地 <input type="checkbox"/> 建物							
	<input type="checkbox"/> 土地 <input type="checkbox"/> 建物							
	<input type="checkbox"/> 土地 <input type="checkbox"/> 建物							
	<input type="checkbox"/> 土地 <input type="checkbox"/> 建物							
	<input type="checkbox"/> 土地 <input type="checkbox"/> 建物							
	<input type="checkbox"/> 土地 <input type="checkbox"/> 建物							
	<input type="checkbox"/> 土地 <input type="checkbox"/> 建物							
	<input type="checkbox"/> 土地 <input type="checkbox"/> 建物							
	<input type="checkbox"/> 土地 <input type="checkbox"/> 建物							
	<input type="checkbox"/> 土地 <input type="checkbox"/> 建物							

測 量 委 託 の 様 式 ( その 1 )

様式番号	様 式 名
様式第1	身分証明書
様式第2	基準点点の記(2-1)、(2-2)、(2-3)
様式第3	水準点点の記
様式第4	境界点点の記(公共用地・民有地・借地権等)
様式第5	基準点測量成果表
様式第6	水準測量成果表
様式第7	基準点測量精度管理表 その1
様式第8	基準点測量精度管理表 その1-2
様式第9	基準点測量精度管理表 その2
様式第10	水準測量精度管理表(含 簡易水準測量)
様式第11	地形測量精度管理表
様式第12	条件点測量精度管理表
様式第13	I P 点設置測量精度管理表
様式第14	中心線測量精度管理表
様式第15	縦断測量精度管理表
様式第16	横断測量精度管理表
様式第17	用地幅杭設置測量精度管理表
様式第18	境界測量精度管理表
様式第19	土地登記簿調書
様式第20	借地権等調書
様式第21	立会依頼状
様式第22	立会依頼状発送簿
様式第23	借地権等境界立会確認書
様式第24	土地調書
様式第25	土地調書(土地登記簿写)

(次ページにつづく)

測 量 委 託 の 様 式 ( その 2 )

様式番号	様 式 名
様式第26	管理境界標杭設置立会確認書
様式第27	区域変更調書
様式第28	建標承諾書
様式第29	基準点現況調査報告書
様式見本第1	基準点測量観測データリスト
様式見本第2	3, 4級水準測量観測データリスト
様式見本第3	資料調査図例
様式見本第4	境界検討図例
様式見本第5	竣工道路引継調書
様式見本第6	地目変更調書
様式見本第7	座標面積計算書
参 考	委任状 (境界立会依頼)
	土地計算書

様式第1

(表)

3〇建〇〇身第〇号	
<b>身分証明書</b>	
氏名	平成 年 月 日生
勤務先	
住所	上記の者は東京都施行の下記委託 に従事する者であることを証明する。
記	
1. 件 名	
2. 委託場所	
3. 委託期間	自 令和 年 月 日 至 令和 年 月 日
令和 年 月 日	
東京都〇〇建設事務所長	公 印

(裏)

注 意
1.この証明書は、標記 委託 に従事する場合には、必ず携帯し、関係人に請求があったときは、いつでも提示しなければならない。
2.この証明書の記載事項は訂正しない訂正したものは無効とする。
3.この証明書は、他人に貸与し、又は譲渡してはならない。
4.この証明書を紛失したときは、すみやかに東京都〇〇建設事務所長へ届けなければならない。
5.この証明書の有効期間は、委託期間とし、有効期間を経過したときは、すみやかに東京都〇〇建設事務所長へ返還しなければならない。

※顔写真はデジタルカメラ等で撮影し、データとして貼り付けたものをプリントし、公印を押印したものをラミネートすることを原則とするが、困難な場合は監督員の指示によること。書式データについては、監督員から受領すること。

## 基準点の記

世界測地系(測地成果2011) 等級： 級

点番号			埋標年月日	令和	年	月	日		
			観測年月日	令和	年	月	日		
所在地									
座標値及び標高	X	Y	標高						
	m	m	m						
	.	.	T.P. (A.P.)						
視準点の名称	方 向 角				距 離				
	°	'	"		m				
	-	-			.				
	-	-			.				
	-	-			.				
標識の種類			埋設方法						
略 図									
写 真				備 考					
								調査年月日	
				作成年月日		令和	年	月	日

座標系： 9

縮尺係数:

網平均計算の種類:

# 基準点の記

作成例

世界測地系(測地成果2011) 等級：3級

点番号	3702506-1 (下保谷)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">                 点番号が重複する場合は「-1」や「★」ではなく町名を追記             </div>	月日	平成 9 年 2 月 1 日
			月日	平成 9 年 2 月 10 日
所在地	西東京市下保谷四丁目12番9号地先(都道飯田橋石神井新座線)			
座標値及び標高	X	Y	標高	
	m	m	m	
	-27,686 . 364	-24,001 . 824	T.P. 52 . 192 (A.P.) 53 . 326	
視準点の名称	方 向 角		距 離	
	° ' "		m	
37025501	160 - 3 - 23.5		66 . 698	
37025502	311 - 13 - 35.3		111 . 747	
	- -		.	
標識の種類	金属標 (3702506)	埋設方法	地上埋設(路面)	
	略			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: small;">                 点番号と現地の標識番号が異なる場合に記入             </div>				
写 真	備 考			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">                 維持管理調査の写真を貼付、備考欄に年月日を記入             </div>			
	助言番号：H25C0696 平成25年度 改算による座標変換 TS測量による			
	標高は設置当時の間接水準測量の成果である。			
	調査年月日	平成 26 年 9 月 1 日		
作成年月日	平成 27 年 3 月 1 日			

座標系： 9      縮尺係数： 0.999907      網平均計算の種類： 三次元網平均



東京都道公共基準点(2級)点の記

点 名							
所 在 地							
所 有 者 管 理 者	(電話)						
	(電話)						
設 置 法			埋 標 種 類				
埋 標 年 月 日			案 内 図				
観 測 年 月 日							
備 考							
詳 細 図							
				第 一 方 位 標			
				第 二 方 位 標			

## 東京都公共基準点成果表

(座標系 9)

### 2級基準点

B	° / "	X	m
L		Y	
N		H	m (T. P.)
		Hg	

視準点の名称	平均方向角	距離	備考
		縮尺係数	
	° / "	m	
設置法		標識の種類	

様式第3

水準点の記

世界測地系（測地成果2011） 等級：

調製：令和 年 月 日

点番号		選点年月日	令和 年 月 日
所在地			
標高(A.P.)	m .	杭高	m .
標識の種類		埋設方法	
略 図			
写 真			

※注（測地成果2011）欄は、測量時に使用した測地成果のバージョンを記載する。

様式第4

境界点の記 (公共用地・民有地・借地権等)

世界測地系 (測地成果2011) 等級 :

調製 : 令和 年 月 日

点番号		測量年月日	令和 年 月 日
点の種類			
所在地			
座標値	X	Y	
	m .	m .	
標識の種類		埋設方法	
略 図			
写 真			

座標系 :

縮尺係数 :

網平均計算の種類 :

※注 (測地成果2011) 欄は、測量時に使用した測地成果のバージョンを記載する。





様式第7

### 基準点測量精度管理表 その1

作業名		地区名		計画機関名		作業機関名		作業班長	
目的		期間		作業量		主任技術者			

路線番号	測点番号	路線長	内角数	辺数	点検計算				偏心	再測数	厳密網平均計算				摘要
					水平位置		標高				単位重量の標準偏差	許容範囲	高低角の標準偏差	許容範囲	
					閉合差	許容範囲	閉合差	許容範囲							
									再測率						

点検測量									
測点番号	距離			水平角			鉛直角		
	点検値	採用値	軟差	点検値	採用値	軟差	点検値	採用値	軟差

主要機器名称番号		
永久標識の種別等		
種別	数量	埋設様式
特記事項		

様式第8

基準点測量精度管理表 その1-2

作業名		地区名		計画機関名		作業機関名		作業班長	
目的		期間		作業量		主任技術者			

路線番号	測点番号	路線長	内角数	辺数	点検計算				偏心	再測数	厳密網平均計算					摘要
					水平位置		標高				新点位置の標準偏差 (m)					
					閉合差	許容範囲	閉合差	許容範囲			点番号	水平	許容範囲	標高	許容範囲	

点検測量									
測点番号	距離			水平角			鉛直角		
	点検値	採用値	較差	点検値	採用値	較差	点検値	採用値	較差

主要機器名称番号		
永久標識の種別等		
種別	数量	埋設様式
特記事項		



様式第9

基準点測量精度管理表 その2

作業名		地区名		計画機関名		作業機関名		作業班長	
目的		期間		作業量		主任技術者			

基線解析辺		仮定三次元網平均						三次元網平均計算		
測点名		辺長 (斜距離)	ΔX又は方位角		ΔY又は方位角		ΔZ又は方位角		斜距離の残差	
自:	至:		残差	許容範囲	残差	許容範囲	残差	許容範囲	残差	許容範囲

主要機器名称番号		
永久標識の種別等		
種別	数量	埋設様式
特記事項		

新点位置の標準偏差				
新点番号	水平位置		標高	
	標準偏差	許容範囲	標準偏差	許容範囲

点検測量					
測点名		点検値	点検値	較差 (dN, dE, dU)	許容範囲
自:	至:	ΔX、ΔY、ΔZ	ΔX、ΔY、ΔZ		

水準測量精度管理表

作業名		地区名		計画機関名		作業機関名		作業班長	
目的		期間		作業量		主任技術者			

路線番号	距離	閉合差	許容範囲	観測者	距離	鎖部数	観測者毎標準偏差	正の回数	負の回数	零の回数	正の総和	負の総和	摘要	特記事項
			往復差から求めた全線の1km当たりの標準偏差							単位重量当たりの観測の標準偏差				

主要機器名称及び番号	観測路線図	再測率				
		点検測量				
		区間	距離	点検値	採用値	軟差
永久標識種別等						

簡易水準測量精度管理表

作業名又は 地区名		作業量		作業機関		主任技術者		社内検査者	
		点							
路線番号	距離	閉合差 の制限	閉合差	路線番号	距離	閉合差 の制限	閉合差		
	km	mm	mm						
使用機器						備考			

注 閉合差の制限は、 $50\text{mm}\sqrt{S}$ （既知点から既知点までの閉合差）、 $40\text{mm}\sqrt{S}$ （環閉合差）により算出する。Sは観測距離（片道、km単位）とする。

様式第11

現地測量（平面図・地形図）精度管理表

地区名	縮尺		作業機関名				主任技術者		点検者			
図名又は図面番号												
指摘 項目	誤記	脱落	誤記	脱落	誤記	脱落	誤記	脱落	誤記	脱落	誤記	脱落
境界等												
道路												
道路施設												
鉄道												
鉄道施設												
建物												
建物附属構造物												
建物記号												
公共施設												
その他の小物体												
水部												
水部に関する構造物												
法面												
構囲												
諸地												
場地												
植生												
等高線												
変形地												
基準点												
注記												
接合												
整飾												
図郭・方眼寸法												

注1. 社内点検紙の指摘件数を該当項目に記載する。「図郭、方眼寸法」は規定寸法より0.4mm以上の差が出たものを記載する。

2. 該当項目に集計する場合は、大縮尺地形図図式の区分に従って集計する。
3. 着墨又はトレースのずれ、画線の太さの相違及び図式の誤りは誤記に含める。
4. 着墨又はトレースの忘れ、画線の濃度の悪いものは脱落に含める。
5. 図面に該当項目のないものは斜線で該当欄を消す。







縦断測量精度管理表

作業名		地区		計画機関		作業機関		点検者	
路線名		期間	自 至	作業量		主任技術者		その他	

路線番号	距離	閉合差	制限	摘要	路線番号	距離	閉合差	制限	摘要	観測者
										主要機器の名称番号
										レベル
										標 尺 (箱尺)
										手簿、計算簿の誤りの有無
										再測率%



### 横断測量精度管理表

作業名		地区		計画期間		作業機関		点検者	
路線名		期間	自 至	作業量		主任技術者		その他	

測点	水 平 位 置 (距離)								標 高								摘 要	
	測定値		検測値		較 差		制 限		測定値		検測値		較 差		制 限			
	左側	右側	左側	右側	左側	右側	左側	右側	左側	右側	左側	右側	左側	右側	左側	右側		
																		手簿、計算簿の誤りの有無
																		使用与点の異状の有無









〇〇 〇〇様

東京都〇〇建設事務所長

〇〇 〇〇

## 土地境界立会いのお願い

〇〇の候、皆様方におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より東京都の〇〇行政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、東京都が実施する東京都市計画〇〇〇〇第〇号線（〇〇）の整備事業につきましては、皆様のご協力のもと用地測量を行っております。

つきましては、ご所有されている下記土地と隣接する土地との境界について、現地での確認をさせていただきたく、ご多忙中誠に恐縮ですが下記の日時に立会いをお願いいたします。

現在、立会前の準備を行っておりますが、未実施の土地につきましては皆様の敷地に一時立ち入らせていただくことがあります。その際には事前にご挨拶をいたしますので、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

## 記

土地の所在 〇〇(区・市)〇〇〇丁目〇番〇

立会の日時 令和〇年〇月〇日 (〇) 〇時〇分

立会に際しましては

- 1 この文書と「印鑑（認印）」をご持参ください。  
※印鑑は、朱肉で押印するものをご持参ください。（スタンプ印不可）
- 2 境界について、参考となる図面または書類（土地の測量図、隣地との境界確認書類等）をお持ちの方は、ご持参ください。  
※事前にご提供いただいた方は、新しい資料がある場合にご持参ください。
- 3 当日、代理人の方が立会いをされる場合は、土地所有者の方が記入した「委任状（別紙）」及び 代理人の「印鑑（認印）」と この文書をご持参ください。
- 4 所有されている土地をお貸している場合は、立会い当日に借地人の方のお名前、連絡先をお聞きますので、よろしく申し上げます。
- 5 小雨の場合は決行いたしますのでご協力お願いします。
- 6 ご都合の悪い方は日時の調整を行いますので、下記の担当者までお早めにご連絡ください。

## 【連絡先】

東京都〇〇建設事務所〇〇課〇〇担当〇〇・〇〇

電 話 00-0000-0000

測量実施会社：〇〇株式会社〇〇

電 話 00-0000-0000

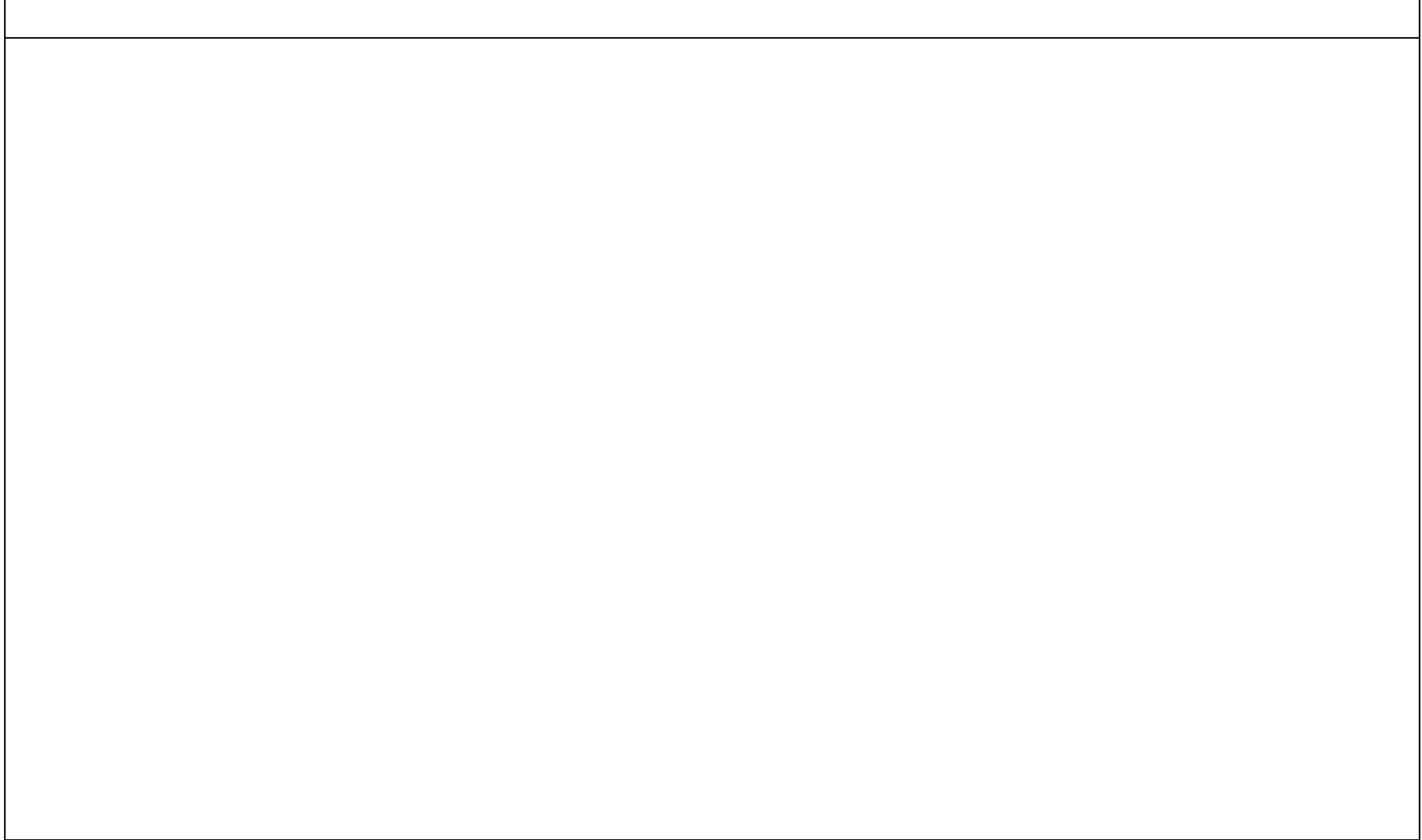
## 立会依頼状発送簿

発送月日	立会日時	立 会 土 地		(郵便番号) 土地所有者又は 借地権等権利者住所	立 会	承 諾	摘 要
		町 名	地 番	氏 名			
月 日 月 日	月 日 午前・午後 時 分			( - )			
月 日 月 日	月 日 午前・午後 時 分			( - )			
月 日 月 日	月 日 午前・午後 時 分			( - )			
月 日 月 日	月 日 午前・午後 時 分			( - )			
月 日 月 日	月 日 午前・午後 時 分			( - )			
月 日 月 日	月 日 午前・午後 時 分			( - )			
月 日 月 日	月 日 午前・午後 時 分			( - )			
月 日 月 日	月 日 午前・午後 時 分			( - )			





借地権等境界立会箇所平面図等

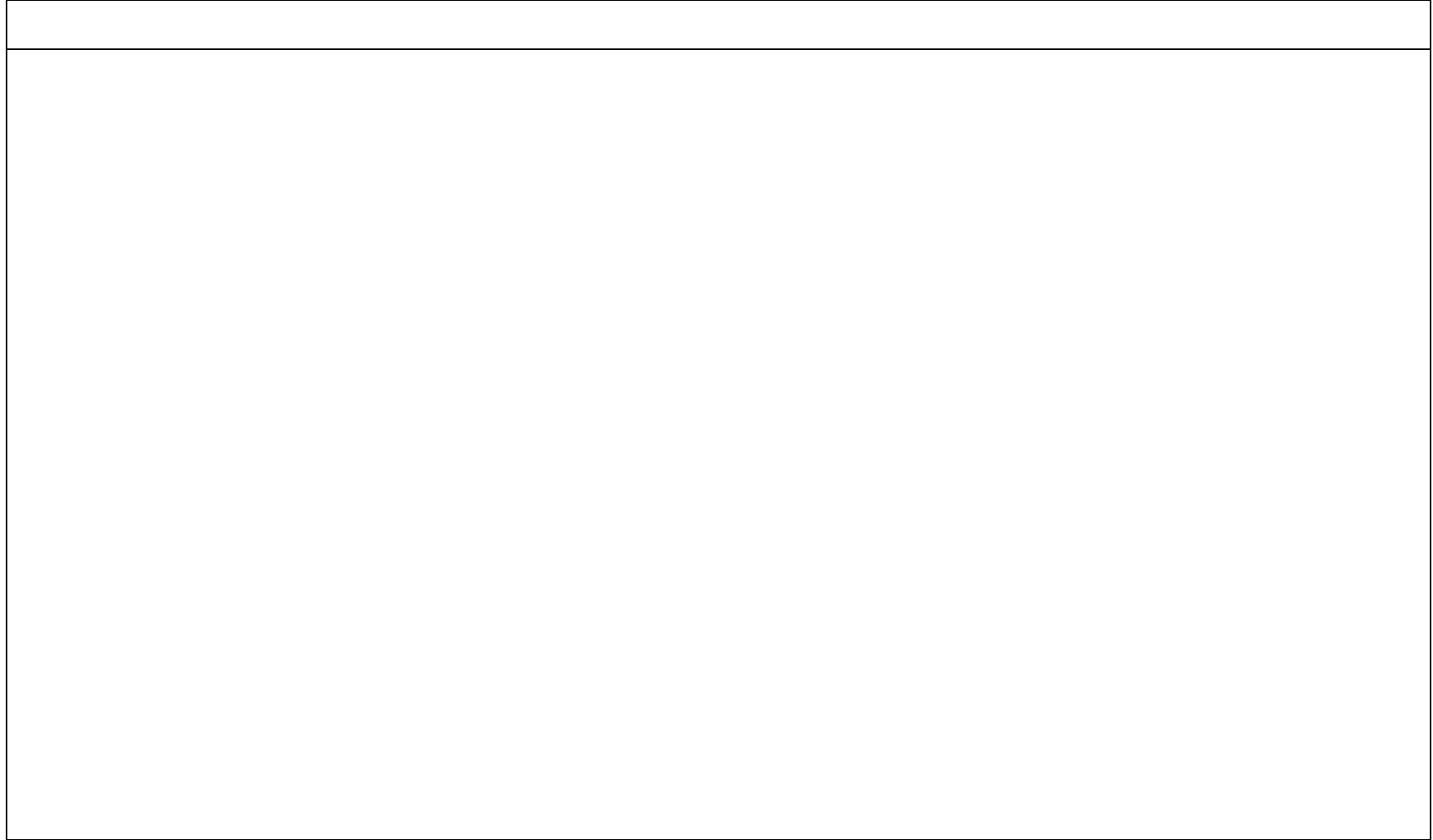








管理境界標杭設置立会箇所平面図等



区域変更調書

区域変更箇所							区域変更を行う理由		
路線名 都道線 (整理番号)							1. 事業概要 ①事業名 ②施行者(課)名 ③根拠法 ④事業の概要 ⑤施行期間 ⑥今後の予定  2. 区域変更理由 ①変更目的、経緯 ②現区域との相違点、理由 ③計画線外(歩道、車道) ④廃止区域の処理方針案  3. その他		
区間	起点	番地 地先 から							図面 対象
	終点	番地 地先 まで							
敷地の 幅員 延長	敷地の 区分	変更前		変更後					
		幅員	延長	幅員	延長				
	A	m ~ m . .	m .	m ~ m . .	m .				
	B	. .	.	. .	.				
C	. .	.	. .	.					
面積	編入	m <sup>2</sup> .							
	廃止	m <sup>2</sup> .							
関連告示	大昭 平令	年 年 年	月 月 月	日 日 日	告示第 告示第 告示第 告示第	号 号 号 号	. 無		
管理区分回答	令	年	月	日	告示第	号	. 無		
備考									

# 建 標 承 諾 書

令和 年 月 日

## 殿

所有者 住所

管理者 氏名

印

点	等 級	冠字番号	名 称	標 識 番 号
	級			

所在地	都道府県	市 郡	町 村	大 字	字	番 地	俗 称	地 目

上記 地内に 級 点の標識を  
設置することを承諾する。

- 注1. この標識は○ ○で設置したもので各種測量の基準となる重要な標識でありますから、動かしたり、破損したり、しないようご注意願います。
2. なお、記載内容は、測量標の利用者が所在地及び所有者を確認するために必要となる測量記録（点の記）に記載されます。
3. 不要の文字は抹消すること。





# 観測データリスト

測点 3081(IV稲 5-偏 )  
 ( (B=P) ≠ C ) 観測点

観測年月日 2001/03/07  
 天候 晴れ 風力: 無  
 観測者 村石 公典

測器機番器機定数温: DTM-1 84347 +0mm 017°C  
 標石番号: 柱石長: m 記録方法: 自 動 器機高: 1.040m  
 気象補正係数: ppm  
 気圧: 754Hp

開始時刻: 13:38

目盛	視準点 名称	水平角 ° ' "	結果 ° ' "	鉛直角 ° ' "	測定距離 m	目標高 m	反射鏡 定数 mm
0° r	1 15	0 2 1	0 0 0	89 5 6	1046.185	1.600	0040
	2 506	126 15 59	126 13 58	87 0 26	387.849	1.600	0040
	1 2 506	306 16 0	126 14 1	272 59 8	387.848		
	1 15	180 1 59	0 0 0	270 54 28	1046.185	1046.184	
90° l	1 15	270 2 6	0 0 0				
	2 506	36 16 8	126 14 2				
	r 2 506	216 16 6	126 14 2				
	1 15	90 2 4	0 0 0				
		倍角差 "	観測差 "	定数差 "	セット内較差	セット間較差	
		5	3	0	0 1 0 1	0	

終了時刻: 13:57

平均値	視準点 名称	水平角 ° ' "	高度角 ° ' "	測定距離 m
[ 15 ]		0 0 0	0 54 41	1046.185
[ 506 節-506 ]		126 14 1	2 59 21	387.849



昭和41年4月1日告示第1658号

- ※ 154-3 公共用道路 39 m<sup>2</sup> 東京市  
 ※ 156-3 公共用道路 19 m<sup>2</sup> 東京市  
 ※ 157-1 雑用地 460 m<sup>2</sup> 文京寺  
 ※ 157-3 公共用道路 14 m<sup>2</sup> 東京市  
 ※ 157-7 宅地 52.59m<sup>2</sup> 文京寺  
 ※ 160-1 宅地 103.04m<sup>2</sup> 東京太田  
 ※ 161-1 宅地 96.79m<sup>2</sup> 文京次郎  
 ※ 162-1 宅地 105.65m<sup>2</sup> 東京一軒外3名  
 ※ 162-2 宅地 222.29m<sup>2</sup> 東京美智子外30名  
 ※ 162-5 宅地 9.68m<sup>2</sup> 東京ビルディング(株)  
 ※ 162-6 公共用道路 9 m<sup>2</sup> 東京市  
 文京区目白5-33-15  
 文京区目白5-33-15  
 文京区目白5-33-15  
 文京区目白5-33-14  
 文京区目白5-33-13  
 文京区目白5-33-11  
 文京区目白2-12-25



資料調査図

都市計画放射九号線用地測量  
 文京区目白一丁目・五丁目地内



凡 例	
——	現況線
——	財産取得境界線
——	建設局境界線
——	東京市一般境界線
——	用地測量線
——	道路告示
(123-5)	地籍測量図

- ※ 90-5 宅地 79.53m<sup>2</sup> 台東青祐 文京区目白1-33-27  
 ※ 90-6 宅地 143.53m<sup>2</sup> 台東少マ 文京区目白1-33-27  
 ※ 91-1 宅地 49.52m<sup>2</sup> 東京不動産(株) 新宿区新宿1-21-2  
 ※ 91-4 宅地 50.28m<sup>2</sup> 東京吉子 文京区目白1-37-3  
 ※ 91-5 宅地 24.82m<sup>2</sup> (株)トウキョウ 文京区目白1-36-13  
 ※ 91-6 宅地 1.42m<sup>2</sup> 東京史郎 川崎市高津区54-138  
 ※ 91-6 宅地 1.42m<sup>2</sup> (株)トウキョウ 文京区目白1-36-13

公 図 写	S=1/600
土地の所在	目白一丁目・目白五丁目・目白台一丁目
地図番号	19.43.60.173
測量年月日	平成10年8月26日
測量場所	東京法務局文京出張所

白山通り用地測量図

一般査定図小石川13(4-4)



## 竣 工 道 路 引 継 調 書

年 月 日

建設事務所

路線名		施工箇所				工期		～		施行業者					
延長		面積		車道部				歩道部		法敷等					
舗装	車道 (㎡)	A s				E	Co	その他		A s	平板	切下げ			
		厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	歩道	厚	厚	厚			
防護柵	ガードレール (m)			ガードパイプ (m)			ガードフェンス (m)		駒止 (m)	標識	案内 (本)	警戒 (本)	規制 (本)		
	型	型	型	型	型	型	型								
街路灯	水銀灯 (灯)				蛍光灯 (灯)				白熱灯 (灯)		その他	配電盤 (基)			
	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	1回路	2回路			
	独立														
側溝	U形溝 (m)		L形溝 (m)		街渠 (m)			現場打	暗渠	街渠柵(個)		集水柵(個)		汚水柵(個)	
	型	型	型	型	型	型	型								
管渠 (m)	φ	φ	φ	φ	φ	φ	φ	φ	φ	人孔 (個)	φ 900	φ 1,200	φ 1,500	その他	
街路樹	植樹柵(個)		張芝(㎡)		すずかけ(本)		いちよう(本)								
その他	中央分離帯 (m)		導流島		擁壁 (m)				カーブミラー(本)		テリエータ(本)		スクリーンロードセパレータ(m)		
					型	型	型	型							

# 地目変更調書

所在	区(市) 町 字			
	① 地番	② 地目	③ 地積 m <sup>2</sup>	登記原因及びその日付
				②令和 年 月 日 地目変更
				②令和 年 月 日 地目変更
				②令和 年 月 日 地目変更
				②令和 年 月 日 地目変更
				②令和 年 月 日 地目変更
				②令和 年 月 日 地目変更
				②令和 年 月 日 地目変更

## 座標面積計算書

地番：〇〇区〇〇一丁目〇〇番地（全体）

測点名	[1] X <sub>n</sub>	[2] X <sub>n+1</sub> - X <sub>n-1</sub>	[3] Y <sub>n</sub>	[4] Y <sub>n+1</sub> - Y <sub>n-1</sub>	[2]*[3]	[1]*[4]	方向角	夾角	距離
測点1	-27139.581	13.269	-21295.776	1.617	-282573.6517440	-43884.7024770	49-53-06	261-18-46	8.394
測点2	-27134.172	8.501	-21289.356	11.698	-180980.8153560	-317415.5440560	59-38-13	189-45-07	6.117
測点3	-27131.080	3.391	-21284.078	5.701	-72174.3084980	-154674.2870800	54-44-43	175-06-29	0.518
測点4	-27130.781	0.981	-21283.655	0.880	-20879.2655550	-23875.0872800	33-49-32	159-04-49	0.820
測点5	-27130.099	-1.056	-21283.198	0.430	22475.0570880	-11665.9425700	180-53-24	327-03-52	1.738
測点6	-27131.837	-4.001	-21283.225	-3.896	85154.1832250	105705.6369520	239-40-35	238-47-11	4.482
測点7	-27134.100	-3.236	-21287.094	-5.533	68885.0361840	150132.9753000	239-41-01	180-00-26	1.927
測点8	-27135.073	-8.926	-21288.758	3.614	190023.4539080	-98066.1538220	146-25-47	86-44-46	9.545
測点9	-27143.026	-8.076	-21283.480	5.360	171885.3844800	-145486.6193600	146-18-36	179-52-48	0.147
測点10	-27143.149	-2.171	-21283.398	0.050	46206.2570580	-1357.1574500	180-53-43	214-35-07	2.048
測点11	-27145.197	-3.024	-21283.430	-1.650	64361.0923200	44789.5750500	238-54-04	238-00-21	1.889
測点12	-27146.173	-2.277	-21285.048	-3.774	48466.0542960	102449.6569020	238-53-31	179-59-27	2.518
測点13	-27147.474	0.363	-21287.204	-3.156	-7727.2550520	85677.4279440	328-59-45	270-06-14	1.941
測点14	-27145.810	0.033	-21288.204	-3.769	-702.5107320	102312.5578900	239-30-04	90-30-19	3.213
測点15	-27147.441	6.229	-21290.973	-7.572	-132621.4708170	205560.4232520	328-34-20	269-04-16	9.211
合計					倍面積 -202.7591950	202.7591950	3060-00-00		54.508
					面積 -101.3795975	101.3795975			
					地積 101.37 m <sup>2</sup>	101.37 m <sup>2</sup>			
					坪数 30.66	30.66			

参考

## 委任状

私は (住所) \_\_\_\_\_  
(氏名) \_\_\_\_\_

を代理人と定め、下記の事項を委任します。

### 記

(土地所在・地番)

\_\_\_\_\_  
の土地境界の立会・確認・承諾の一切の権限。

令和 年 月 日

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ (印)

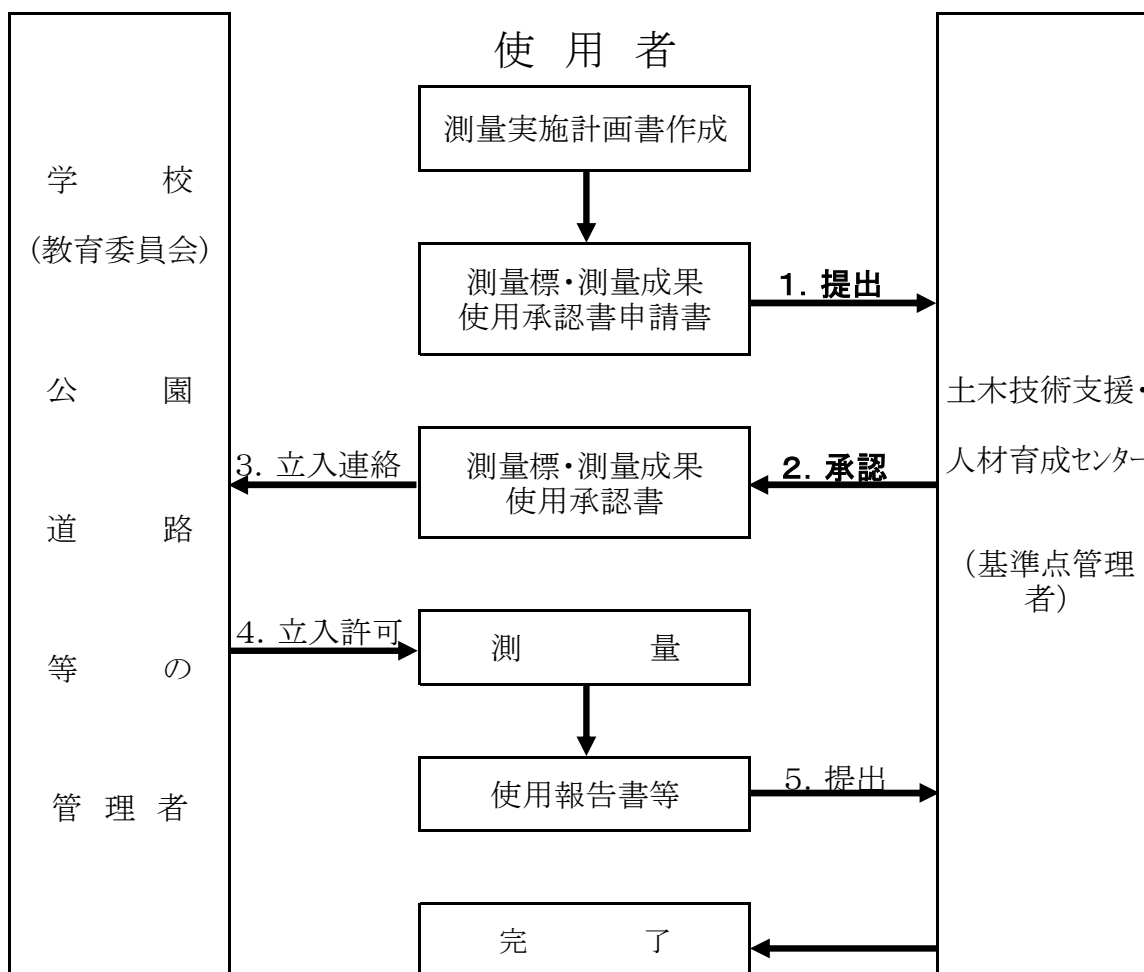


# 土 地 計 算 書

参  
考

町 番 号	地 目	符 号	辺 長		高 さ		倍面積 (㎡)	面 積 (㎡)	合 計 (㎡)	借地権者等	土地所有者
			(m)	(1) (m)	(2) (m)	(m)					

## 東京都公共基準点(水準基標・基準点)の使用手続き



### 1. 使用承認申請書の提出方法は、次の3通りです。

- (1) 来 所 使用承認書申請(Excel形式)により申請してください。
- (2) F A X 使用承認申請書(Excel形式)を事前にFAXし、電話連絡する。また、使用承認書の受け取り時に、押印した申請書を提出してください。
- (3) メール 使用承認書(Excel形式)を事前に送信し、使用承認書の受け取り時に、押印した申請書を提出してください。

### 2. 基準点は、学校や公園等の公共施設に設置していますので、施設管理者の許可を得てください。また、測量標および測量成果の使用にあたっては、同一基準点でも目的や期間が変わる毎に使用承認申請書を提出し、承認を受ける必要があります。

### 3. 使用承認申請書についての詳細は、東京都土木技術支援・人材育成センターのホームページで閲覧できます。 <http://doboku.metro.tokyo.jp>

測量標・測量成果使用承認申請書(Excel形式)

様式第1号

受付番号

		令和 年 月 日		
測量標 使用承認申請書 測量成果  東京都土木技術支援・人材育成センター 所長 殿				
		住所 申請者 氏名	測量作業者(会社)名  (会社代表者職・氏名) 代表印	
東京都公共基準点を下記の目的で使用したいので申請します。				
使用目的	例 基準点整備等・現況測量・道路台帳整備・工事中測量等			
使用期間	承認の日から令和 年 月 日まで			
測量地域	別添測量計画図のとおり	測量箇所がわかる図面を添付のこと		
使用基準点及び水準基標番号	点数が多数の場合は、「別紙のとおり」と記載し別紙添付も可です。			
測定の種類方法	例 3級基準点測量・3級水準測量			
測量計画者※1	名称	官公署の局部課係名		
	委託件名			
	担当者名	担当者印は不要です。		
	所在地			
	連絡先	電話 ( )	内線	
測量業者	名称	会社名、部課係名		
	作業責任者	測量士(補)名・家屋調査士名	資格登録番号	第 号
	所在地			
	連絡先	電話 ( )	内線	

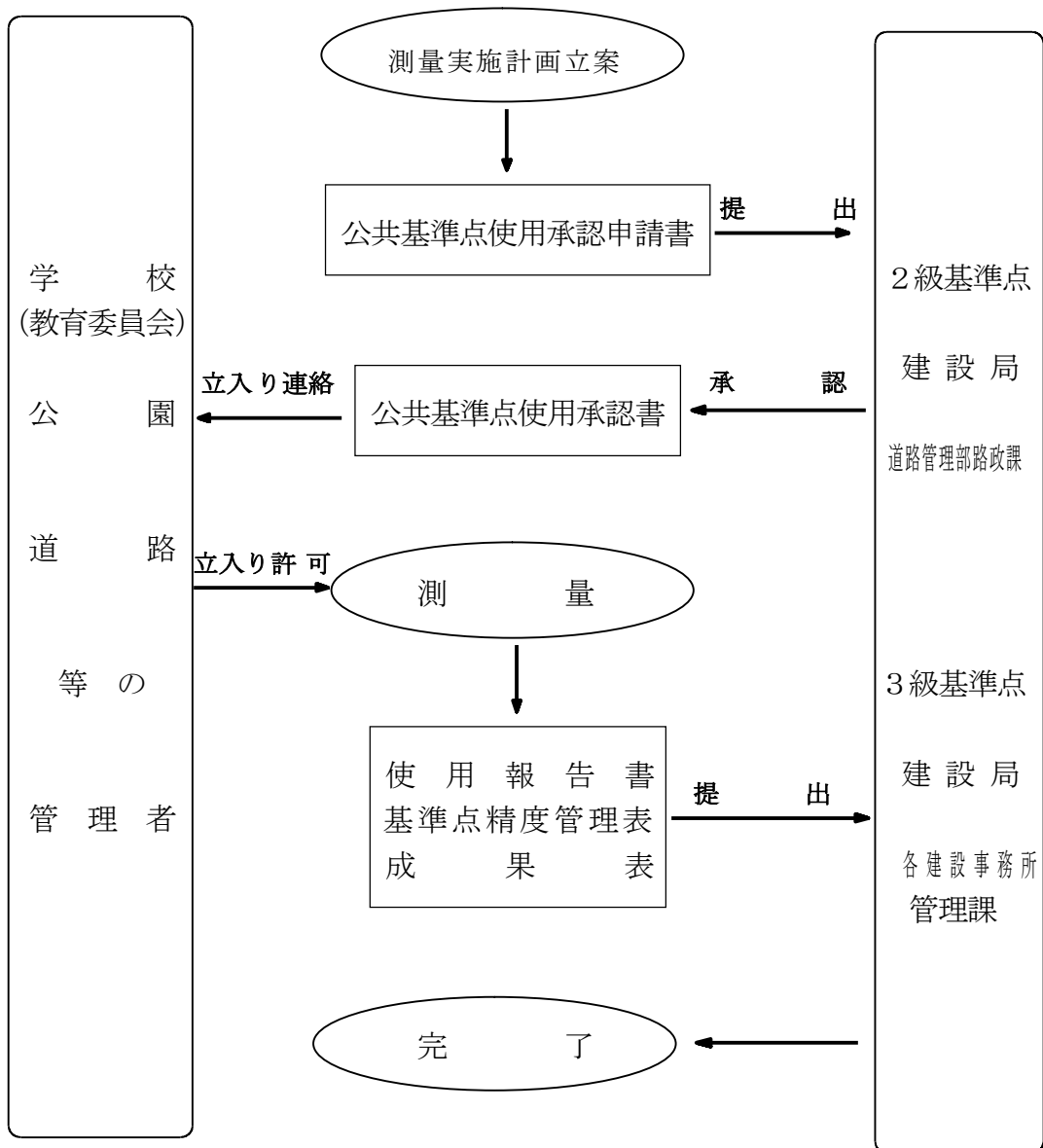
※1 工事測量等で測量業者が下請負の場合は、測量計画者欄に発注者(官公署)を記載すること。

## 東京都道公共基準点の使用手続き

基準点設置箇所の管理者

使 用 者

基準点管理者



- 備考 1. 基準点は、学校や公園、道路等の公共施設の他、民間建物（マンション屋上等）に設置しています。立ち入りには必ず基準点設置箇所の管理者の承認を受けること。
2. 公共基準点の使用は、同一基準点でも目的や期間が変わる毎に使用申請を提出し、承認を受けること。

## 東京都道公共基準点使用承認申請書

令和 年 月 日

(公共基準点管理者) 殿

住 所  
申請者  
氏 名 印

公共基準点の使用について下記のとおり申請します。

使 用 目 的		
使 用 期 間	令和 年 月 日から令和 年 月 日まで ( 日間)	
測 量 地 域		
使 用 基 準 点 番 号		
測 量 の 種 類 方 法		
測 量 計 画 者	名 称	
	委 託 件 名	
	担 当 者 名	
	所 在 地	
	連 絡 先	電話 ( ) 内線
測 量 作 業 者	名 称	
	作 業 責 任 者	
	連 絡 先	電話 ( ) 内線

# 東京都道公共基準点使用報告書

令和 年 月 日

(公共基準点管理者) 殿

住 所  
申請者  
氏 名 印

基準点の使用結果を別添のとおり報告します。

1. 東京都道公共基準点使用日報
2. 新点の精度管理表の写し
3. 新点の成果表、網図の写し
4. 使用した公共基準点の現況写真
5. 東京都道公共基準点異常報告書（公共基準点に異常を認めた場合）

使 用 目 的			
使 用 期 間	令和 年 月 日から令和 年 月 日まで（ 日間）		
使 用 基 準 点 番 号			
測 量 作 業 者	名 称		
	作 業 責 任 者		
	連 絡 先	電話 ( )	内線

## 東京都道公共基準点（設置工事・測量）完了報告書

令和 年 月 日

（公共基準点管理者） 殿

住 所

名 称

印

工事施行者

担 当 者

電 話

公共基準点の（設置工事）・（測量）は次のとおり完了しましたので引継ぎます。

対 象 と な る 公 共 基 準 点 番 号			
路 線 名			
完 了 年 月 日			
工 事 場 所	東京都	区	町 丁目 番地先
請 負 会 社	住 所		
	会 社 名		
引 継 成 果 品			





製図原図及び第二原図写図の記入色等の仕様例

図面種類		部数	原図(色別製図)	原図(色別製図)	第二原図写図(グリーン色等で裏焼)	第二原図写図(黒墨で裏焼)
基準点測量	基準点網図	1部			縮尺1/2,500程度の都市計画図又はこれに代わる地形図を用いることを原則とし、ポリエステルフィルム300番にグリーン色等の薄色で裏焼きし(測量区域が広範囲の場合は縮小図も可)、表側から基準点路線、基準点の種類及び番号、標識の種類等を図面に黒墨で記入し、一覧表に基準点の種類及び番号、標識の種類、座標値及び高さ、方向角及び高さ等を黒墨で記入する。	
水準測量	水準路線図	1部			縮尺1/2,500程度の都市計画図又はこれに代わる地形図を用いることを原則とし、ポリエステルフィルム300番にグリーン色等の薄色で裏焼きし(測量区域が広範囲の場合は縮小図も可)、表側から水準測量観測路線と路線番号、水準点番号、標識の種類等を黒墨で記入し、一覧表に水準点路線番号、水準点番号、標識の種類、高さ等を黒墨で記入する。	
現地測量	地形図原図	1部		原則として道路の起点及び河川の下流を左端におき、ポリエステルフィルム300番もしくは合成紙(白色で耐水性を保持するもの)に黒色で製図を行う。		
	地形図写図	1部				地形図原図からポリエステルフィルム300番もしくは合成紙(白色で耐水性を保持するもの)に第二原図を作成する。
路線測量	線形決定 線形図	1部			既成の地形図からポリエステルフィルム300番もしくは合成紙(白色で耐水性を保持するもの)にグリーン色等の薄色とし、図面の左から右に向かって視点から主要点(交点、起点、終点、円曲線の始点、円曲線の終点、曲線の中点等)及び中心点の(NO)を座標展開し、黒色で製図を行い、IPの設置測量を行った場合は基準点等の記入を行う。	
	中心線 中心線線形図	1部			既成の線形図(ポリエステルフィルム300番もしくは合成紙(白色で耐水性を保持するもの))に、主要点及び中心点を座標展開し、黒色で製図を行う。	

(次へつづく)

参考資料- 1 0 続き

図面種類		部数	原図(色別製図)	原図(色別製図)	第二原図写真	第二原図写真
路 線 測 量	中心線 打設点 図	1部			中心線線形図(ポリエステルフィルム300番もしくは合成紙(白色で耐水性を保持するもの))に、中心線、中心点、中心点番号を黒色で製図を行い、現地に設置したIP点又は基準点等から測設した中心点に対して、方向角、距離及び方向矢印を朱色で記入し、座標値を黒色で記入する。	
	用地幅 杭 線形図				既成の中心線線形図(ポリエステルフィルム300番もしくは合成紙(白色で耐水性を保持するもの))に、計画線幅員の線、幅杭位置及び幅杭番号を黒色で記入し、一覧表に基準点、中心点、幅杭点及びIP点等の座標値を黒色で記入する。	
	幅杭打 設点 図				幅杭線形図(ポリエステルフィルム300番もしくは合成紙(白色で耐水性を保持するもの))に、中心点又は、基準点から幅杭に対し方向角、距離及び方向矢印を朱色で記入し、座標値を黒色で記入する。	
用 地 測 量	地 図 写	2部		道路の起点及び河川の下流を左端にし、製図を行う。 ポリエステルフィルム300番もしくは合成紙(白色で耐水性を保持するもの)		地図写真原図から第二原図を作成し、計画線を朱色で記入する。 ポリエステルフィルム300番もしくは合成紙(白色で耐水性を保持するもの)
	用地実測 原 図 (色別製図)	1部	用地実測原図は原則として、道路の起点及び河川の下流を左端にし、基準点並びに境界点の位置、番号、中心線並びに測点番号を、幅杭線、幅杭位置及び番号、行政境界線、区市町村名、大字名、字名、丁目名、各筆の地番、土地所有者等の氏名、境界辺長、隣接地の地番、方位、面積計算表、土地の三斜線および三斜数値等は黒色にて製図を行い、座標値一覧表に基準点と幅杭点、境界点と計画線の交差する部分の座標値を黒色で記入する。土地の三斜線及び数字は朱色で記入する。借地境界線並びに借地の三斜線及び数字は青色で記入する。 ポリエステルフィルム300番もしくは合成紙(白色で耐水性を保持するもの)			

(次へつづく)

参考資料- 1 0 続き

図面種類		部数	原図(色別製図)	原図(色別製図)	第二原図写図	第二原図写図
用地 測量	用地実測図 写 図	2部		用地実測図原図(色別で製図)と同様の図式で製図を行い <b>黒色</b> で記入する。		用地実測図写図原図から第二原図を作成する。 ポリエステルフィルム300番もしくは合成紙(白色で耐水性を保持するもの)
	用地平面 図 (現況重ね 図)	2部			既成の幅杭線形図をポリエステルフィルム300番もしくは合成紙(白色で耐水性を保持するもの)に <b>グリーン色</b> 等の薄色とする。 土地の境界線、借地線、土地の地番、土地所有者名、借地権者名を <b>黒色</b> で記入。基準点、幅杭点と土地の境界点の位置、各点の符号、計画幅杭線と公共用地等の交点等を座標値等の一覧表として作成する。 製図は <b>黒色</b> により行う。	現況重ね図から第二原図を作成する。 ポリエステルフィルム300番もしくは合成紙(白色で耐水性を保持するもの)
	土地境界 総括図	2部			既成の幅杭線形図からポリエステルフィルム300番もしくは合成紙(白色で耐水性を保持するもの)に <b>グリーン色</b> 等の薄色とする。 区域図と土地境界図を総括図にまとめ、境界点、境界点番号、境界点間距離、土地地番、土地所有者名、境界点及び基準点座標値を一覧表として作成する。製図は <b>黒色</b> により行う。	土地境界総括図原図から第二原図を作成する。 ポリエステルフィルム300番もしくは合成紙(白色で耐水性を保持するもの)
	用地境界 測設図 (必要な 場合のみ)	2部			既成の現況重ね図からポリエステルフィルム300番もしくは合成紙(白色で耐水性を保持するもの)に <b>グリーン色</b> 等の薄色とし、計画幅員線と公共用地境界線および民有地(民・民)境界等との交点に設置した箇所を基準点からの方向角及び距離等を <b>朱色</b> で記入する。	用地境界測設図原図から第二原図を作成する。 ポリエステルフィルム300番もしくは合成紙(白色で耐水性を保持するもの)
公示 用 図 書 の 作 成	用地実測図 写 図	1部			貸与の用地実測図原図からポリエステルフィルム300番もしくは合成紙(白色で耐水性を保持するもの)に <b>グリーン色</b> 等の薄色で写図を作成し、写図の旧土地所有者名、旧土地地番を( )で囲み、権原取得後の土地所有者名及び新土地地番並びに都道隣接地番を黒墨にて記入する。	
	地 図 写			貸与の地図写しを基にし、ポリエステルフィルム300番もしくは合成紙(白色で耐水性を保持するもの)に権原取得後の土地所有者名、新地番、地目、筆界線、地積等を <b>黒色</b> にて記入する。		
	公示用略図	1部		公示用略図の作成によること。なお、 <b>黒色</b> で製図を行う。ポリエステルフィルム300番もしくは合成紙(白色で耐水性を保持するもの)		

## 公示用略図の作成要領

平成 1 7 年 6 月 1 日  
建設局道路管理部

## 公 示 用 略 図 の 作 成 要 領

昭和 52 年 7 月 1 日 52 建道管路第 155 号決定  
平成 8 年 3 月 21 日 7 建道管路第 1627 号全面改正  
平成 13 年 3 月 1 日 12 建道管路第 3466 号全面改正  
平成 17 年 6 月 1 日 17 建道管路第 798 号一部改正

### 第 1 「公示用略図の作成要領」の意義

東京都においては、道路の路線の認定、区域の決定、供用の開始等を公示するに際しては、略図を添付することになっている。

略図の添付については、特に法律等に定められている訳ではないが、これにより区域変更等の処分の概要がより具体的に示されるとともに、公報上に記録される等の利点がある。

それゆえ、この略図の添付は、大正 9 年に旧道路法が施行されて以来の慣行となっている。

路政課等に保管されている大正 9 年以来の公報上の略図は、道路区域及び境界確定等に係る第一級の資料として、現在も各方面で活用されている。

については、都道（首都高速道路を除く。）及び一般国道（指定区間外）の区域変更等に係る公示用略図を、より分かり易く見やすくするため、この要領を定める。

### 第 2 使用する用紙

- 1 用紙の材質は、ポリエステルフィルム（300 番）又はこれに類するもの。
- 2 用紙の大きさは、公報の形式に合わせ、A 4 判（縦使い）を原則とする。
- 3 余白は、上下左右とも 15～20mm 程度とする。枠線は引かないこと。

### 第 3 構成及び記載方法（A 4 判（縦使い）の場合）

#### 1 略図の構成 <各模範例>

- (1) 略図は、「表題部」、「案内図」及び「本図」により構成する。
- (2) 表題部は、「表題」、「処分の区間」、「道路の凡例」、「処分の凡例」及び「処分の延長・面積」により構成する。
- (3) 「表題部」、「案内図」及び「本図」の配置については、全体のバランスを考えて、見やすいように工夫する。
- (4) 用紙の右上端には、「別図」と縦書きする。  
ただし、公示の方法により「別図一」、「別図二」等と記する場合もある。
- (5) 「別図」の字の大きさは、16 ポイント程度とする。

#### 2 略図の記載方法 <各模範例>

- (1) 表題

- ア 表題は、「別図」左側に、「別図」より1字下げで縦書きする。
- イ 表題は、「路線名」「処分名」のあとに「略図」と記載する。
- ウ 路線名は、「都道〇〇〇〇線」、「一般国道〇〇〇〇号」等と記載する。
- エ 処分名は、「区域変更」、「供用開始」、「区域決定」等と記載する。
- オ 字の大きさは、16ポイント程度とし、全体のバランスを考えて記載する。
- カ 路線名が複数の場合は、原則として区域変更等の主たる路線を右側に記載し、他の路線はその左横に列記する。主たる路線以外は、路線の整理番号の若い順に列記することが望ましい。 <参考例1>

## (2) 処分の区間

- ア 処分の区間は、「表題」左側に「表題」より1字下げで縦書きする。
- イ 字の大きさは、「表題」と同じにする。
- ウ 処分の区間は、「起点地名」、「～」（縦書き）、「終点地名」により構成する。
- エ 処分の区間のうち、路線の起点側の端の地名を「起点地点」、終点側の端の地名を「終点地点」とする。
- オ 「起点地名」、「終点地名」の表示は、町丁名又は（大）字名までとし、丁名は「一丁目」のように漢字で表示する。
- カ 地名が長く、記載が2行になる場合には、1行目には「起点地名」、2行目には1行目より一字下げで、縦書きの「～」を記載し、その下に「終点地名」を書く。
- キ 「起点地名」と「終点地名」が同じ場合は、途中で他の地名があった場合でも〇〇地内と記載する。 <模範例C・D>

## (3) 道路の凡例

- ア 道路の凡例の記載位置は、表題左側に処分の区間と同じ高さに縦書きする。
- イ 字の大きさは、12ポイント程度とする。
- ウ 凡例は、高速自動車国道、一般国道、都道及び区市町村道の順に、必要なものを記載する。 <別紙1>
- エ 首都高速道路については、記載しない。

## (4) 処分の凡例 <別紙1>

### ア 記載方法

- (ア) 処分の凡例の記載位置は、道路の凡例に並べて縦書きする。
- (イ) 字の大きさは、道路の凡例と同じにする。
- (ウ) 処分の凡例は、必要な凡例だけを記載する。

### イ 区域変更（区域決定）の場合

#### (ア) 編入区域 <模範例A>

- a 区域変更等により、新たに道路区域に編入される区域がある場合に記

載する。ただし、重用編入区域は含めない。

b 「処分名」が区域決定の場合には、凡例を「編入区域（決定区域）」にする。 <模範例B>

(イ) 重用編入区域 <模範例A>

a 区域変更等により、新たに道路区域に編入される区域のうち、他の路線の道路区域と重用することとなる区域がある場合に記載する。

b 「処分名」が区域決定の場合には、凡例を「重用編入区域（決定区域）」にする。 <模範例B>

c 「重用編入区域」の下には、括弧書きで（都道〇〇〇〇線との重用編入）等と重用関係を分かりやすく記載する。 <模範例A>

(ウ) 廃止区域 <参考例2>

区域変更により、道路区域が廃止される区域がある場合に記載する。ただし、重用廃止区域は含めない。

(エ) 重用廃止区域 <模範例C>

a 区域変更により、道路区域が廃止される区域のうち、他の路線の道路区域と重用していた区域がある場合に記載する。

b 「重用廃止区域」の下には、括弧書きで（都道〇〇〇〇線との重用廃止）等と重用関係を分かりやすく記載する。

(オ) 変更後区域 <模範例D>

a 表題を区域変更後略図にした場合に使用する凡例。

b 区域変更等の結果、特定区間内で道路区域になっている区域全体を記載する。ただし、変更後重用区域は含めない。

c 区域変更後略図は道路区域の廃止が生じる場合には使用しないので、道路区域の廃止を表す凡例はない。

(カ) 変更後重用区域 <参考例3>

a 表題を区域変更後略図にした場合に使用する凡例。

b 区域変更等の結果、特定区間内で他の路線の道路区域と重用する区域全体を記載する。

c 区域変更後略図は道路区域の廃止が生じる場合には使用しないので、道路区域の廃止を表す凡例はない。

(キ) 計画線 <模範例A>

都市計画道路等の都道の道路整備計画線を本図に図示する場合に記載する。

ウ 供用開始の場合

(ア) 供用開始区域 <模範例E>

道路の供用を開始する区域を記載する。

(イ) 供用除外区域 <参考例4>

a 通常は記載しない。

b 道路区域になっているが、供用の開始に際し、供用を除外している区

域を明示したい場合に記載する。

c 延長及び面積の表示は必要ない。

(ウ) 計画線

都市計画道路等の都道の道路整備計画線を本図に図示する場合に記載する。

エ 処分の延長・面積

(ア) 処分の延長・面積は、凡例ごとに記載する。

ただし、「計画線」、「供用除外区域」には記載しない。

(イ) 処分の延長・面積の記載位置は、処分の凡例から2文字下げて列記する。

(ウ) 延長・面積は、漢字で表示し、小数点第2位（小数点第3位以下は切捨て）まで記載する。なお、桁区切りのカンマは読点（、）、小数点は中点（・）で表記すること。

(エ) 字の大きさは12ポイント程度とする。

(5) 案内図

ア 一般的記載 <別紙2>

(ア) 案内図は、左上に表題部と並べてバランスよく配置する。

(イ) 一般的には、縮尺1/25,000程度の地図を利用して、処分区域及び周辺地域が一望できるよう図示する。

(ウ) 可能なかぎり、鉄道の駅を含んだ図にする。

(エ) 必ず北を上にして記載し、方位を入れる。

(オ) 区市町村名及び町丁名・（大）字名を記載し、区市町村については、その境界線を簡単に分かりやすく記載する。

(カ) 町丁名の数字は漢字とする。

(キ) 主要な公共施設があれば、適宜記載する。

イ 道路の記載

(ア) 国道、都道は記載するが、区市町村道については記載しないことを原則とし、分かり易くするため記載する場合も主要なものだけにとどめる。

(イ) 処分箇所は黒塗りし、図の外側から矢印で「区域変更箇所」等と示す。

(ウ) 国道、都道は路線名を記載する。

ただし、区市町村道には路線名を入れない。

(エ) 首都高速道路については、原則として記載しない。

(6) 本図

ア 一般的記載 <別紙2>

(ア) 本図は、略図の下半分に処分の概要が理解できるように記載する。

(イ) 方位は、本図の左側の見やすい位置に記載する。

(ウ) 一般的には、縮尺1/2,500程度の地図を利用して記載するが、縮尺は分かりやすさを優先して判断する。



- (エ) 区市町村名及び町丁名・(大)字名を記載し、その境界線を簡単に分かりやすく記載する。
- (オ) 交差点部等の地番(不動産地番)を適宜記入する。処分箇所の起点と終点に当たる地番は、処分区間として使用するもので、必ず正確に記載する。
- (カ) 町丁名及び地番の数字は漢字とする。
- (キ) 鉄道、河川、海等は必ず記入し、名称も記載する。

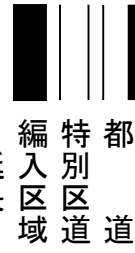
#### イ 道路の記載

- (ア) 本図上の道路は、なるべく北が上になるように横長に記載し、長さが1つの図で収まらない場合には、A-A'断面等を設けて、複数の図でバランスよく記載する。
- (イ) 本図が1ページで収まらない場合は、複数のページに渡って記載する。その場合は、全体のページで記載バランスを整えること。
- (ウ) 複数の図になった場合の方位は、それぞれの図の左側の見やすい位置に記載する。それぞれの図の方位は北である必要はなく、図ごとに異なってもよい。
- (エ) 処分箇所を、凡例ごとに、決められた図柄で記載する。
- (オ) 処分箇所には、曲り点等の主要な道路幅員をアラビア数字で記載する。
- (カ) 道路幅員は、小数点第2位(小数点第3位以下切捨て)まで記載し、字の大きさは8ポイント程度とする。
- (キ) 隅切り及び10m以下の辺には、原則的に辺長を入れる。
- (ク) 図が小さい場合には、部分的な拡大図を記載して、分かりやすくする。
- (ケ) 道路は、国道、都道(首都高を除く)、区市町村道を記載し、私道は記載しない。
- (コ) 国道、都道には、路線名を記入する。区市町村道には路線名を記入しない。
- (サ) 首都高速道路については、原則として記載しない。
- (シ) 新たに複数の路線に編入する場合には、区域変更等の主たる路線について編入区域とし、他の路線は重用編入区域とする。
- (ス) 複数の路線に編入する場合で、主たる路線が無い場合には、次の順位で整理番号の若い方を編入区域とし、他の道路には重用編入区域として扱うことを基本とする。
  - なお、整理番号が無い路線についての順位は、適宜判断する。
  - a 主要地方道の一般都道 (整理番号 1～99号)
  - b 主要地方道の特例都道 (整理番号 301～399号)
  - c 主要地方道以外の一般都道 (整理番号 101～299号、501～599号)
  - d 主要地方道以外の特例都道 (整理番号 401～499号、番号なし)

# 文字の大きさの例

別 図

都道環状三号線区域変更略図  
江東区木場四丁目地内 (16ポイント)



延長 一、二五七・三メートル  
面積 四三二・八三平方メートル

(12ポイント)

地番 二四六の八

幅員等

125.7

(8ポイント)

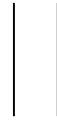
表題部の凡例  
道路の凡例



高速自動車国道・一般国道



都道



特別区道・市町村道

処分の凡例

区域変更（区域決定）の場合



編入区域、  
編入区域（決定区域）  
又は変更後区域



重用編入区域、  
重用編入区域（決定区域）  
又は変更後重用区域



廃止区域  
又は重用廃止区域



編入立体的区域  
編入立体的区域（決定立体的区域）



廃止立体的区域



計画線

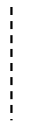
供用開始の場合



供用開始区域



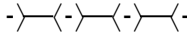
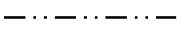

供用除外区域





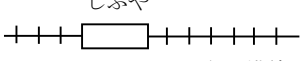

計画線

案内図及び本図の凡例

(ア) 境界線

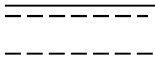
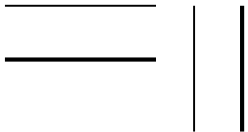

-  都県界
-  区、市、町、村界
-  町、丁目、(大)字界

(イ) 鉄道


-  JR (路線名=漢字)、(駅名=ひらがな)
-  山手線
-  私鉄 (路線名=漢字)、(駅名=ひらがな)
-  東急東横線

(ウ) 地名 区市町村名、町丁名、(大)字名

(エ) 道路

-  高速自動車国道・一般国道
-  都道 (右側線あるいは下側線を太く表示する。)
-  特別区道・市町村道

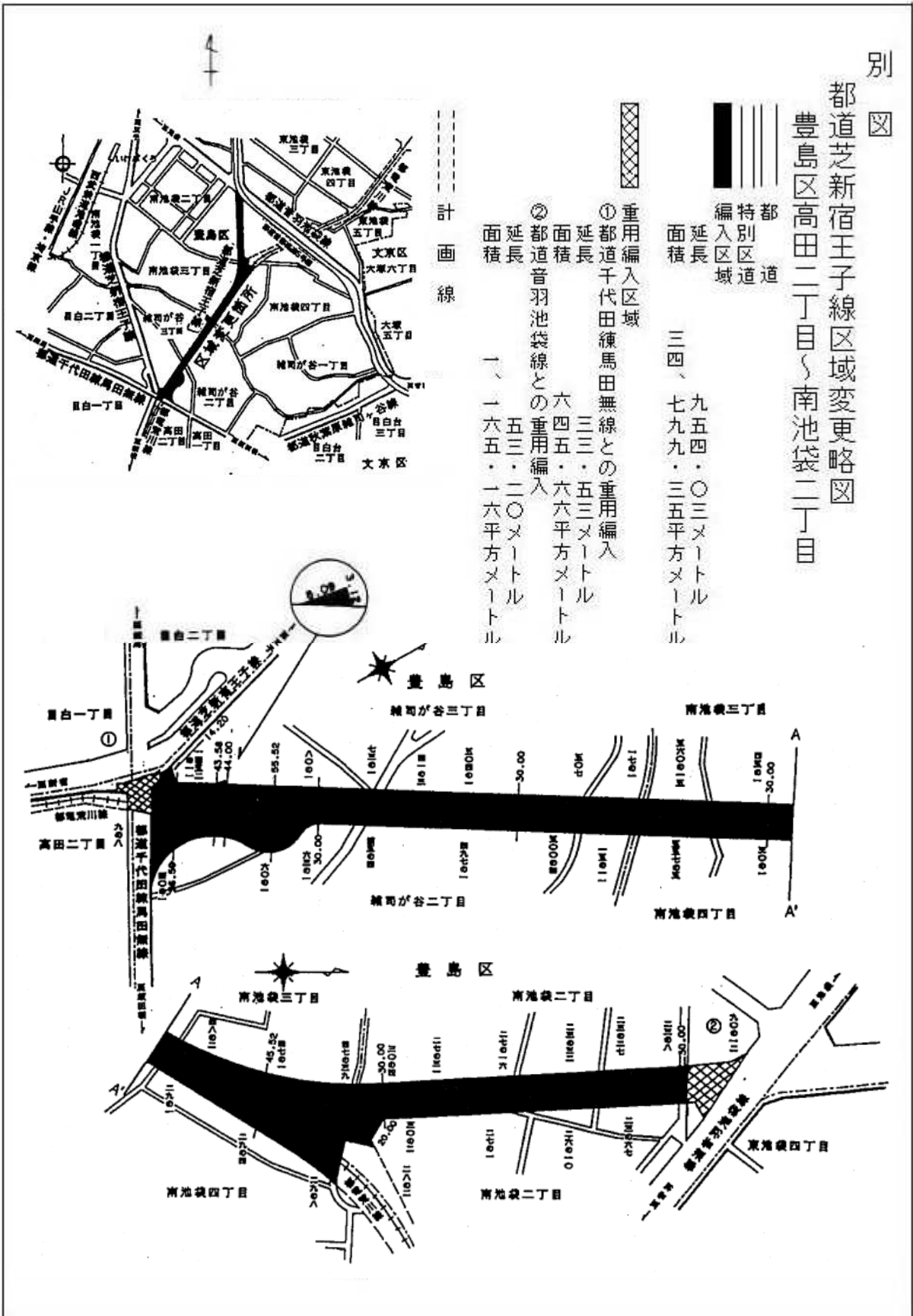
(オ) 河川

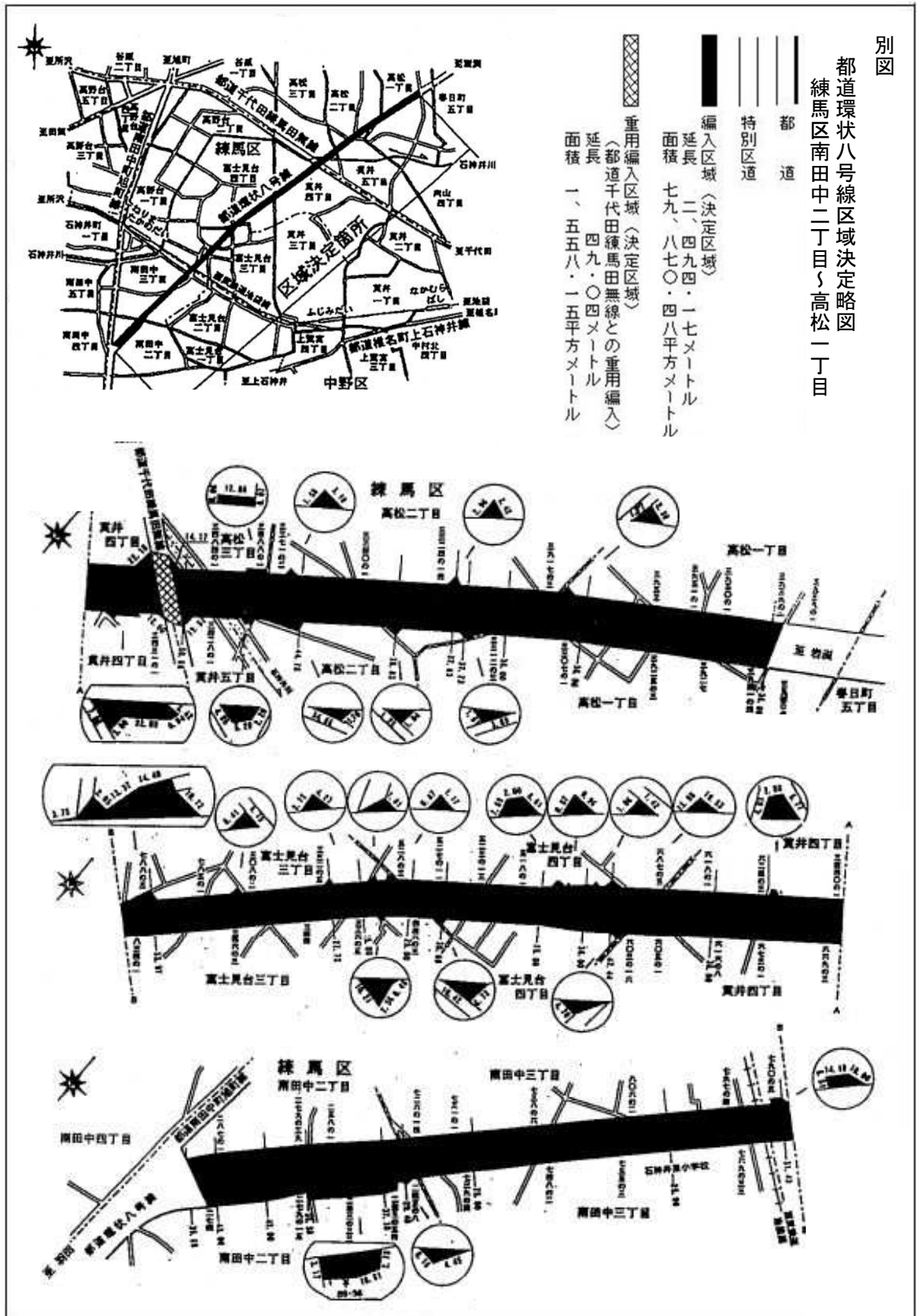
-  河川名を表示する。  
(1級河川等の場合、流れる方向を矢印で示す。)

(カ) 主要な公共施設 (文京公会堂、千歳清掃工場、千住大橋等)

別 図

都道芝新宿王子線区域変更略図  
豊島区高田二丁目～南池袋二丁目

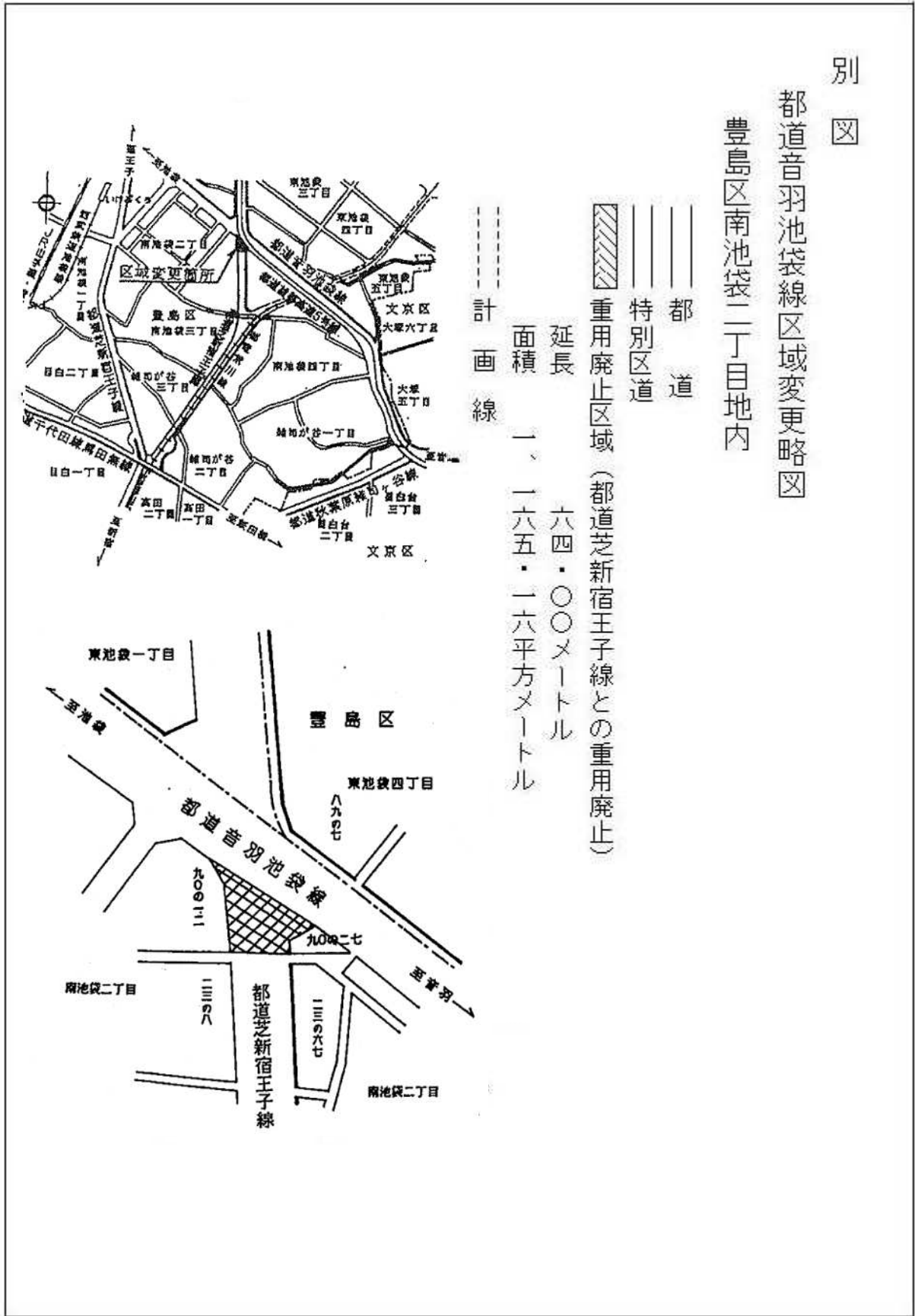




別  
図

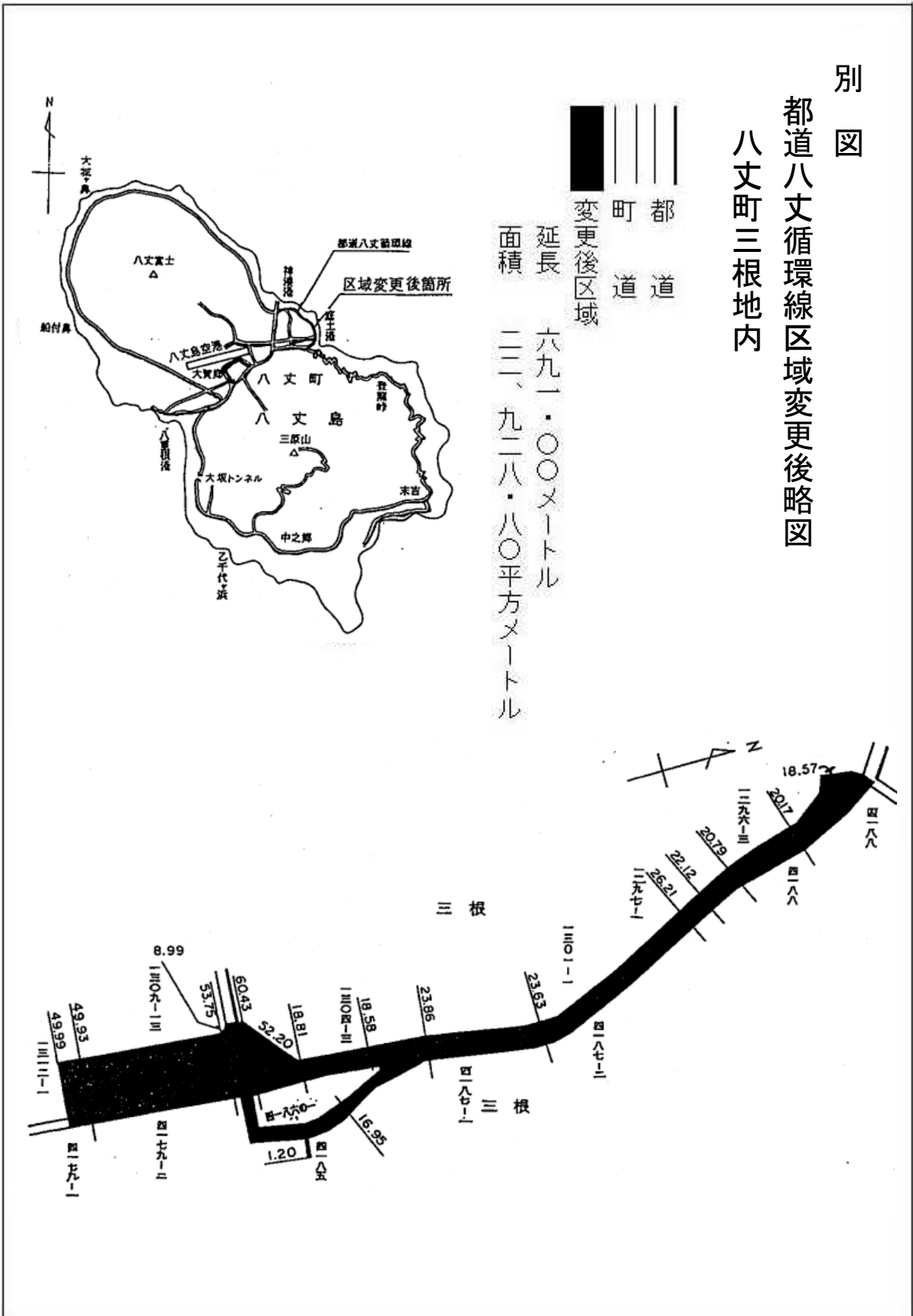
都道音羽池袋線区域変更略図

豊島区南池袋二丁目地内



別図

都道八丈循環線区域変更後略図  
八丈町三根地内



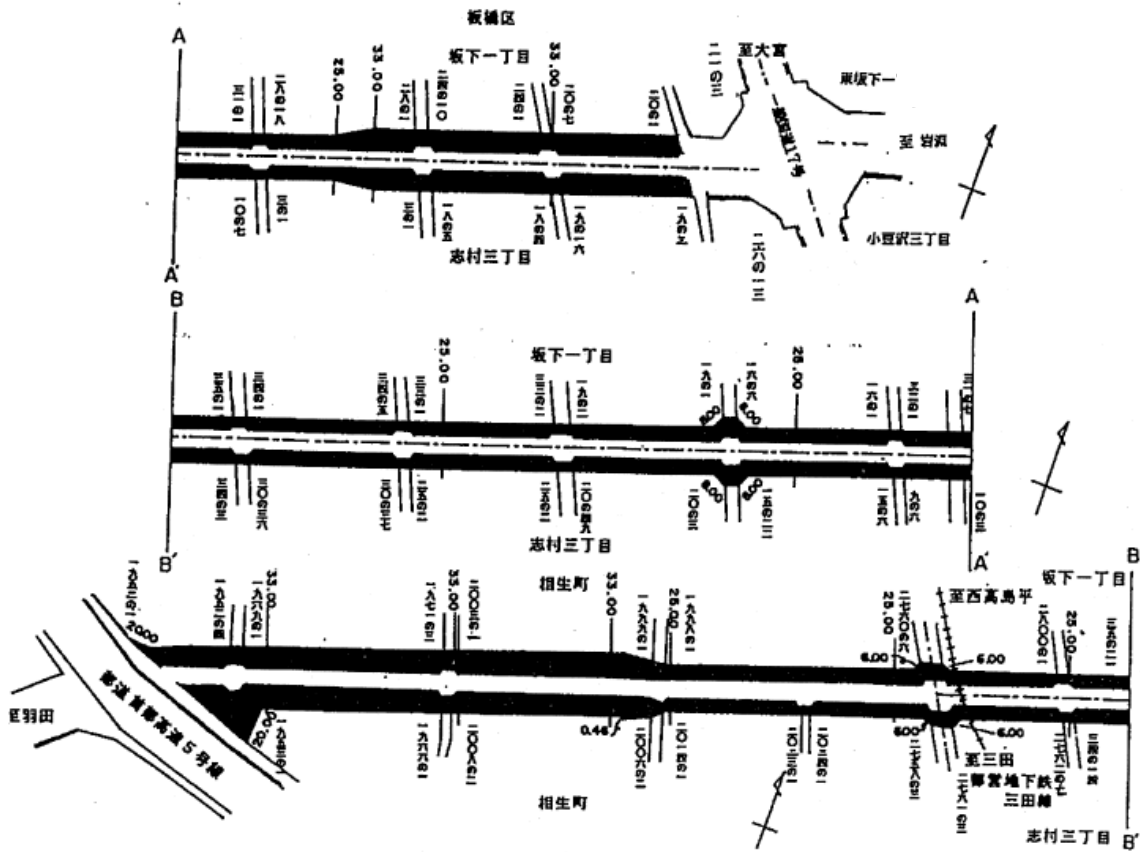


別図

都道環状八号線供用開始略図  
板橋区相生町～志村三丁目



延長 一、二二二・九一メートル  
面積 二〇、九〇八・〇〇平方メートル



別 図

都道新宿青梅線  
都道奥多摩青梅線  
青梅市千ヶ瀬町二丁目地内  
区域変更略図

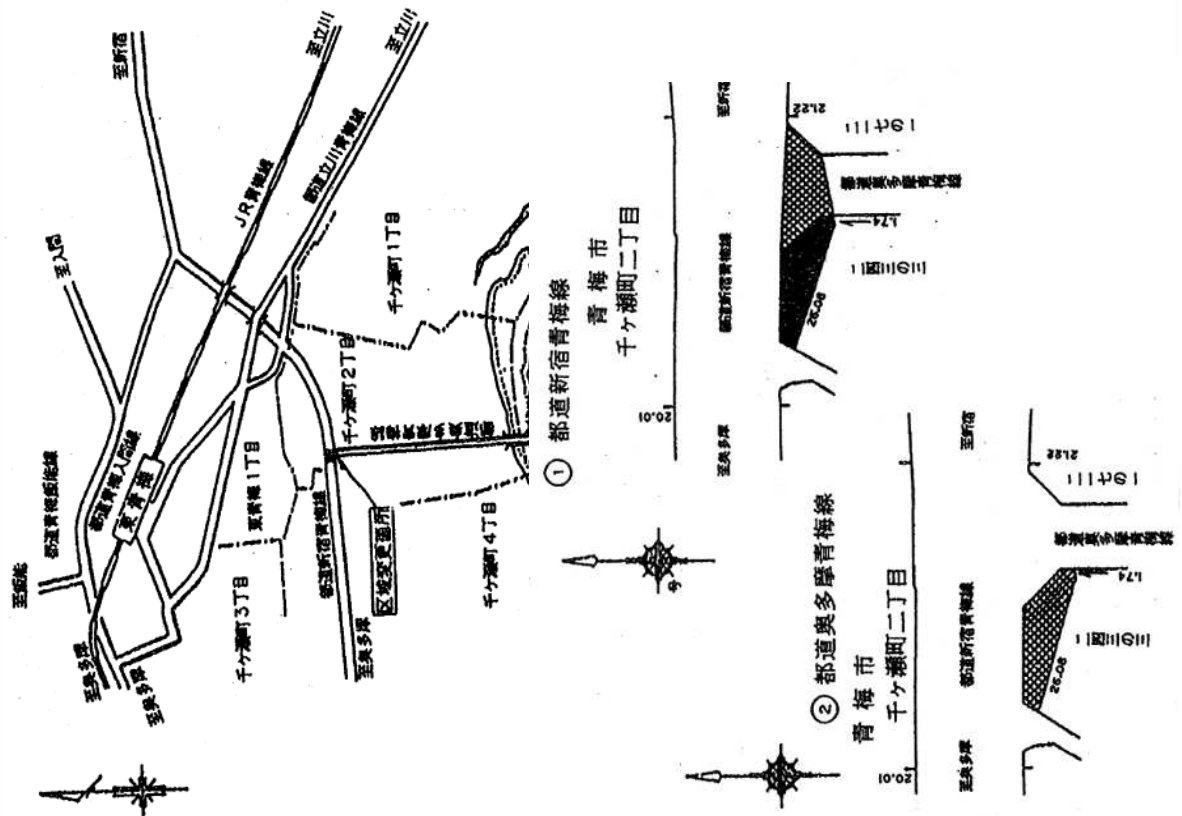
- 一般国道
- 都 道
- 市 道
- 編入区域

① 都道新宿青梅線  
延長 二六・九六メートル  
面積 一五〇・三七平方メートル

⊞ 重用編入区域

① 都道新宿青梅線 (都道奥多摩青梅線との重用編入)  
延長 二五・三二メートル  
面積 一四〇・三五平方メートル

② 都道奥多摩青梅線 (都道新宿青梅線との重用編入)  
延長 九・九九メートル  
面積 一五〇・三七平方メートル



別 図

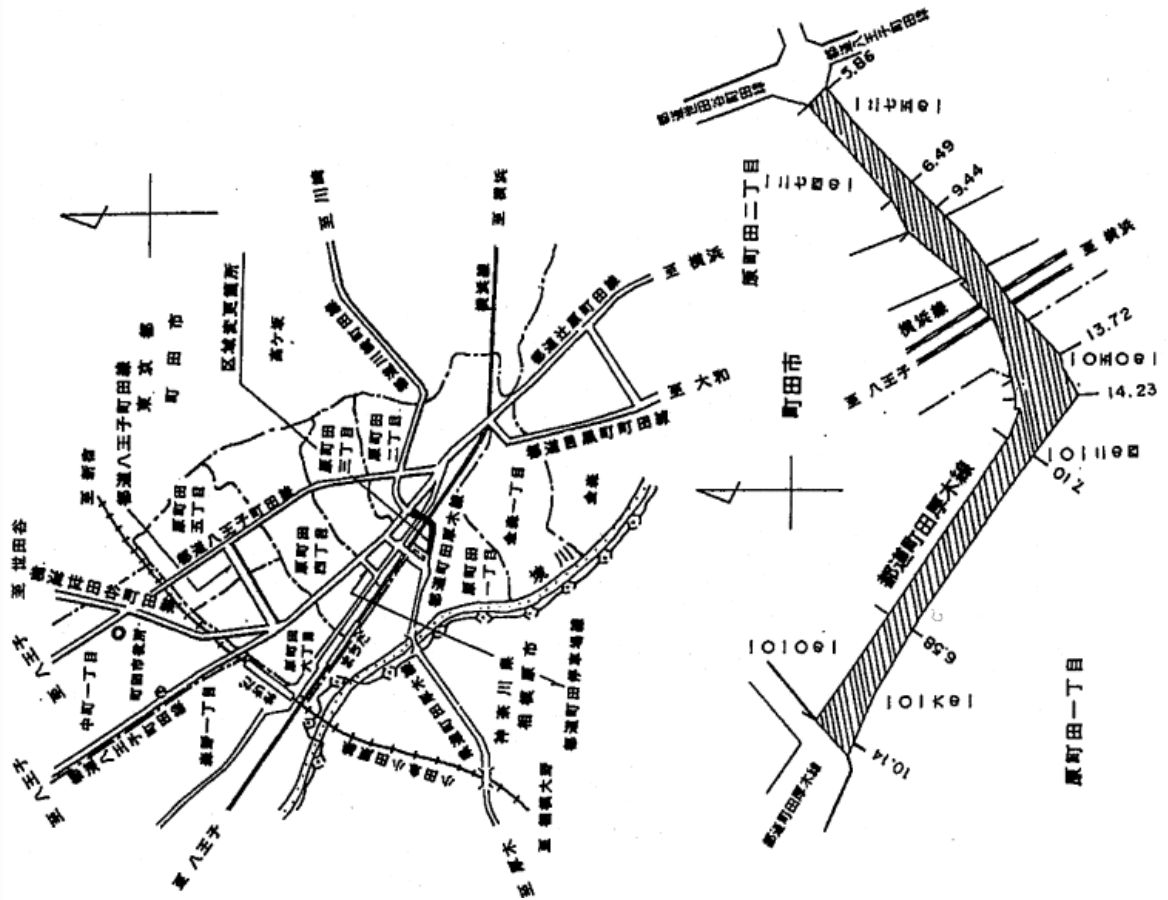
都道町田厚木線区域変更略図

町田市原田二丁目～原町田一丁目

- ||||| 都 道
- ||||| 市 道
- ▨ 廃止区域

延長 一九八・七五メートル

面積 一、五四二・三五平方メートル




別 図

都道上麻生連光寺線変更後略図

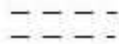
多摩市聖ヶ丘五丁目～連光寺六丁目

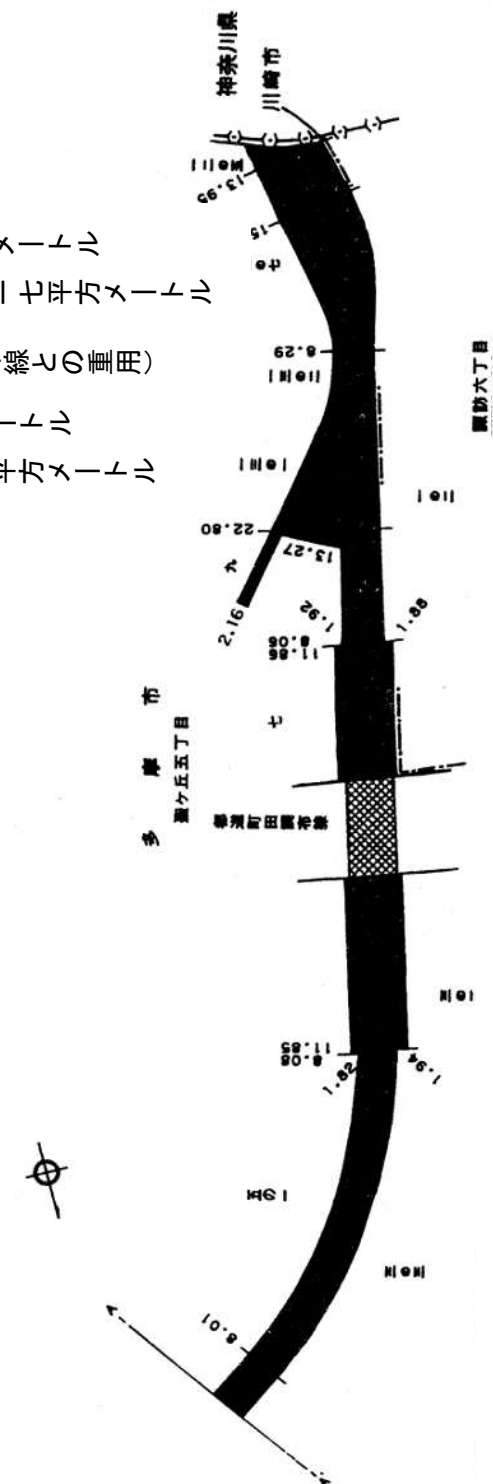
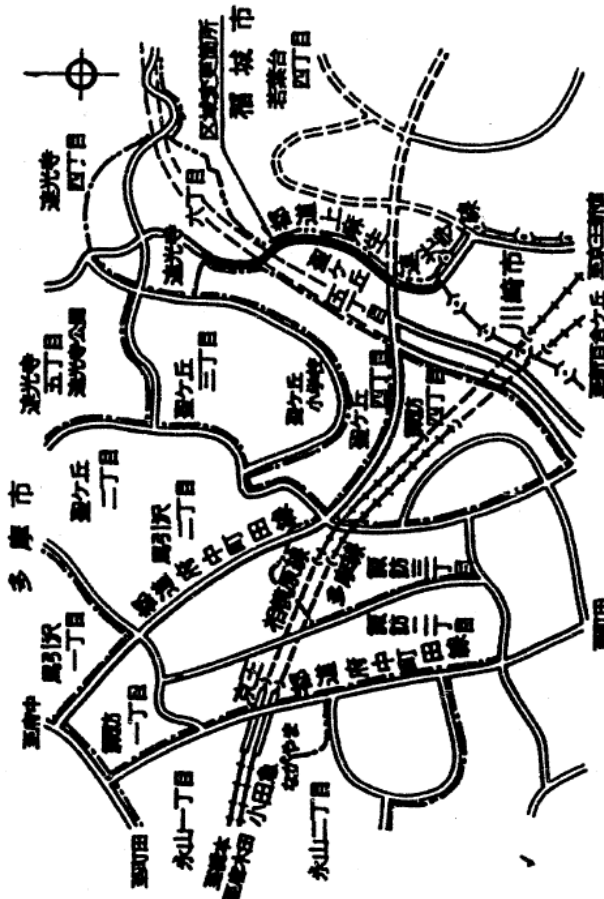
-  都 道
-  市 道
-  変更後区域

延長 八四三・三三メートル  
面積 九、七二六・一七平方メートル

-  変更後重用区域 (都道町田調布線との重用)

延長 二〇・〇八メートル  
面積 一九六・七三平方メートル

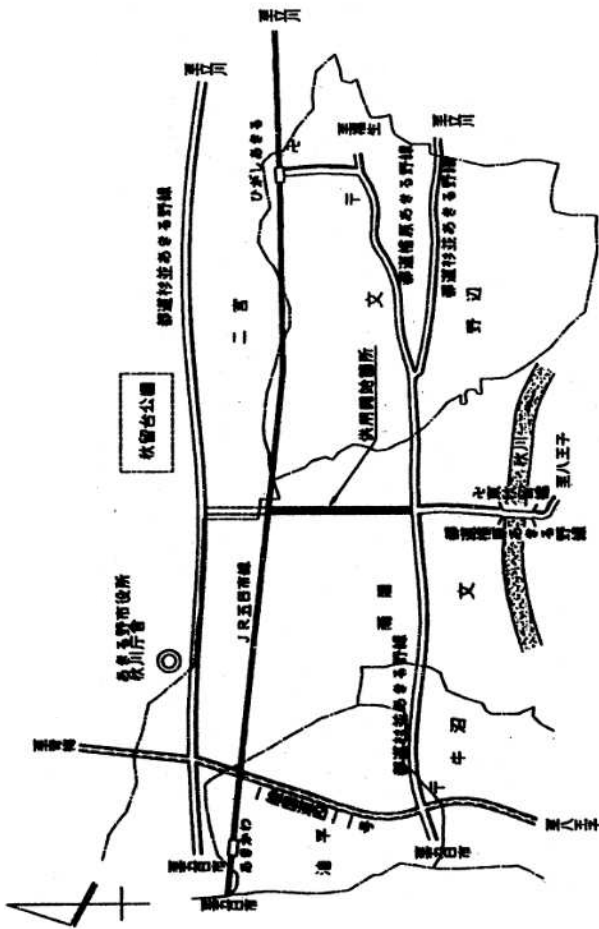
-  計 画 線



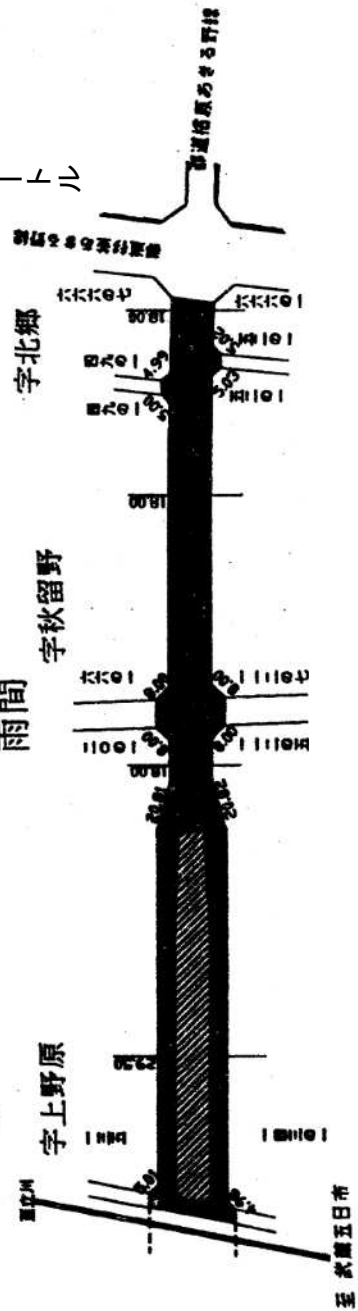
別 図

都道槽原あきる野線供用開始略図  
あきる野市雨間地内

-  一般国道
-  都 道
-  市 道
-  供用開始区域
- 延長 三九九・三二メートル
- 面積 七、一六二・三八平方メートル
-  供用除外区域
-  計 画 線



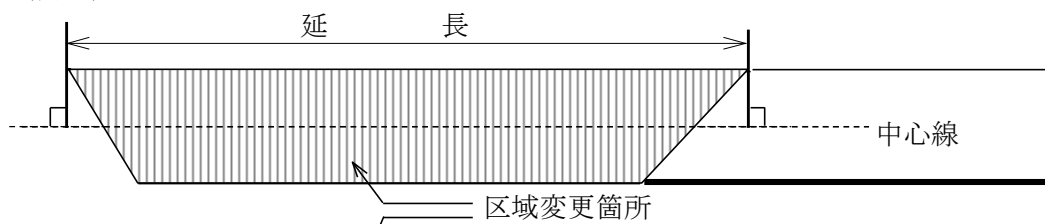
あきる野市  
雨間



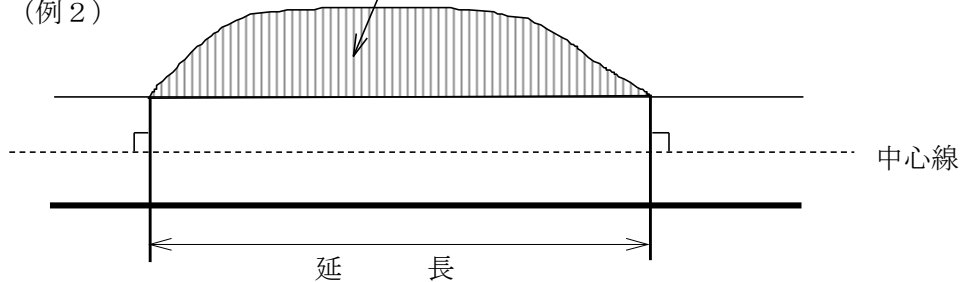
## 略図作成に係る留意事項

- 1 用紙の使い方について  
用紙の使い方については、要領のなかでA4判縦使いを原則としている。  
ただし、既に略図がA4判横使いで作成されている場合には、それを使用してもよい。
- 2 略図の省略について  
区域変更等と供用開始を同日付で行う場合、編入区域及び変更後区域（重用を含む。）と供用開始区域とが同一の場合に限り、供用開始略図を省略することができる。
- 3 区域変更等の延長の求め方について

(例1)



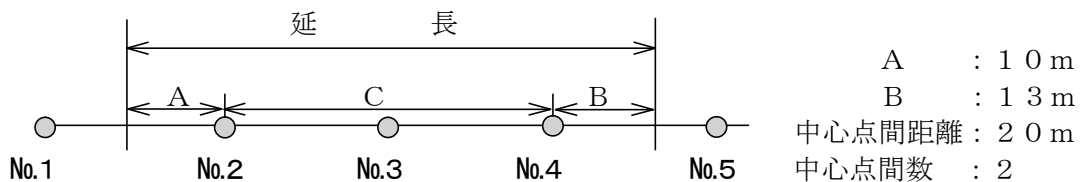
(例2)



延長の求め方（手順）

- 1 処分凡例ごとに延長を求める。
- 2 処分範囲の一番端の点から中心線に垂線をおとす。
- 3 中心線上の両端の距離を測る。（図上でメジャーによる算出も可）
- 4 小数点第3位以下を切り捨て、第2位までを表示する。

(参考) 中心線測量をやっている場合



$$A + B + C = \text{延長}$$

$$10\text{ m} + 13\text{ m} + (20\text{ m} \times 2) = 63.00\text{ m}$$

※ 延長は、A及びBの距離にC（中心点間距離×中心点間数）を加えて求める。

- 4 区域決定及び区域変更の使用区分について  
今後は、路線認定後の初回の区域編入を区域決定、2回目以降の区域編入を区域変更として取り扱う。
- 5 略図は、処分の概要を簡潔に示すためのものなので、手書きであっても支障ない。

[手書例]

(第6900号)

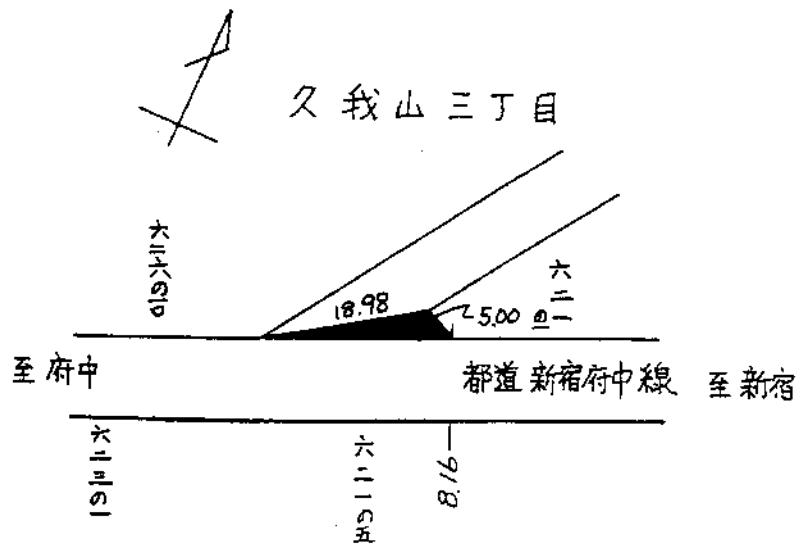
東京都公報

昭和55年9月9日(火曜日) 4

都道新宿府中線供用開始略図  
杉並区久我山三丁目地内

供用開始区域  
 特別区道  
 都道

延長一九九五メートル  
 面積四八九四平方メートル







地 番		所有権登記名義人 (□立会人)		
	住所 (登記記録と異なる場合)			
	氏名			
	本人確認方法	□運転免許証 □個人番号カード □面識有り □その他 ( )		
	持分	□単有 □共有 (持分 ) □共有者多数 (別紙のとおり)		
	連絡先 (電話番号等)			
立会人				
	住所			
	氏名			
	本人確認方法	□運転免許証 □個人番号カード □面識有り □その他 ( )		
	所有権登記名義人との関係	□親族 ( ) □管理者 ( ) □代表者 □その他 ( )		
	連絡先 (電話番号等)			
	立会・確認状況等	令和 年 月 日 立会・確認		
地 番		所有権登記名義人 (□立会人)		
	住所 (登記記録と異なる場合)			
	氏名			
	本人確認方法	□運転免許証 □個人番号カード □面識有り □その他 ( )		
	持分	□単有 □共有 (持分 ) □共有者多数 (別紙のとおり)		
	連絡先 (電話番号等)			
立会人				
	住所			
	氏名			
	本人確認方法	□運転免許証 □個人番号カード □面識有り □その他 ( )		
	所有権登記名義人との関係	□親族 ( ) □管理者 ( ) □代表者 □その他 ( )		
	連絡先 (電話番号等)			
	立会・確認状況等	令和 年 月 日 立会・確認		
地 番		所有権登記名義人 (□立会人)		
	住所 (登記記録と異なる場合)			
	氏名			
	本人確認方法	□運転免許証 □個人番号カード □面識有り □その他 ( )		
	持分	□単有 □共有 (持分 ) □共有者多数 (別紙のとおり)		
	連絡先 (電話番号等)			
立会人				
	住所			
	氏名			
	本人確認方法	□運転免許証 □個人番号カード □面識有り □その他 ( )		
	所有権登記名義人との関係	□親族 ( ) □管理者 ( ) □代表者 □その他 ( )		
	連絡先 (電話番号等)			
	立会・確認状況等	令和 年 月 日 立会・確認		
04 登記原因及びその日付				
申請番号	地 番	原因日付	原因	登記原因及びその日付の具体的判断理由

05 調査資料・証言・事実等		
資料等区分	資料等番号	資料等名
登記所資料		<input type="checkbox"/> 土地登記記録
		<input type="checkbox"/> 土地閉鎖登記記録・閉鎖登記簿
		<input type="checkbox"/> 建物登記記録
		<input type="checkbox"/> 建物閉鎖登記記録・閉鎖登記簿
		<input type="checkbox"/> 地図 ( )
		<input type="checkbox"/> 地図に準ずる図面 ( )
		<input type="checkbox"/> 閉鎖地図及び閉鎖地図に準ずる図面
		<input type="checkbox"/> 地積測量図・土地所在図
		<input type="checkbox"/> 筆界特定関係資料等
		<input type="checkbox"/> 旧土地台帳
		<input type="checkbox"/> 旧土地台帳附属地図 (和紙公図)
		<input type="checkbox"/> 基準点成果
		<input type="checkbox"/> その他 ( )
	<input type="checkbox"/> その他 ( )	
官公署等資料		<input type="checkbox"/> 台帳申告書写し
		<input type="checkbox"/> 地籍図等
		<input type="checkbox"/> 国土調査等関係資料
		<input type="checkbox"/> 道路台帳
		<input type="checkbox"/> 道路台帳附属地図
		<input type="checkbox"/> 道路境界確定図等
		<input type="checkbox"/> 法定外公共物確定協議書等
		<input type="checkbox"/> 公共用地払下げ図面等
		<input type="checkbox"/> 河川法の適用河川境界承認図等
		<input type="checkbox"/> 換地確定図
		<input type="checkbox"/> 戦災復興区画整理図
		<input type="checkbox"/> 空中写真
		<input type="checkbox"/> 農業委員会の許可書等
	<input type="checkbox"/> 基準点成果	
	<input type="checkbox"/> その他 ( )	
	<input type="checkbox"/> その他 ( )	
その他の事実等		<input type="checkbox"/> 地形地物：段差・石垣・のり地・崖・沢・道路・水路・尾根・谷・その他
		<input type="checkbox"/> 工作物：境界標識・土留め・ブロック塀・コンクリート擁壁・その他
		<input type="checkbox"/> 筆界確認書，立会証明書等
		<input type="checkbox"/> 売渡図面
		<input type="checkbox"/> 承諾書
		<input type="checkbox"/> 証言（証言者 ( )）
	<input type="checkbox"/> その他 ( )	
	<input type="checkbox"/> その他 ( )	
結確原 果認本		
06 資料・証言・事実等の分析		
資料等番号	地番	分析手法，分析結果その他必要な事項
		作成年月日 昭和〇年〇月〇日
		求積方法 <input type="checkbox"/> 座標法 <input type="checkbox"/> 三斜法 <input type="checkbox"/> その他 ( )
		作成年月日 昭和〇年〇月〇日
		求積方法 <input type="checkbox"/> 座標法 <input type="checkbox"/> 三斜法 <input type="checkbox"/> その他 ( )
		証言者

07 現地の状況			□別紙のとおり
点名	境界標	確認の状況	
	<input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 既存 <input type="checkbox"/> 復元 <input type="checkbox"/> 入替え		
遠景	撮影年月日 備考	近景	撮影年月日 備考
点名	境界標	確認の状況	
	<input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 既存 <input type="checkbox"/> 復元 <input type="checkbox"/> 入替え		
遠景	撮影年月日 備考	近景	撮影年月日 備考
点名	境界標	確認の状況	
	<input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 既存 <input type="checkbox"/> 復元 <input type="checkbox"/> 入替え		
遠景	撮影年月日 備考	近景	撮影年月日 備考
点名	境界標	確認の状況	
	<input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 既存 <input type="checkbox"/> 復元 <input type="checkbox"/> 入替え		
遠景	撮影年月日 備考	近景	撮影年月日 備考
点名	境界標	確認の状況	
	<input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 既存 <input type="checkbox"/> 復元 <input type="checkbox"/> 入替え		
遠景	撮影年月日 備考	近景	撮影年月日 備考
その他 必要な事項			

08 地域区分・精度区分						
地域区分	<input type="checkbox"/> 市街地地域 (甲2まで)		<input type="checkbox"/> 村落・農耕地域 (乙1まで)		<input type="checkbox"/> 山林・原野地域 (乙3まで)	
地図等の 精度区分	<input type="checkbox"/> 甲1	<input type="checkbox"/> 甲2	<input type="checkbox"/> 甲3	<input type="checkbox"/> 乙1	<input type="checkbox"/> 乙2	<input type="checkbox"/> 乙3 <input type="checkbox"/> なし
09 筆界位置の計測						
基準点測量等						
測地系	<input type="checkbox"/> 世界測地系		<input type="checkbox"/> 変換パラメータ ( )		<input type="checkbox"/> 任意座標 ( )	
使用機器	<input type="checkbox"/> TS <input type="checkbox"/> GNSS <input type="checkbox"/> その他 ( )					
観測方法	<input type="checkbox"/> 放射 <input type="checkbox"/> 結合 <input type="checkbox"/> 閉合 <input type="checkbox"/> 交会 <input type="checkbox"/> 単回 <input type="checkbox"/> 対回 <input type="checkbox"/> 平均 <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> スタティック <input type="checkbox"/> 短縮スタティック <input type="checkbox"/> RTK <input type="checkbox"/> ネットワーク型RTK <input type="checkbox"/> その他 ( )					
観測日	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日					
使用した 基本三角点等	点名	等級・種別			標識	
補助基準点	点名	名称・種別			標識	
恒久的地物	点名	名称・種別			地物の名称	
遠 景	撮影年月日 備考			近 景	撮影年月日 備考	
基本三角点等に 基づく測量がで きない理由						
一筆地測量						
使用機器	<input type="checkbox"/> TS <input type="checkbox"/> GNSS <input type="checkbox"/> その他 ( )					
観測日	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日					
求積・誤差の許 容限度の検証	地番	登記地積 m <sup>2</sup>	実測面積 m <sup>2</sup>	較差 m <sup>2</sup>	公差	地積更正の要否
						<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否
						<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否

**10 補足・特記事項**

(※各欄における記録事項を補足すべき事項等を記録する。)

**11 画像情報**

別紙のとおり

撮影年月日  
備 考

撮影年月日  
備 考

**12 調査図（現地案内図等）**

別紙のとおり

調査図番号 ( )

タイトル

土地

不動産調査報告書 (嘱託登記用)

平成 年 月 日作成

以下のとおり調査の結果を報告します。

調査 測量者職氏名

東京都〇〇建設事務所

〇〇 〇〇

職印

電話番号 03-5320-〇〇〇〇

( ) 章以降  無

報告書No

I 基礎情報 (登記記録又は申請情報)	01	登記(業務)の目的	<input type="checkbox"/> 表題 <input type="checkbox"/> 分筆 <input type="checkbox"/> 合筆 <input type="checkbox"/> 地目 <input type="checkbox"/> 地積 <input type="checkbox"/> 地図 <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> 更正 <input type="checkbox"/> 訂正						
	02	申請対象地	所在						
			登記記録、申請情報の別	<input type="checkbox"/> 登記記録	<input type="checkbox"/> 登記記録	<input type="checkbox"/> 登記記録	<input type="checkbox"/> 登記記録	<input type="checkbox"/> 登記記録	<input type="checkbox"/> 登記記録
				<input type="checkbox"/> 申請情報	<input type="checkbox"/> 申請情報	<input type="checkbox"/> 申請情報	<input type="checkbox"/> 申請情報	<input type="checkbox"/> 申請情報	<input type="checkbox"/> 申請情報
			不動産番号						
			地番						
			地目						
			地積 m <sup>2</sup>						
	特記事項								
	03	申請人及び利害関係人	権利の種類別						
			住所,所在地						
			氏名,名称						
			備考						
			本人(申請意思)確認の方法						
	04	隣接関係等	地番						
住所,所在地									
氏名,名称									
その他									
特記事項									
II 資料に関する調査又は確認	05	登記所備付料	資料の名称	<input type="checkbox"/> 地図	<input type="checkbox"/> 地図に準ずる図面	<input type="checkbox"/> 地積測量図	<input type="checkbox"/> 基準点成果 ( )	<input type="checkbox"/> その他 ( )	
			備考						
	06	登記所以外の資料	<input type="checkbox"/> 有	資料の名称	資料の説明(内容,活用方法等)	確認年月日	平成 年 月 日		
			<input type="checkbox"/> 無						
	07	所有に係る資料	<input type="checkbox"/> 有	資料の名称	資料の説明(内容,活用方法等)	確認年月日	平成 年 月 日		
			<input type="checkbox"/> 無						
	08	官公署の許可等	<input type="checkbox"/> 有	資料の名称	資料の説明(内容,活用方法等)	確認年月日	平成 年 月 日		
			<input type="checkbox"/> 無						
特記事項									

別紙第3号準用様式(第10条関係)

Ⅲ 対象土地の 特定による 現地調査	申請地番								
	09	土地の区画・形状調査・確認							
	10	占有状況・ 利用状況の調査	周辺地域の状況	<input type="checkbox"/> 市街地	<input type="checkbox"/> 村落地	<input type="checkbox"/> 農地	<input type="checkbox"/> 山林原野	確認年月日 平成 年 月 日	
			原因及び日付の調査	<input type="checkbox"/> ( <input type="checkbox"/> 申請人 <input type="checkbox"/> 立会人 ) の説明 <input type="checkbox"/> 官公署の証明 <input type="checkbox"/> その他( )					
	11	所有権調査 (所有権証 明情報との 対査等)	<input type="checkbox"/> 07章 所有に係る資料	<input type="checkbox"/> 登記記録	<input type="checkbox"/> その他( )				
						確認年月日	平成 年 月 日		
	12	合筆の特記事項							
						確認年月日	平成 年 月 日		
	13	分筆の特記事項							
						確認年月日	平成 年 月 日		
	隣接地番								
	09	土地の区画・ 形状調査・確認							
	10	占有状況・ 利用状況の調査							
11	所有権調査								
申請地から見て東西南北側		側	側	側	側	側	側		
特記事項									
Ⅳ 対象土地に 関する筆界の 確認	14	登記所備付 地図の種類	縮尺	<input type="checkbox"/> 1/250 <input type="checkbox"/> 1/500 <input type="checkbox"/> 1/600 <input type="checkbox"/> 1/1000 <input type="checkbox"/> 1/1200 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 縮尺なし					
			作成事業	<input type="checkbox"/> 法14条1項 <input type="checkbox"/> 国土調査 <input type="checkbox"/> 区画整理 <input type="checkbox"/> 土地改良 <input type="checkbox"/> 法14条4項 <input type="checkbox"/> 区画整理 <input type="checkbox"/> ( )					
			精度区分	<input type="checkbox"/> 甲1 <input type="checkbox"/> 甲2 <input type="checkbox"/> 甲3 <input type="checkbox"/> 乙1 <input type="checkbox"/> 乙2 <input type="checkbox"/> 乙3 <input type="checkbox"/> 精度区分なし					
			現地との整合性	<input type="checkbox"/> 一致 <input type="checkbox"/> 概ね一致 <input type="checkbox"/> 不一致 <input type="checkbox"/> その他( )					
			特記事項						確認年月日 平成 年 月 日
			報告事項						

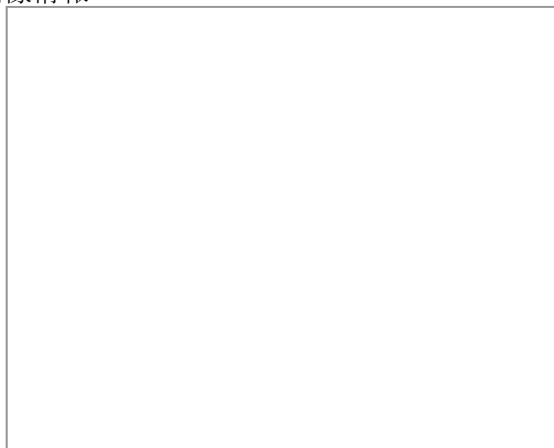
別紙第3号準用様式(第10条関係)

	15		16			
	申請地・隣接地の別及び地番	既提出の地積測量図との関係	境界標の状況	立会の態様	筆界確認の方法	
IV 対象土地に関する筆界の確認	<input type="checkbox"/> 申請地	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	立会者		
	<input type="checkbox"/> 隣接地	作成年月日	<input type="checkbox"/> 既存境界標( )点	同住所		
	地番	年 月 日				
		現地と既提出地積測量図との整合性	<input type="checkbox"/> 新設境界標( )点	同資格		
				本人確認方法		
	特記事項			<input type="checkbox"/> 確認 <input type="checkbox"/> 立会		平成 年 月 日
	<input type="checkbox"/> 申請地	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	立会者		
	<input type="checkbox"/> 隣接地	作成年月日	<input type="checkbox"/> 既存境界標( )点	同住所		
	地番	年 月 日				
		現地と既提出地積測量図との整合性	<input type="checkbox"/> 新設境界標( )点	同資格		
				本人確認方法		
	特記事項			<input type="checkbox"/> 確認 <input type="checkbox"/> 立会		
<input type="checkbox"/> 申請地	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	立会者			
<input type="checkbox"/> 隣接地	作成年月日	<input type="checkbox"/> 既存境界標( )点	同住所			
地番	年 月 日					
	現地と既提出地積測量図との整合性	<input type="checkbox"/> 新設境界標( )点	同資格			
			本人確認方法			
特記事項			<input type="checkbox"/> 確認 <input type="checkbox"/> 立会		平成 年 月 日	
<input type="checkbox"/> 申請地	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	立会者			
<input type="checkbox"/> 隣接地	作成年月日	<input type="checkbox"/> 既存境界標( )点	同住所			
地番	平成 年 月 日					
	現地と既提出地積測量図との整合性	<input type="checkbox"/> 新設境界標( )点	同資格			
			本人確認方法			
特記事項			<input type="checkbox"/> 確認 <input type="checkbox"/> 立会			平成 年 月 日
<input type="checkbox"/> 申請地	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	立会者			
<input type="checkbox"/> 隣接地	作成年月日	<input type="checkbox"/> 既存境界標( )点	同住所			
地番	年 月 日					
	現地と既提出地積測量図との整合性	<input type="checkbox"/> 新設境界標( )点	同資格			
			本人確認方法			
特記事項			<input type="checkbox"/> 確認 <input type="checkbox"/> 立会			平成 年 月 日
報告事項						





画像情報

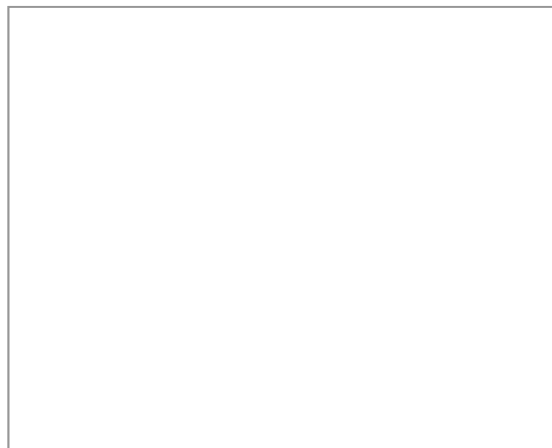


画像資料No. \_\_\_\_\_

摘要

.....

.....  
撮影作成 平成 年 月 日

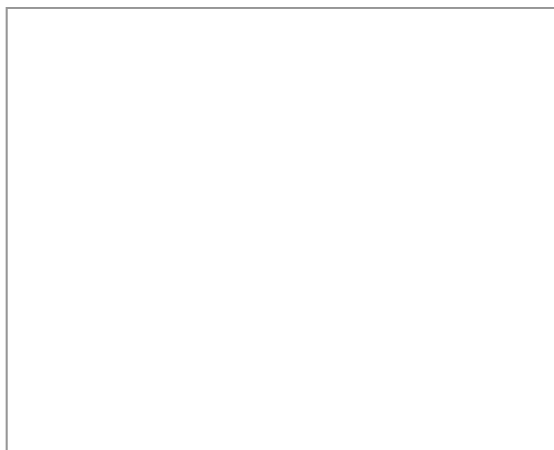


画像資料No. \_\_\_\_\_

摘要

.....

.....  
撮影作成平成 年 月 日

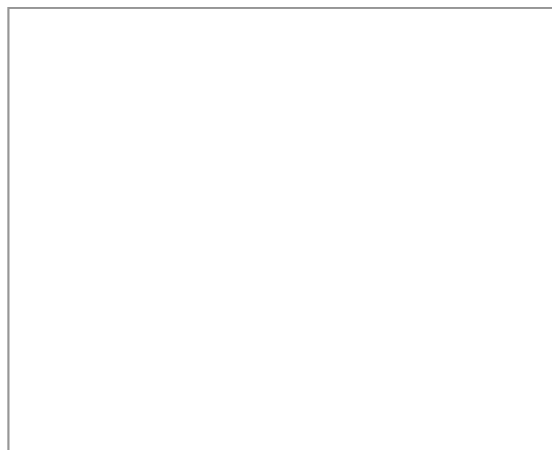


画像資料No. \_\_\_\_\_

摘要

.....

.....  
撮影作成 平成 年 月 日

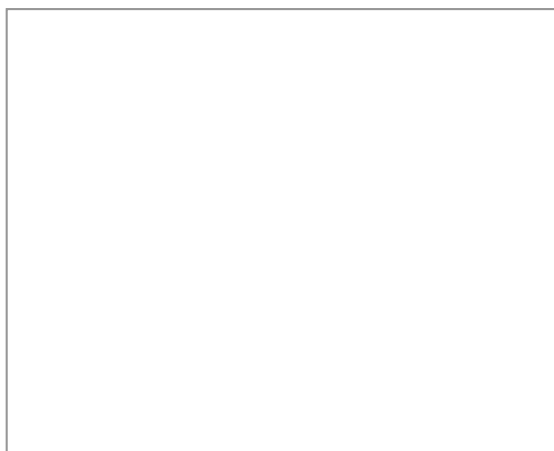


画像資料No. \_\_\_\_\_

摘要

.....

.....  
撮影作成平成 年 月 日

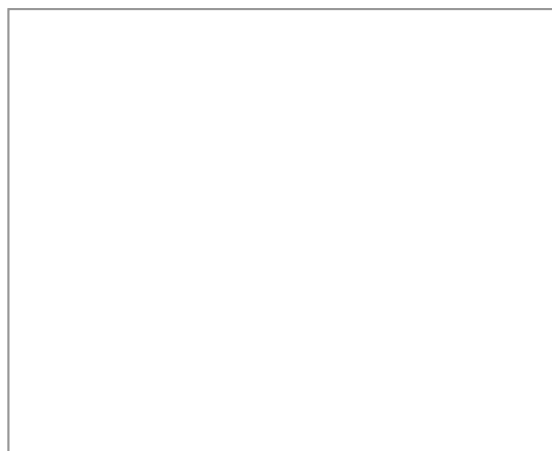


画像資料No. \_\_\_\_\_

摘要

.....

.....  
撮影作成 平成 年 月 日



画像資料No. \_\_\_\_\_

摘要

.....

.....  
撮影作成平成 年 月 日

調査素図

### 立 会 証 明 書

土地の表示 東京都〇〇区 〇〇 〇丁目 〇〇番〇

上記の土地を測量するに当たり、下記のとおり関係土地所有者と立会いし、土地の筆界について異議なく確認されたものである。

#### 記

地 番	所有権者	立会人 住所(上) 氏名(下)	所有者との関係	確認年月日	押 印
〇〇番〇	〇〇〇〇	〇〇区〇〇 〇-〇-〇〇 〇〇 〇〇	本人	令和〇〇年 〇月〇〇日	
〇〇番〇	〇〇〇〇	〇〇区〇〇 〇-〇-〇〇 〇〇 〇〇	妻	令和〇〇年 〇月〇〇日	
〇〇番〇	〇〇〇〇	〇〇区〇〇 〇-〇-〇〇 〇〇 〇〇	夫	令和〇〇年 〇月〇〇日	
〇〇番〇	〇〇〇〇	〇〇区〇〇 〇-〇-〇〇 〇〇 〇〇	長男	令和〇〇年 〇月〇〇日	
〇〇番〇	〇〇〇〇	〇〇区〇〇 〇-〇-〇〇 〇〇 〇〇	代理人	令和〇〇年 〇月〇〇日	

本立会証明書のとおりに立会いの事実を確認し、測量をしたものであることを証明します。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

調査 測量者職氏名

東京都〇〇〇〇建設事務所

所 長 〇 〇 〇 〇 ⑩

東京都〇〇〇〇建設事務所工事課測量係 〇 〇 〇 〇

注 1 管理人、代理人が立会いをした場合は、その者の住所・氏名を併記して押印する。

2 この立会証明書と境界を明らかにした図面を合綴した場合は、立会人の契印をする。



地形・筆界点見取図

